THE LEGEND OF ZELDA ARTWORK COLLECTION 3

ゼルダの伝説™

THE LEGEND OF ZELDA

ARTWORK COLLECTION 3

はじめに

この付録は、ニンテンドードリーム2014年2月号付録「THE LEGEND OF ZELDA アートワークコレクション2」に、未収録だったイラストや、その後発売された『ゼルダの伝説　ムジュラの仮面 3D』以降のタイトルのアートワークを加えて再編集したものです。シリーズ35周年の記念としてお楽しみください。

掲載タイトルのほかにもこんな関連作品が

- BS ゼルダの伝説
- リンクのボウガントレーニング
- ゼルダの伝説 4つの剣 25周年エディション
- ゼルダ無双(コーエーテクモゲームス)
- ゼルダ無双 ハイラルオールスターズ(コーエーテクモゲームス)
- ゼルダ無双 ハイラルオールスターズDX(コーエーテクモゲームス)
- ケイデンス・オブ・ハイラル:クリプト・オブ・ネクロダンサー feat. ゼルダの伝説(スパイク・チュンソフト)
- ゼルダ無双 厄災の黙示録(コーエーテクモゲームス)

トリイラスト：リンクのボウガントレーニング

25th Anniversary illustration

2011年に『ゼルダの伝説』生誕25周年を記念したキャンペーンが行われた。その際に描かれた、象徴ともいえる記念イラスト。初代『ゼルダの伝説』から、当時の最新作である『スカイウォードソード』までのリンクが一堂に集う豪華なイラストとなっている。

 ©2007-2008 Nintendo ©2011 Nintendo

ゼルダの伝説 アートワークコレクション3

CONTENTS

ゼルダの伝説 …… P5
リンクの冒険 …… P6
神々のトライフォース …… P8
夢をみる島／DX …… P12
時のオカリナ …… P15
ムジュラの仮面 …… P31
ふしぎの木の実 …… P37
風のタクト …… P46
神々のトライフォース＆4つの剣 …… P58
4つの剣+ …… P66
ふしぎのぼうし …… P69
トワイライトプリンセス …… P76
夢幻の砂時計 …… P92
大地の汽笛 …… P95
時のオカリナ 3D …… P101
スカイウォードソード …… P104
風のタクト HD …… P116
神々のトライフォース2 …… P122
ムジュラの仮面 3D …… P132
トライフォース3銃士 …… P137
トワイライトプリンセス HD …… P144
ブレス オブ ザ ワイルド …… P149
夢をみる島（Switch版） …… P156
スカイウォードソード HD …… P160

30th Anniversary illustration

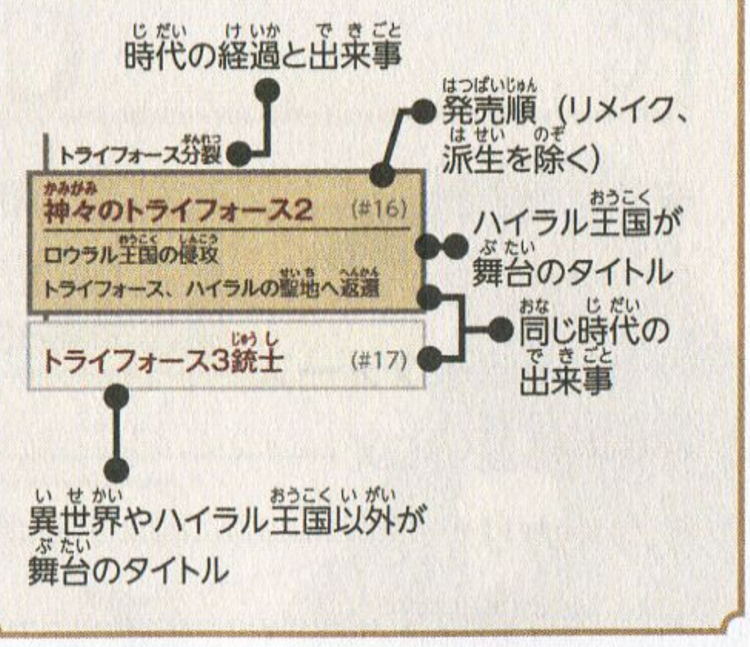
2016年の『ゼルダの伝説』30周年キャンペーンで使用されたイラスト。シリーズの象徴、トライフォースを連想させる三角形の中に、歴代のキャラクターが配置されている。中央のロゴ部分にイラストが配置されたバージョンもあった（右に抜粋）。

©1986-2016 Nintendo

ハイラルの歴史

右は『ゼルダの伝説』の各タイトルで語られた伝説をつないだ時系図。『時のオカリナ』の時空転移などにより、世界は3つの軸に分かれていく。

時系図の見方



女神と時の勇者

天地創造

スカイウォードソード (#15)
魔の根源の出現、封印
女神ハイリアがゼルダとして転生
マスターソード誕生

影の一族を追放
聖地を封印
ハイラル王国建国

ふしぎのぼうし (#11)
ピッコル伝説の剣からフォーソードが誕生
魔神グフー誕生、封印

魔人グフー復活、封印

4つの剣 (#9)
魔人グフー復活、フォーソードに封印

ハイラル統一戦争

時のオカリナ (#5)
魔盗賊ガノンドロフ、聖地へ
トライフォース分裂
魔王ガノン誕生

時の勇者が敗北

六賢者が魔王ガノンを封印

封印戦争

神々のトライフォース (#3)
魔王ガノン復活、退治
トライフォース、ハイラル城へ返還

夢をみる島 (#4)

ふしぎの木の実 (#7)

トライフォース分裂

神々のトライフォース2 (#16)
ロウラル王国の侵攻
トライフォース、ハイラルの聖地へ返還

トライフォース3銃士 (#17)

トライフォースを使った王政、国の繁栄
ハイラル王国衰退、地方の小王国へと縮小

ゼルダの伝説 (#1)
ガノン復活、討伐
隠された知恵のトライフォースを発見

リンクの冒険 (#2)
古のゼルダ姫が復活
隠された勇気のトライフォースを発見

時の勇者が勝利

[子供時代] ガノンドロフの陰謀を阻止

ムジュラの仮面 (#6)

トワイライトプリンセス (#12)
魔盗賊ガノンドロフ、影の世界へ追放
影の一族、ハイラル王国へ侵攻
ガノンドロフ復活、討伐

4つの剣＋ ハイラルアドベンチャー (#10)
ガノンドロフ転生、魔獣ガノンに
魔神グフー復活、討伐
フォーソードにガノン封印

[大人時代] 魔王ガノンを封印

ハイラル水没

風のタクト (#8)
ガノンドロフ復活、トライフォースがひとつに
ガノンドロフ討伐
ハイラル消滅。新天地を目指す

夢幻の砂時計 (#13)

新しい大地に、ハイラル王国を建国

大地の汽笛 (#14)
魔王マラドー復活、討伐
ロコモ族の賢者が天上に帰還

ブレス オブ ザ ワイルド (#18)
時系列は明らかにされていない

※この系譜は2017年3月に発行された「ゼルダの伝説 ハイラル百科」（アンビット刊）掲載のものに『ブレス オブ ザ ワイルド』を加えたものです。

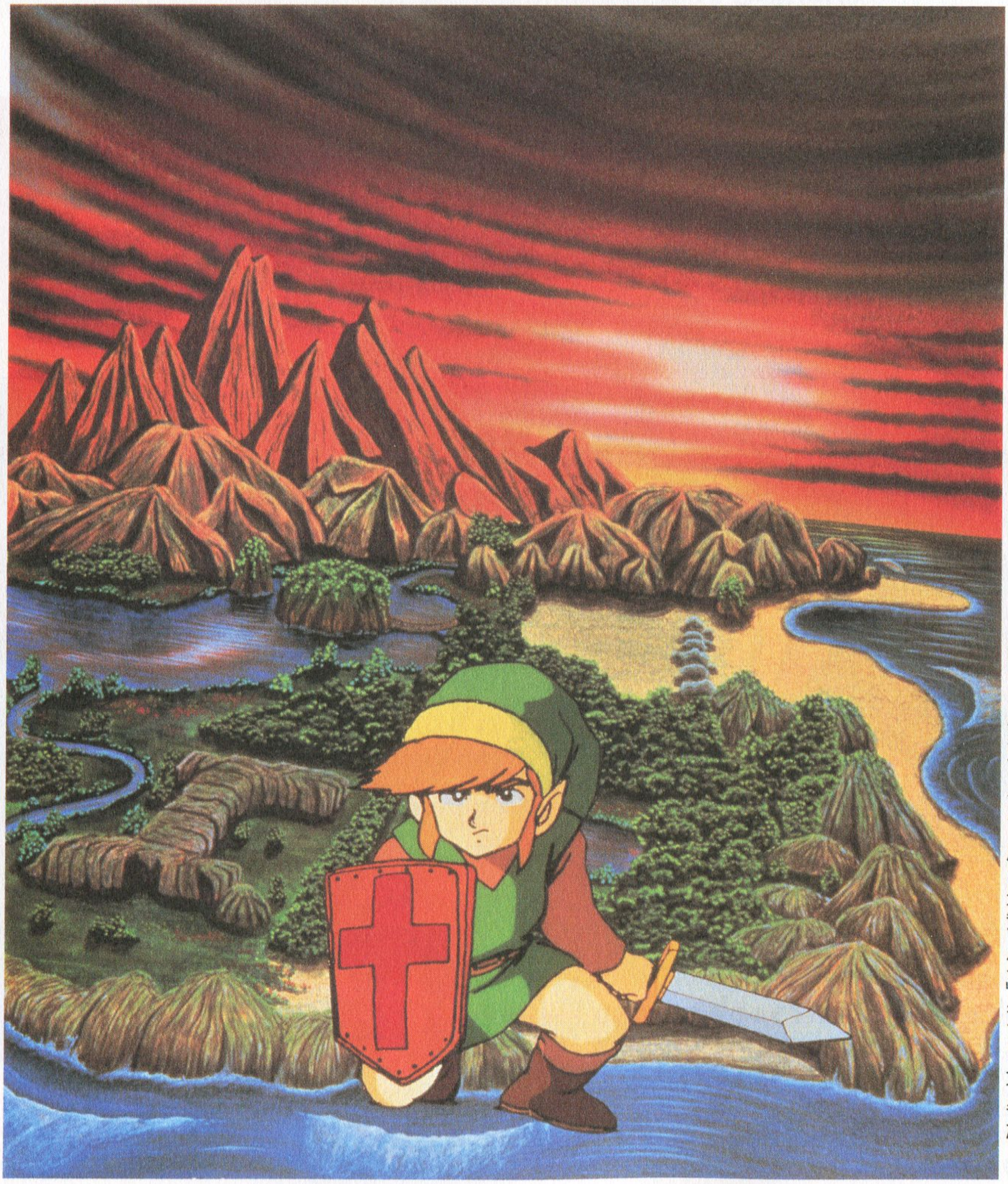
THE HYRULE FANTASY ゼルダの伝説®

ゼルダの伝説/ゼルダの伝説1/ファミコンミニ05 ゼルダの伝説1

発売日◉1986年2月21日発売/1994年2月19日発売/2004年2月14日発売
ハード◉ディスクシステム/ファミリーコンピュータ/ゲームボーイアドバンス
バーチャルコンソール◉Wii U:2013年8月28日配信/Wii:2006年12月2日配信
3DS:2011年12月22日配信
ファミリーコンピュータ Nintendo Switch Online◉Switch:2018年9月19日配信(無料※)

シリーズ第1作。ガノンに捕らわれたゼルダ姫を救出するためにハイラルを冒険していく。各迷宮の奥に隠された8つの知恵のトライフォースのカケラを集め、デスマウンテンで待つガノンに戦いを挑むのだ。

のちにカセット版も発売された。Nintendo Switch Onlineのサービスでも楽しめる。



←広大なハイラルを冒険する。クリア後は、ダンジョンの位置などが変更された2周目「裏ゼルダ」もプレイできた

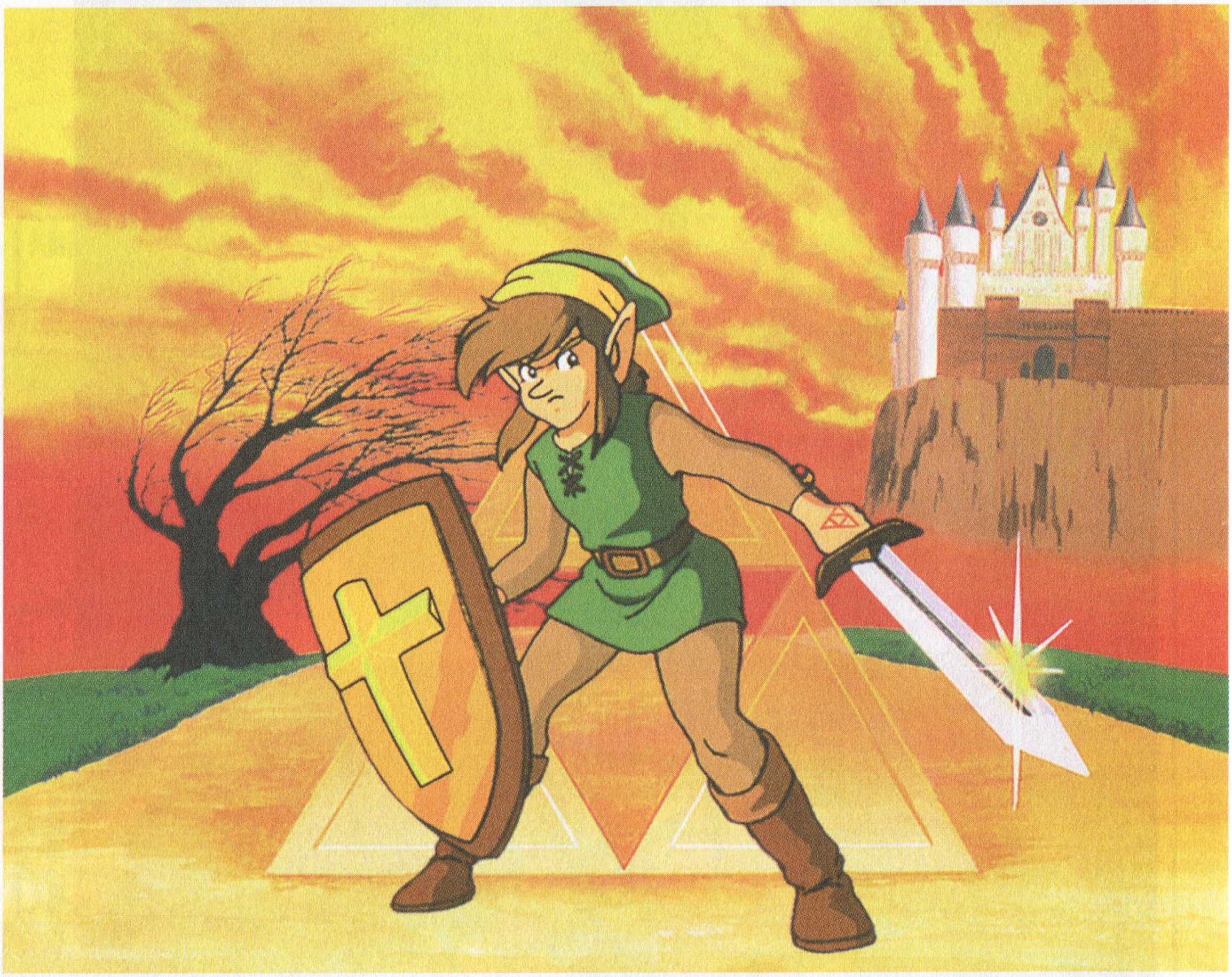
©1986 Nintendo
※ Nintendo Switch Online(有料)加入者限定サービス

THE LEGEND OF ZELDA 2 リンクの冒険®

リンクの冒険/ファミコンミニ25 ディスクシステムセレクション リンクの冒険

発売日◉1987年1月14日発売/2004年8月10日発売
ハード◉ディスクシステム/ゲームボーイアドバンス
バーチャルコンソール◉Wii U:2013年9月11日配信/Wii:2007年1月23日配信
3DS:2012年6月6日配信
ファミリーコンピュータ Nintendo Switch Online◉Switch:2019年1月16日配信(無料※)

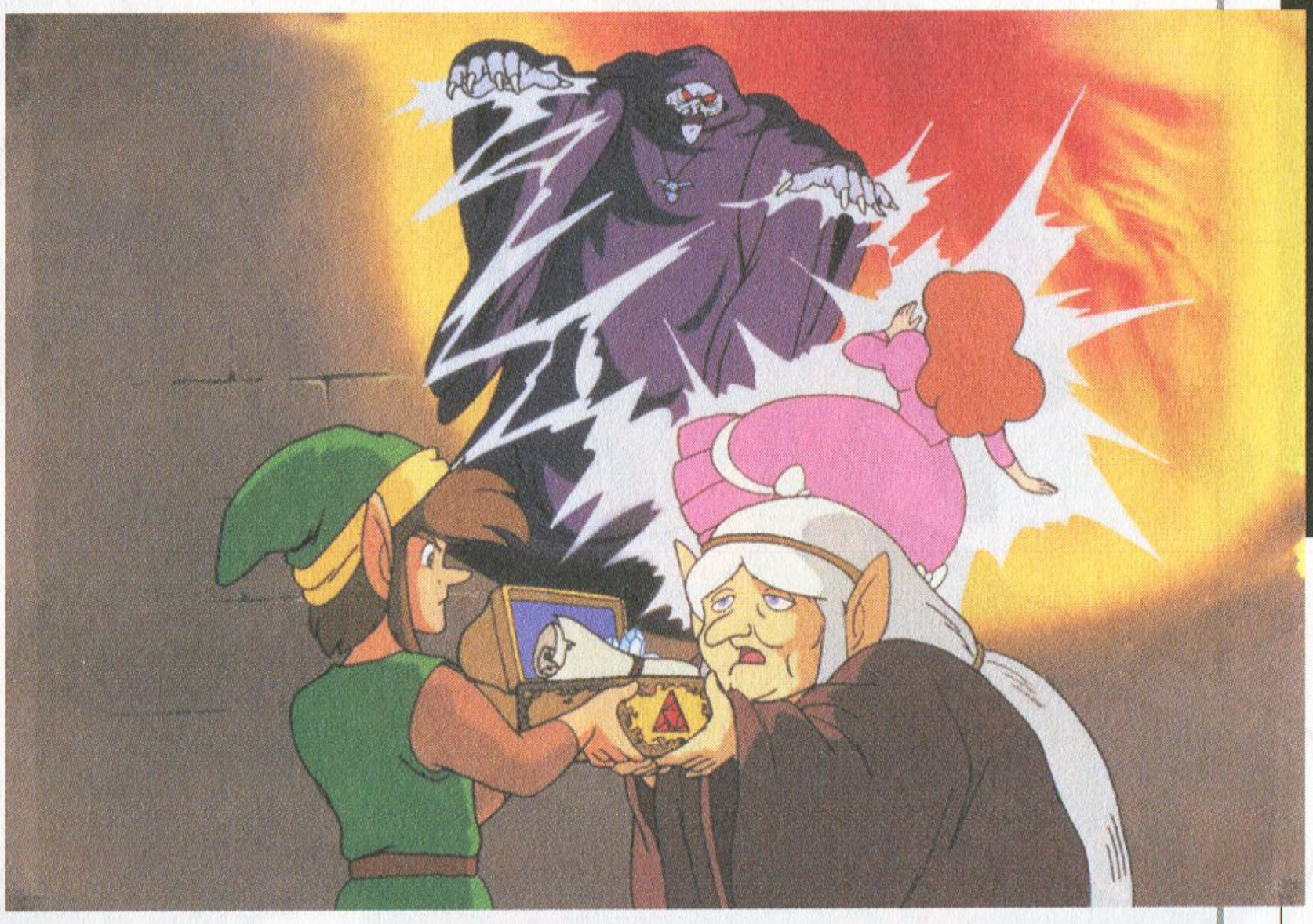
勇気のトライフォースを入手して、初代ゼルダ姫を魔法の眠りから解き放とう。戦闘時の視点が前作の見下ろし型ではなく横スクロール型に変化。盾による防御を立ち状態としゃがみ状態で使い分ける必要があるなど、アクション性がアップした。Nintendo Switch Onlineのサービスでも楽しめる。



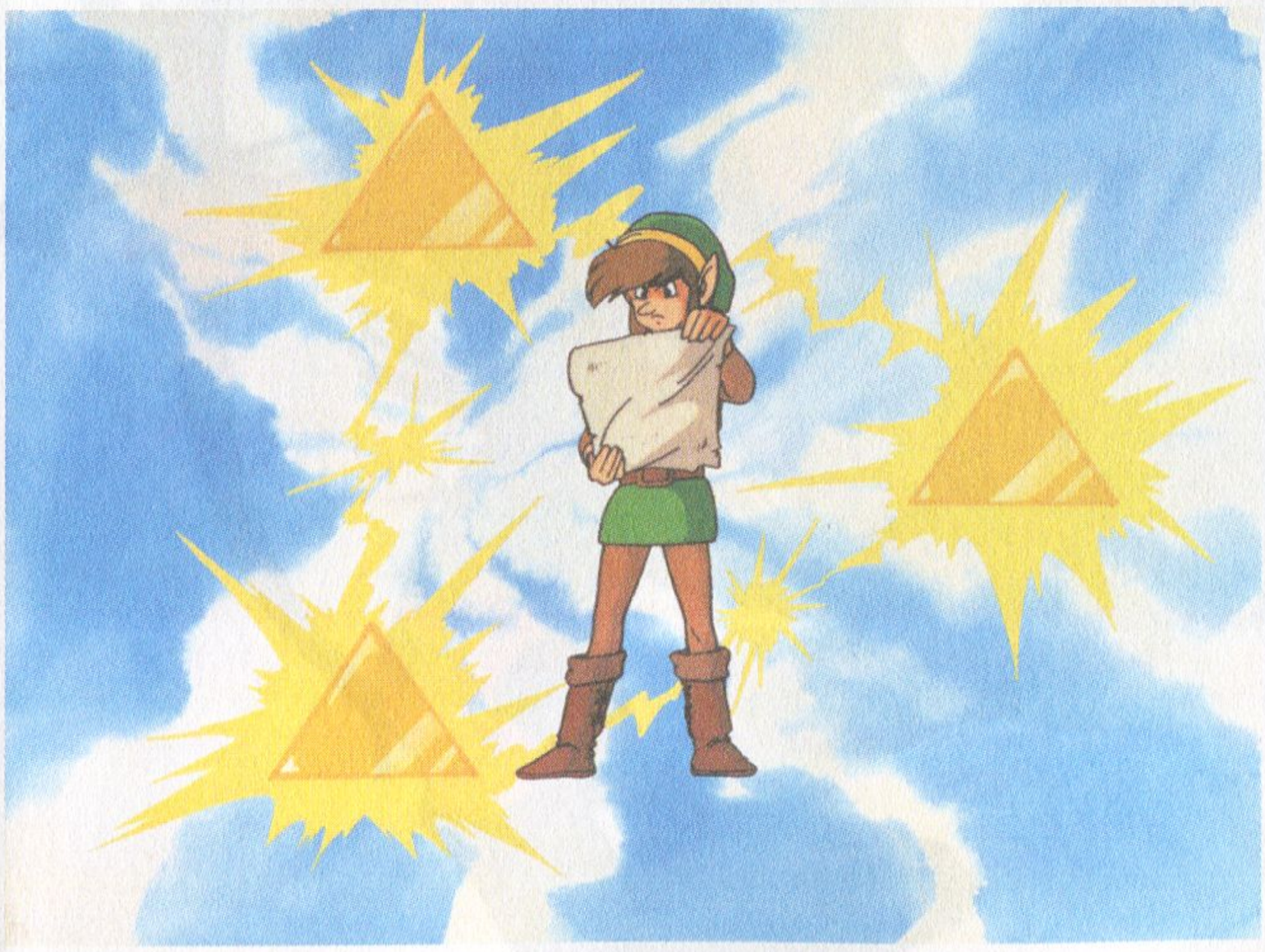
⬆大魔王ガノンを倒してもハイラルの荒廃は止まらなかった。6年後、16歳となったリンクの左手に王家の紋章のようなあざが浮かび、再び冒険が始まる

©1987 Nintendo
※Nintendo Switch Online有料加入者限定サービス

←ゼルダ姫の乳母インパに連れられて、開かずの扉に向かうリンク。左手に浮かんだ正三角形の印が、リンクを初代ゼルダ姫のもとに導いていく



➡リンクは、インパから勇気のトライフォースを手に入れるためのカギを握る、巻物と6つのクリスタルを手渡される



←リンクが集めた「知恵」と大魔王ガノンから取り戻した「力」。死の谷にある「勇気」をそろえてハイラルに平和をもたらす

SUPER FAMICOM

ゼルダの伝説

神々のトライフォース

司祭アグニムの魔の手からゼルダ姫を救うために、リンクは光の世界と闇の世界を行き来しながら戦い続ける。視点が見下ろし型に戻り、初代『ゼルダの伝説』に近いゲーム性になっている。ダンジョンは2Dながら、高低差のある物になった。Nintendo Switch Onlineのサービスでも楽しめる。

ゼルダの伝説　神々のトライフォース

発売日◉1991年11月21日発売
ハード◉スーパーファミコン
バーチャルコンソール◉Wii U:2014年2月12日配信/Wii:2006年12月2日配信
3DS:2012年6月6日配信※1
スーパーファミコン Nintendo Switch Online◉Switch:2019年1月16日配信（無料※2）

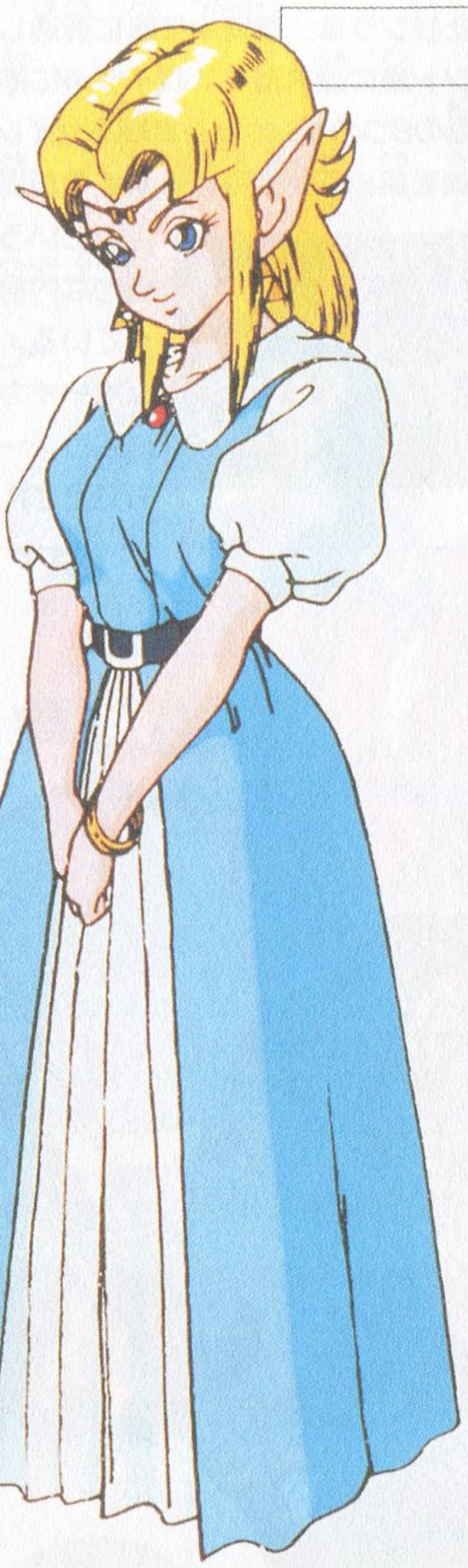
リンク

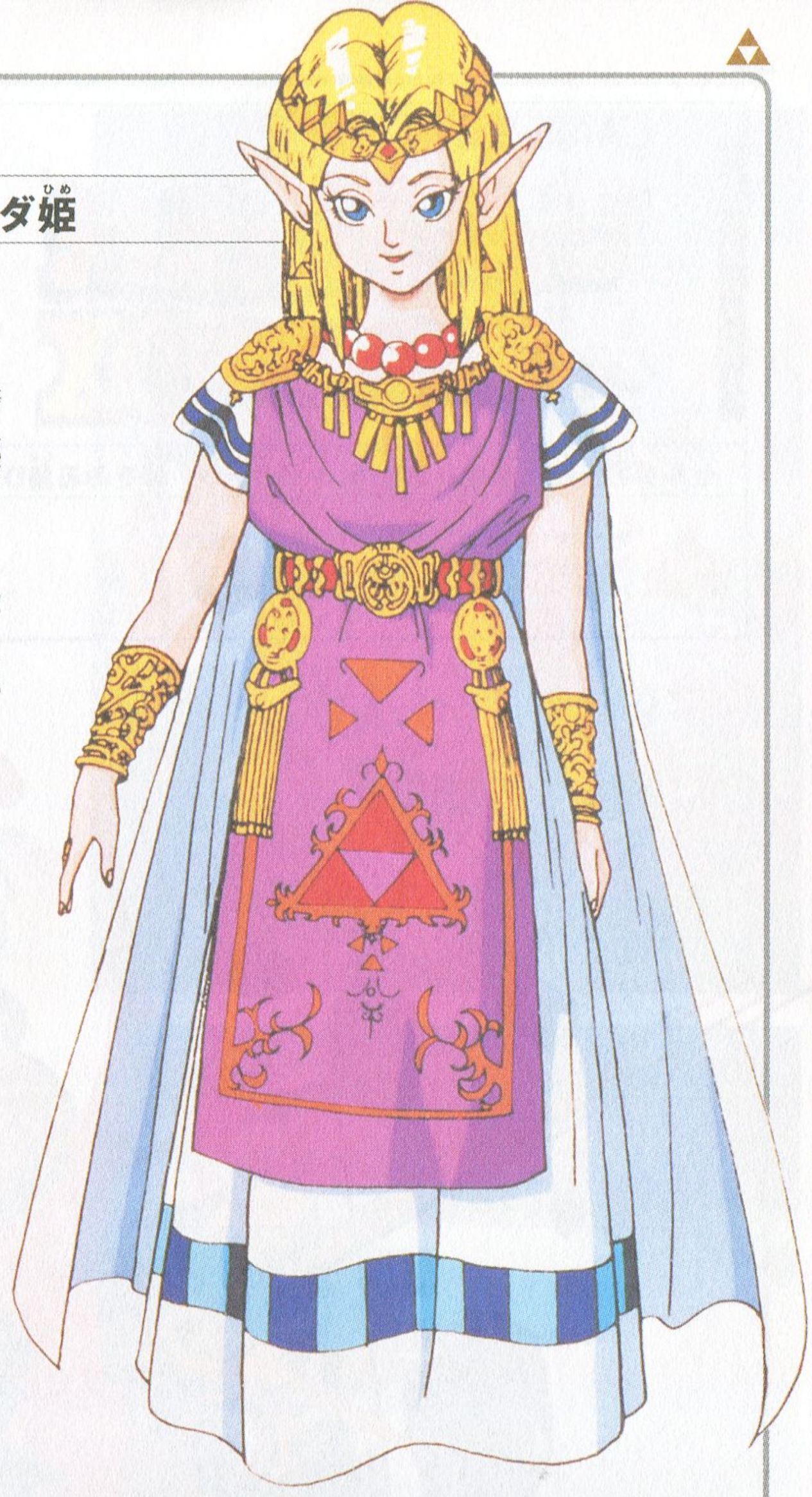
©1991 Nintendo
※1 Newニンテンドー3DS/3DS LL、Newニンテンドー2DS LL専用ソフト
※2 Nintendo Switch Online(有料)加入者限定サービス

←↑↓イラストから受ける印象は『リンクの冒険』に近いが、ゲーム中のアクションは、画面構成が同じ初代『ゼルダの伝説』に近い

⬅⬆➡仕掛けによっては引っ張ることも可能になった。「ペガサスの靴」を履くことで、走って体当たりすることもできる

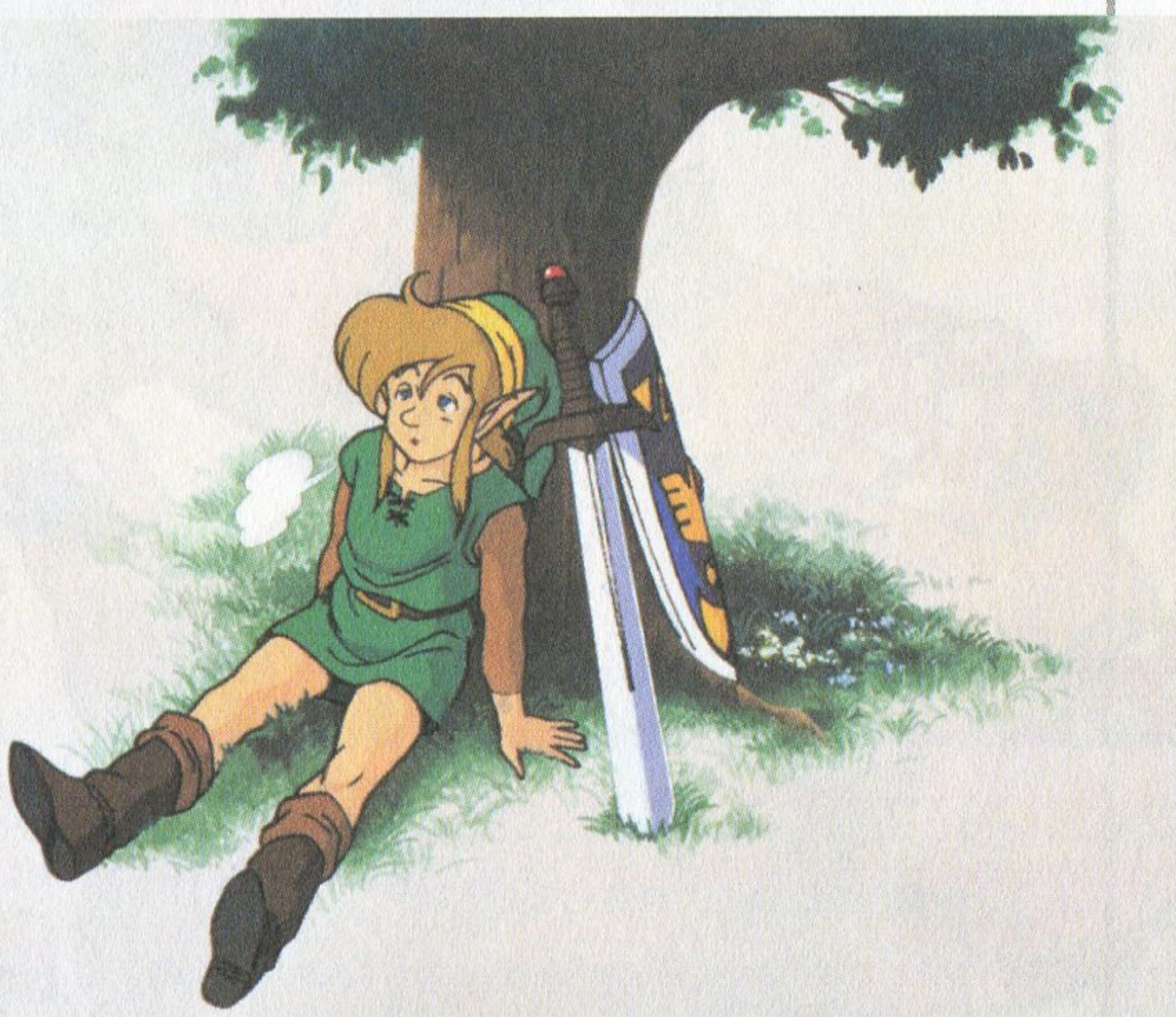
ゼルダ姫





➡←右が正装のゼルダ姫。司祭アグニムの計略によって地下牢に閉じ込められているときは、左の私服姿でリンクの助けを待つ

妖精



GAME BOY

ゼルダの伝説 夢をみる島DX

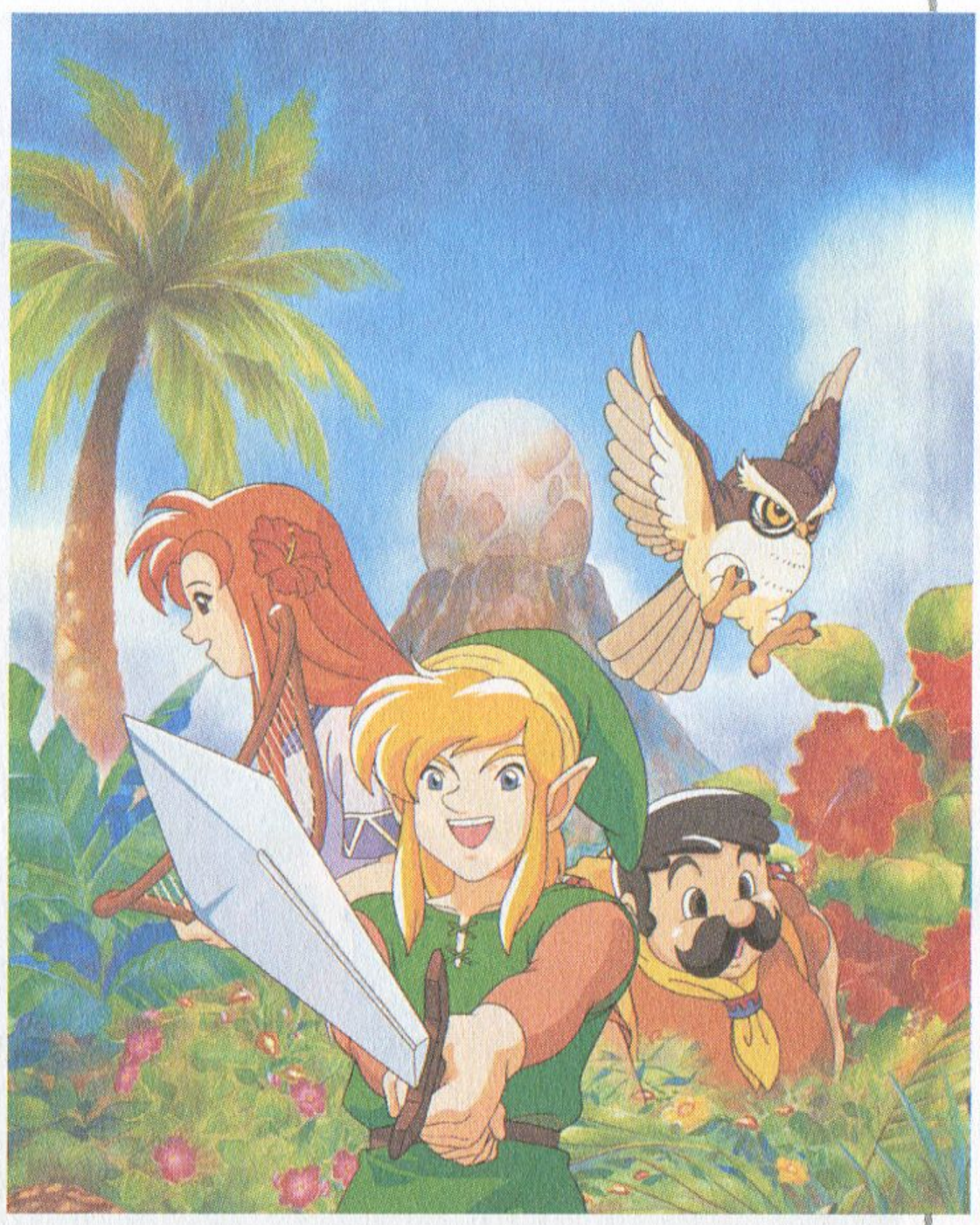
ゼルダの伝説　夢をみる島/ゼルダの伝説　夢をみる島DX

発売日◉1993年6月6日発売/1998年12月12日発売
ハード◉ゲームボーイ/ゲームボーイカラー
バーチャルコンソール◉3DS:2011年6月8日配信

ハイラル王国に平和を取り戻し修行の旅に出たリンクは、航海中に嵐に遭遇してコホリント島に流れ着く。ハイラルに帰るため、島の8つのダンジョンに眠るセイレーンの楽器を集めて巨大な卵を孵すのが冒険の目的という、外伝的な内容になっている。ゲームボーイカラー対応の『～DX』も発売された。

➡『神々のトライフォース』の後日談らしく、リンクの見た目はほぼ同じ。盾の模様などからも同一人物であることが推測できる。漂流で荷物を失うが、剣と盾は島に流れ着く

©1998 Nintendo
©1998 Nintendo

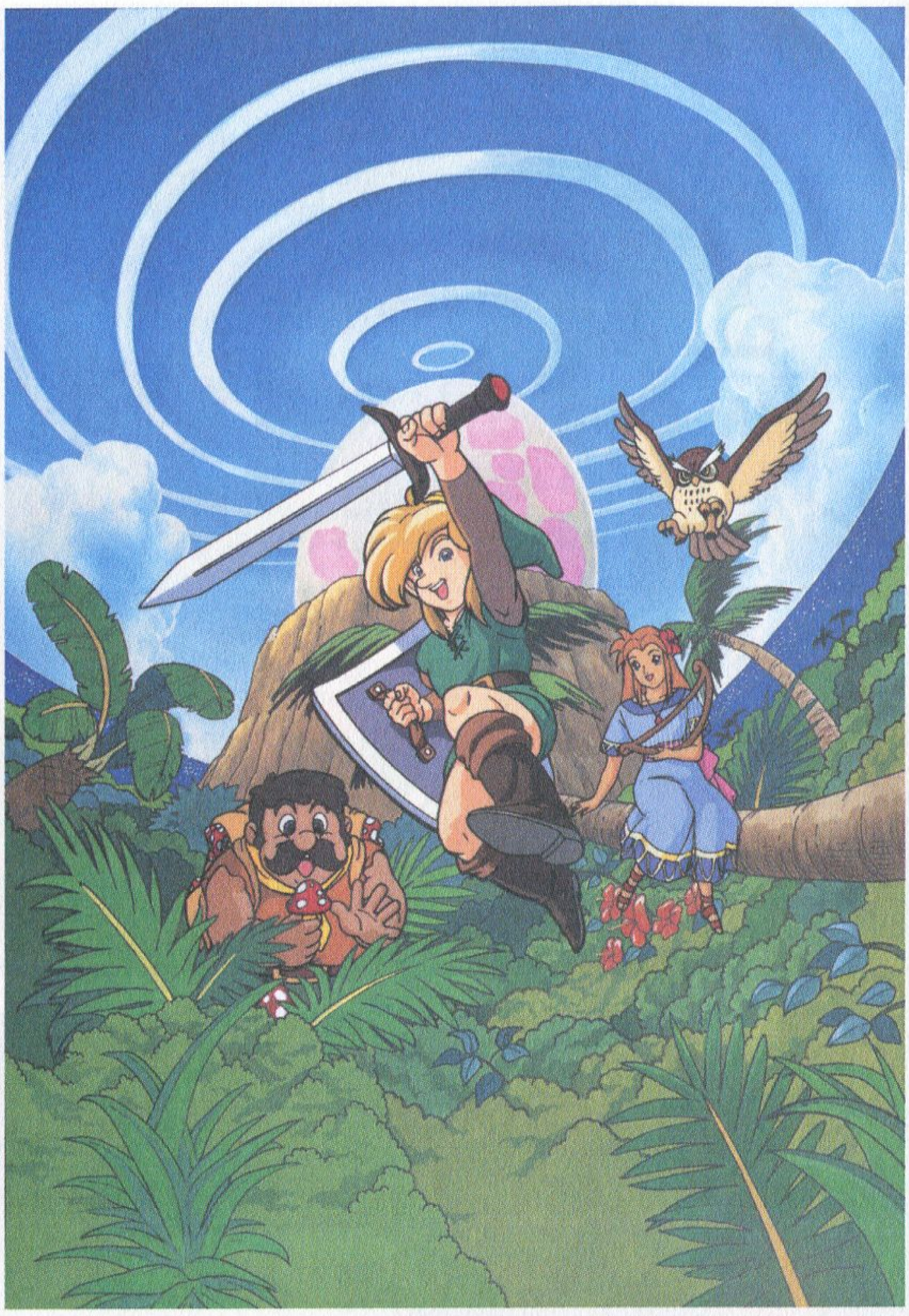


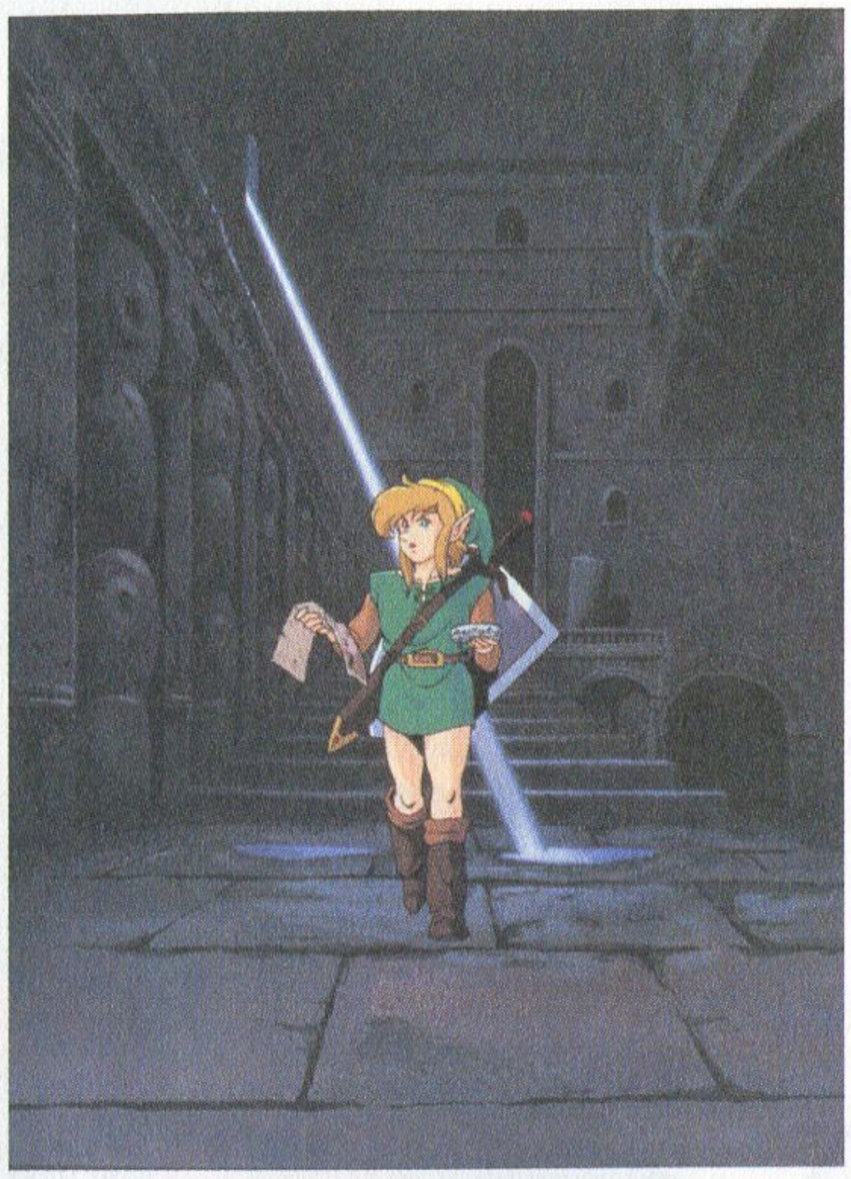
マリン

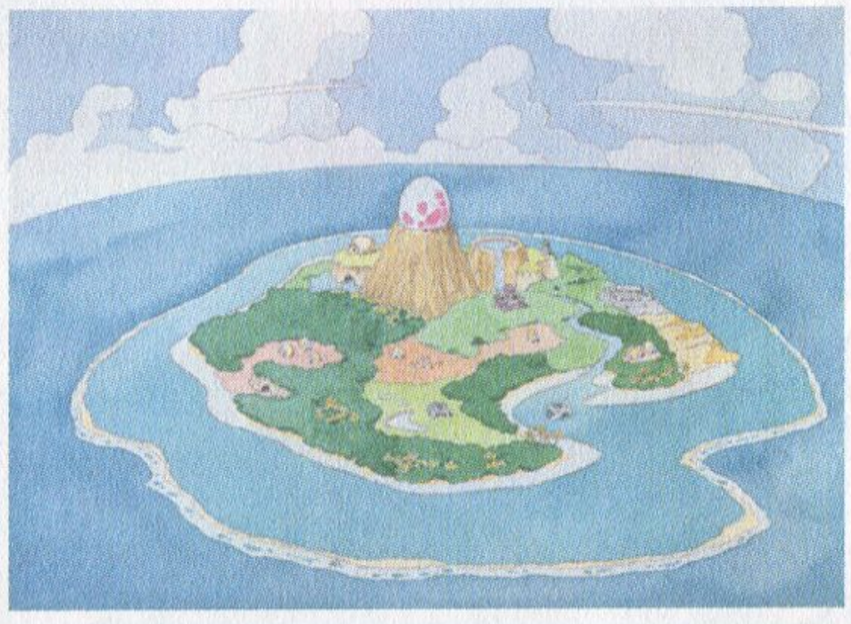
⬇島に流れ着いたリンクを介抱してくれた、歌が好きな少女マリン。キノコ好きのタリンと暮らしている

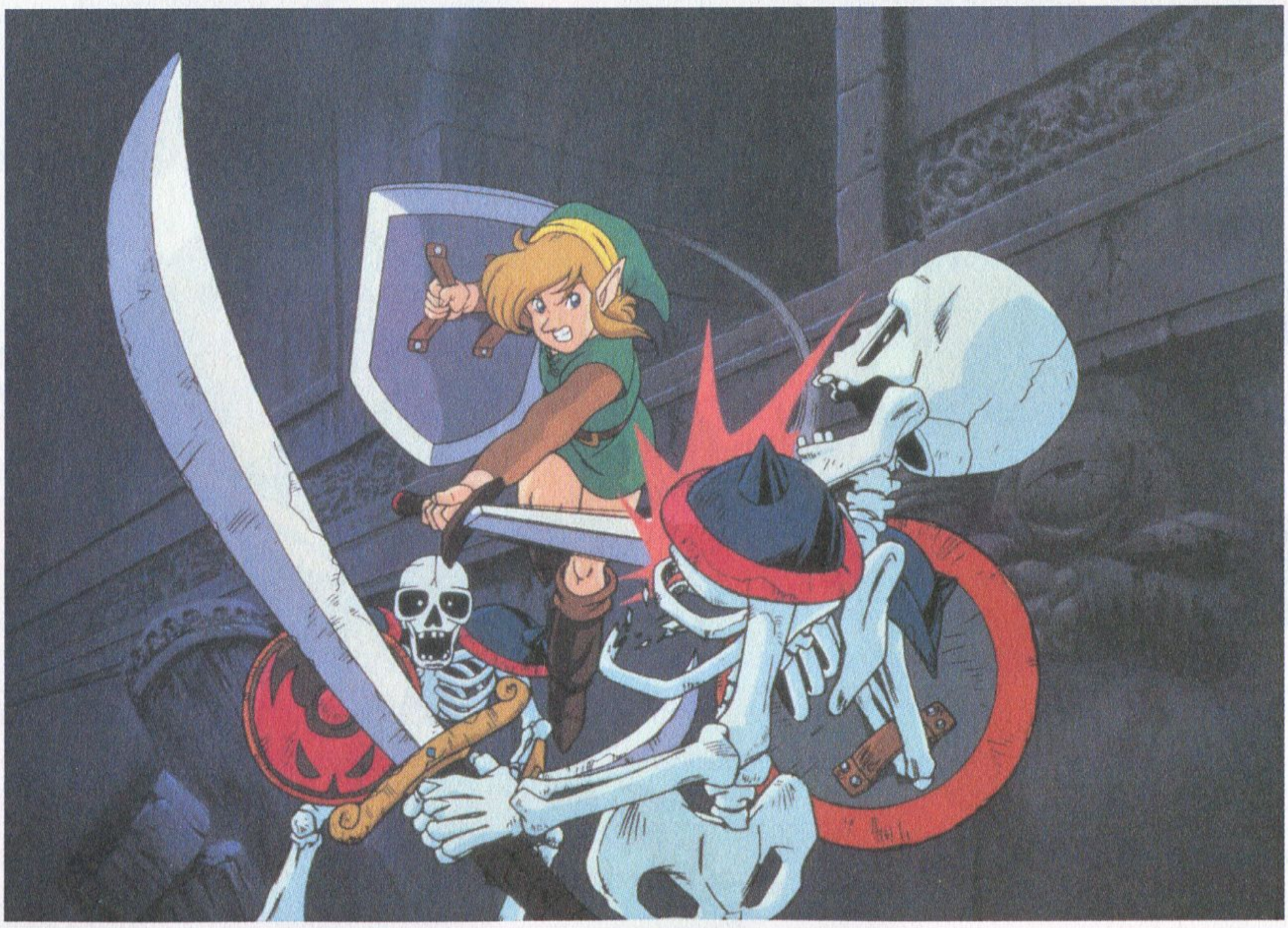
フクロウ

タリン









➡リンクのアクションも『トライフォース』に近い。『DX』では、「服のダンジョン」や写真屋が追加された

ゼルダの伝説　時のオカリナ

発売日◉1998年11月21日発売
ハード◉NINTENDO 64
バーチャルコンソール◉Wii:2007年7月7日配信
Wii U:2015年12月22日配信

コキリ族の少年リンクが、ハイラルを支配するためにトライフォースを狙うガノンドロフに立ち向かう。これまでのシリーズと大きく変わり、ポリゴンで構築された広大な3Dのフィールドを、リンクを背後から追いかける視点で操作して冒険する。Wii Uバーチャルコンソールでも配信されている。

リンク(大人)

←↑正義感が強く、純粋な心を持つ。時間を超えることから、後に"時の勇者"と呼ばれる。本来の姿は子供、7年後の世界では大人の姿で冒険する

©1998 Nintendo

←森に住むコキリ族として暮らしていたリンク。自分だけの妖精を持つコキリ族の中で唯一妖精を持っていなかった。森の守り神デクの樹に遣わされた妖精ナビィと出会い、ハイラルを守る旅に出る

⬇キャラクターが立体的になり、アクションがより多彩になった。縦と横の2つの方向に剣を振ったり、横っとびやバック宙といった動作も

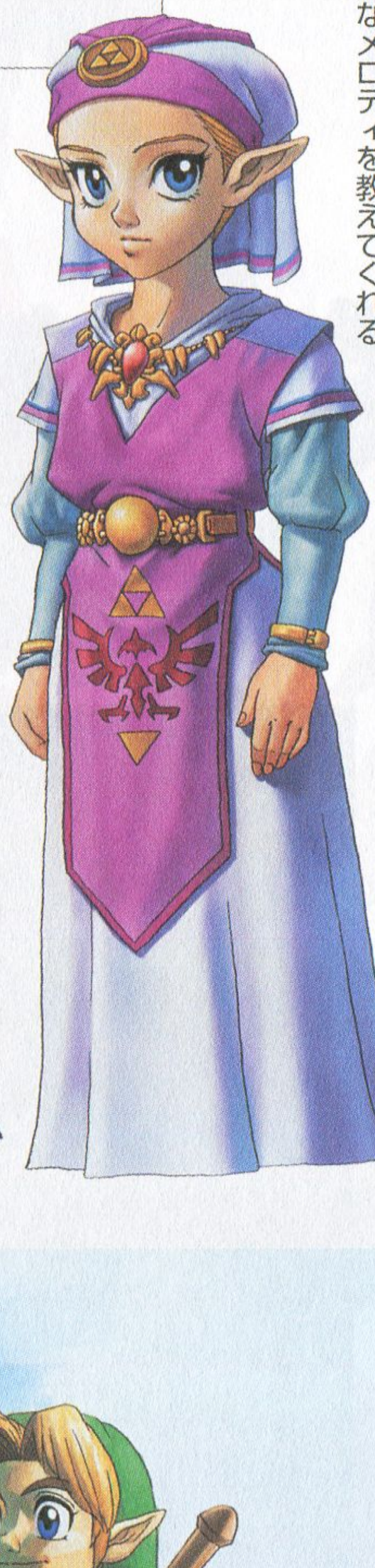
⬆回転斬りや物を押すなど、前作から継承されているアクションも多い。中には乗り越えることができるものも

←⬇ジャンプ斬りなど、高さの概念が重要になっている。また、愛馬エポナにまたがることも可能

リンク(子供)

⬆⬇➡マスターソードを台座に抜き差しすることで、7年の時間を飛び越えるリンク。差すと7年前に戻れる

ゼルダ姫



シーク

➡➡ゼルダ姫とは、子供時代と大人時代の両方で会える。シークはシーカー族の少年で、リンクの大人時代に登場。さまざまなメロディを教えてくれる

ガノン

←→トライフォースをめぐる戦いを繰り広げることになるガノンドロフ。最終決戦ではガノンの姿に変身

ガノンドロフ

ラウル

インパ

ナボール

インゴー

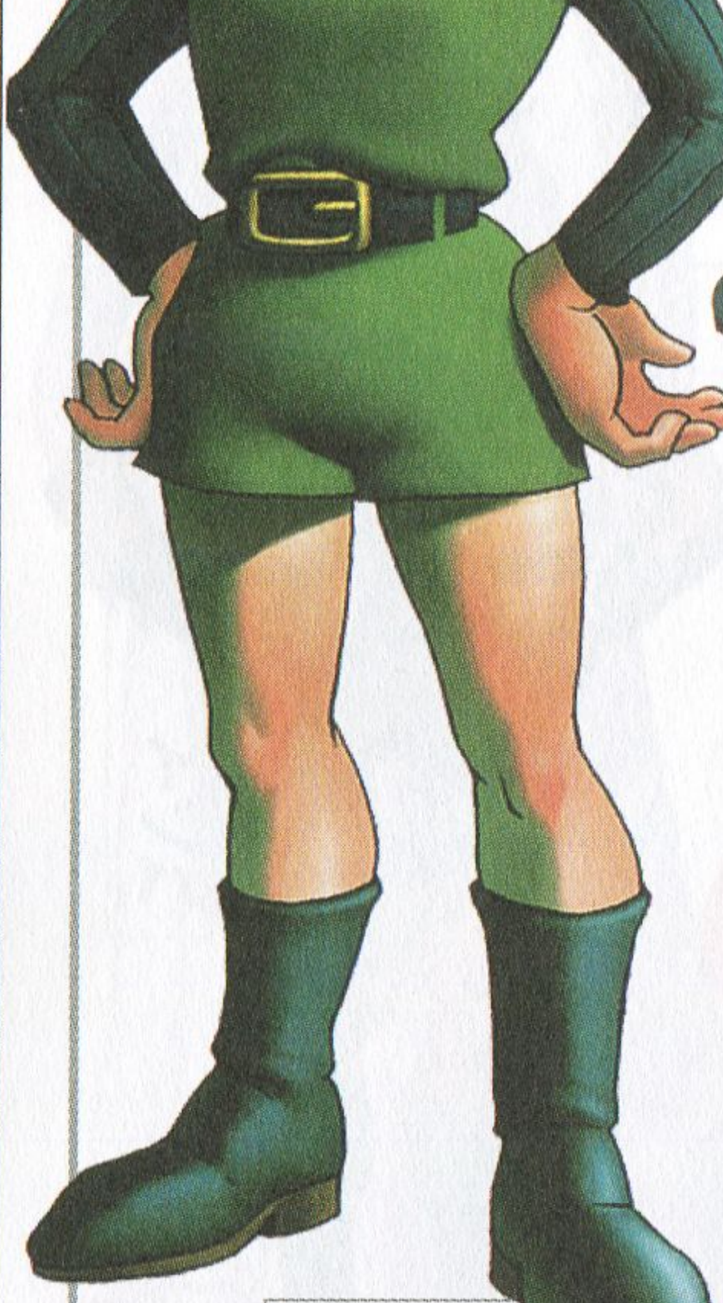
マロン

タロン

コキリ族

←↑→コキリ族は、外見的に年をとらない種族。リンクの7年後の姿はサリアたち幼なじみに違和感を与える

サリア

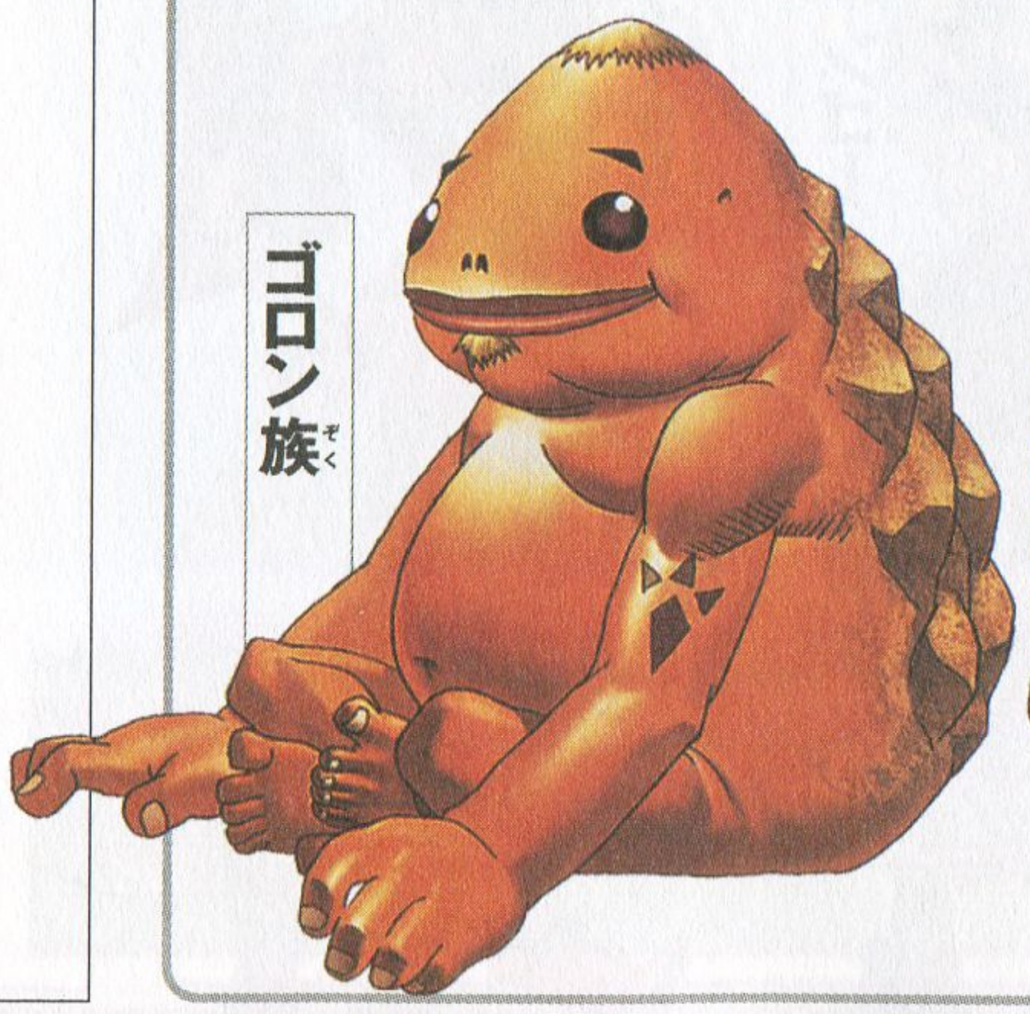


ミド

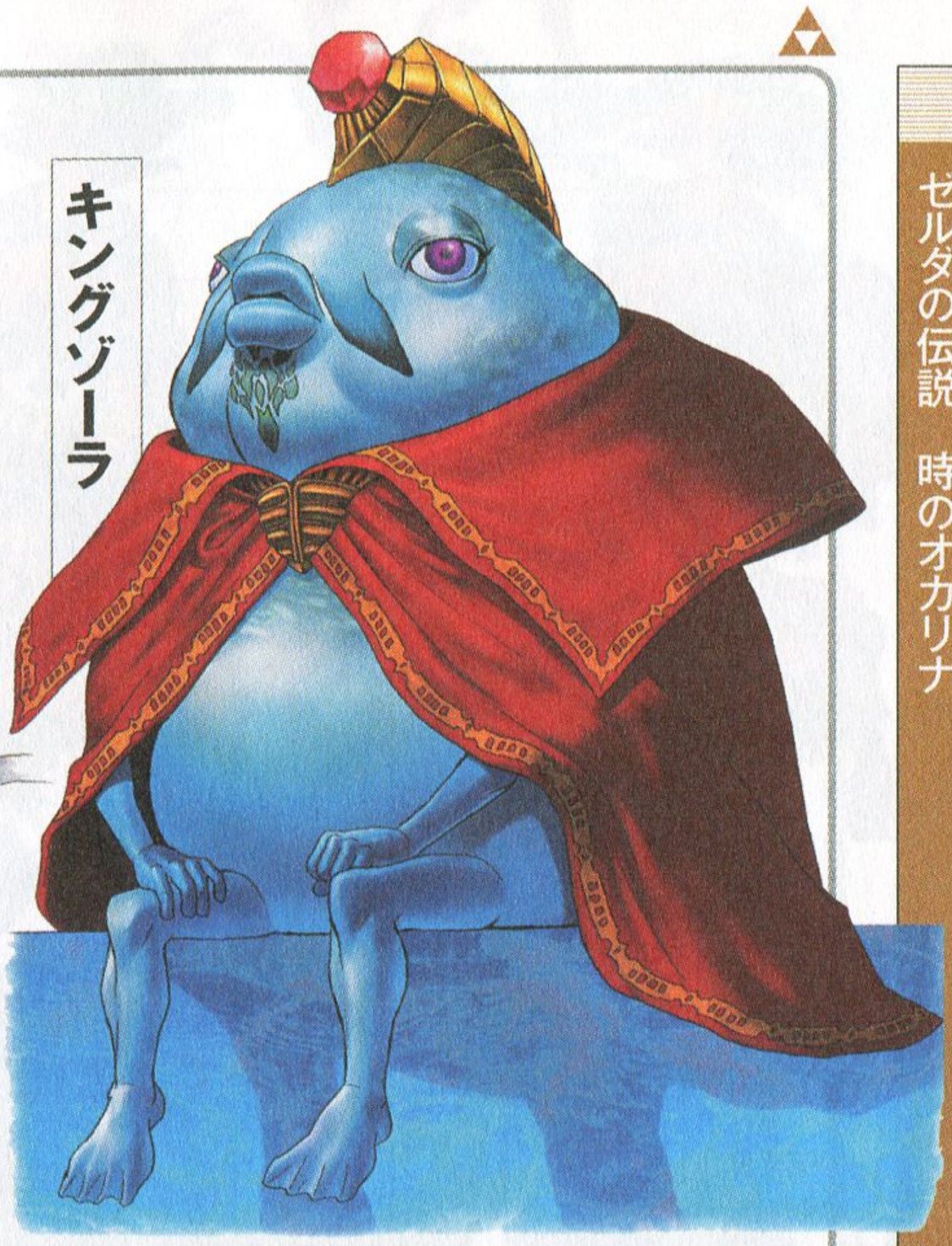
ダルニア

↓→デスマウンテンに住む岩のような身体の種族で、ダルニアが族長を務める。個体差とは思えないほど大きな体の者もいる

ゴロン族



ケポラ・ゲボラ



キングゾーラ

➡➡キングゾーラは、ゾーラの里を治めるゾーラ族の王で、ルトは彼の娘。7年後のルトは、姫としての責任感を抱く大人に成長

ルト姫

スタルキッド

ツインローバ

←↑ガノンドロフの乳母コウメとコタケ。戦闘時には合体した姿にも

ゴーマ

バリネード

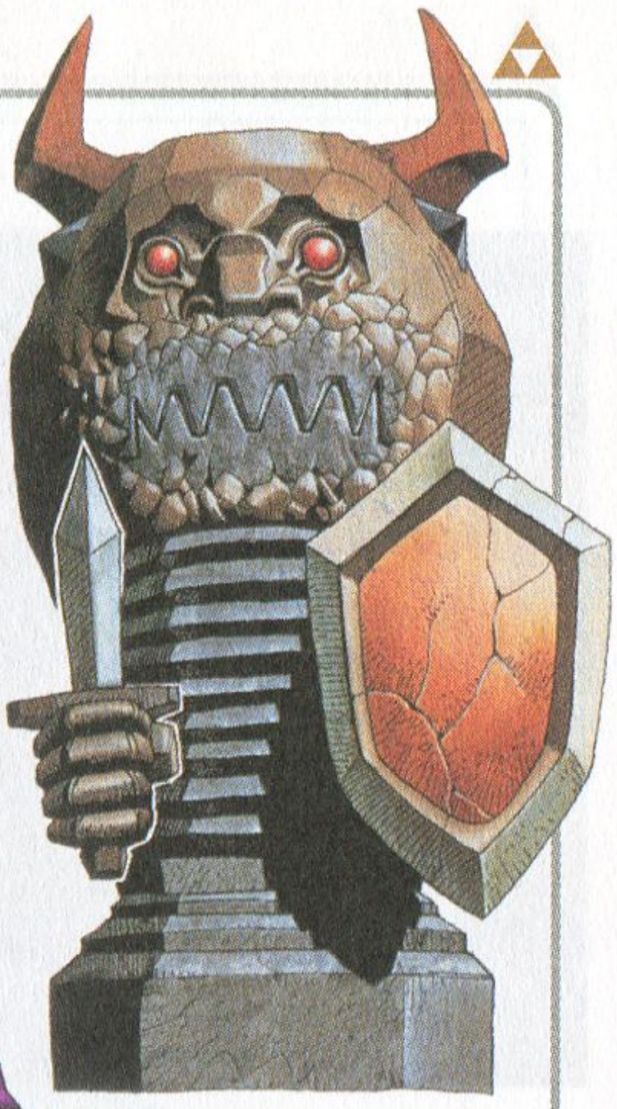
ボンゴボンゴ

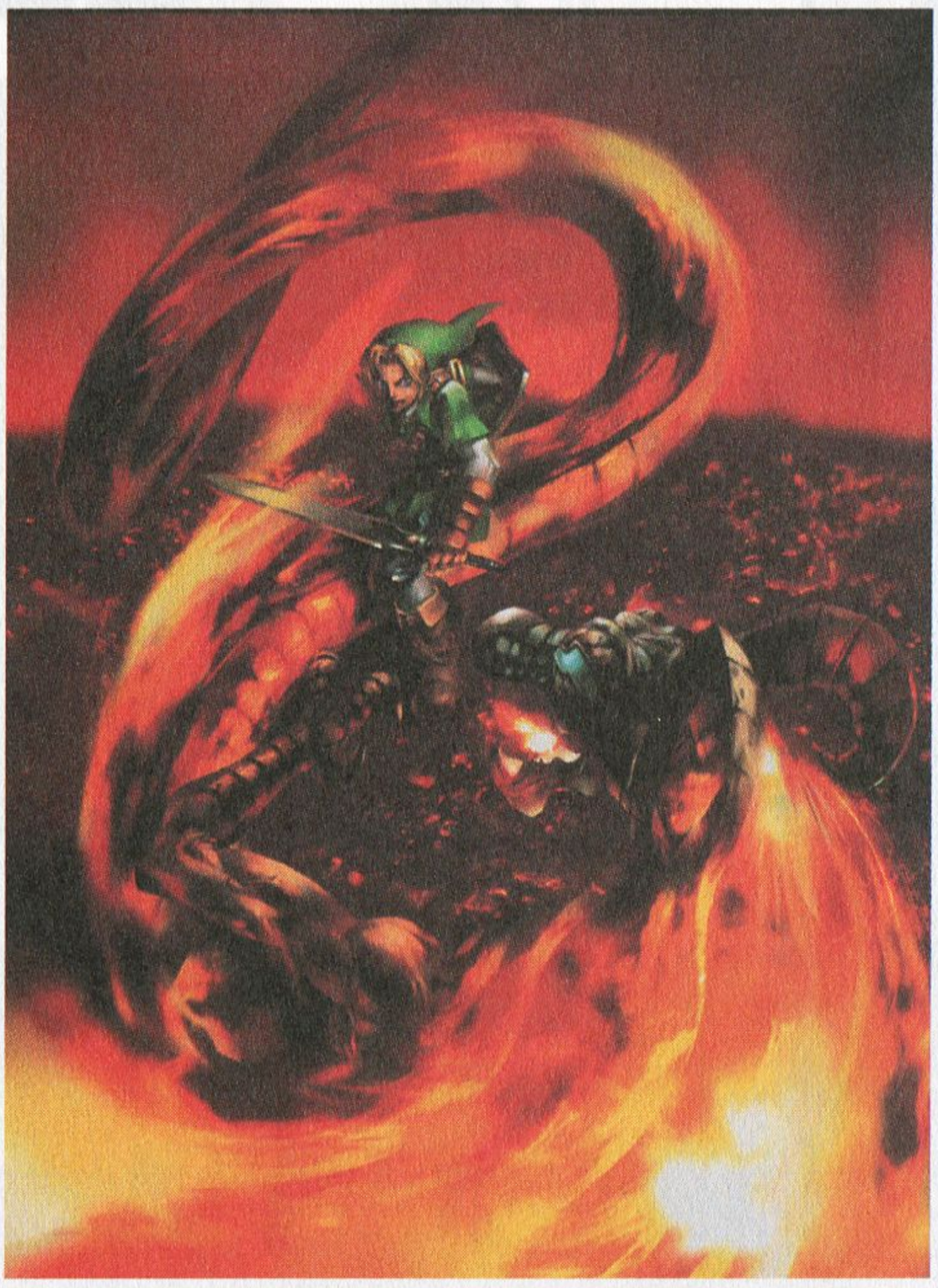
ファントムガノン

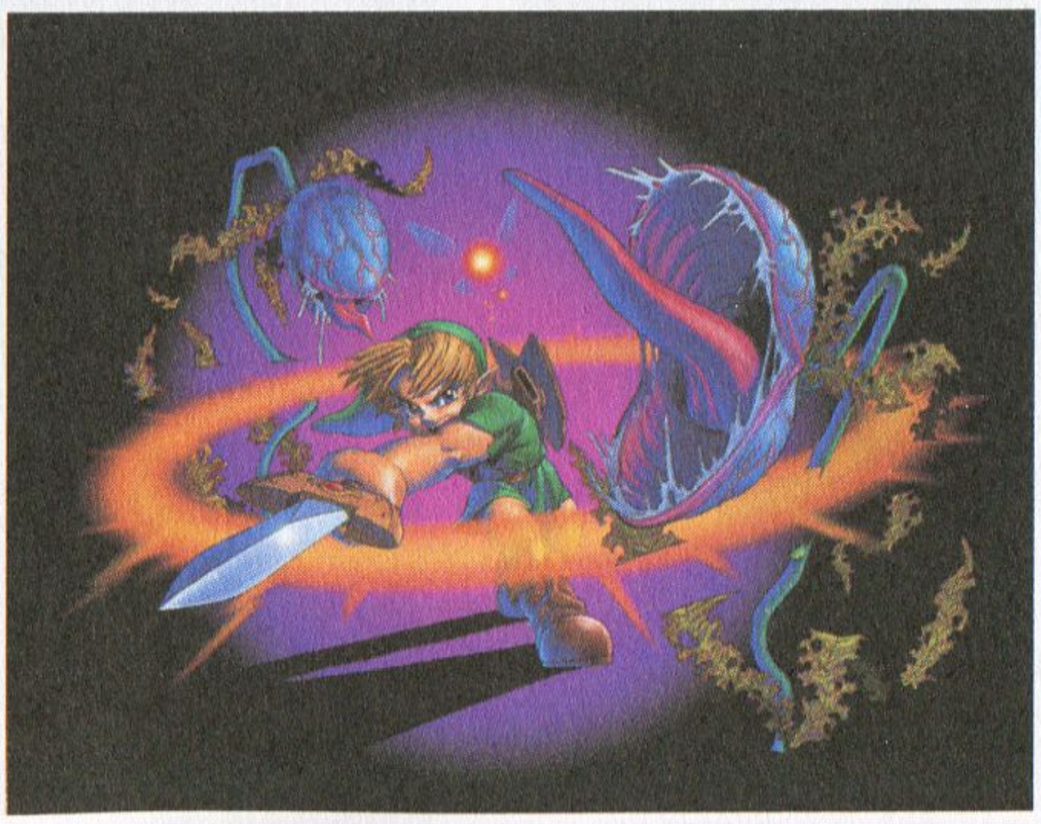
ヴァルバジア

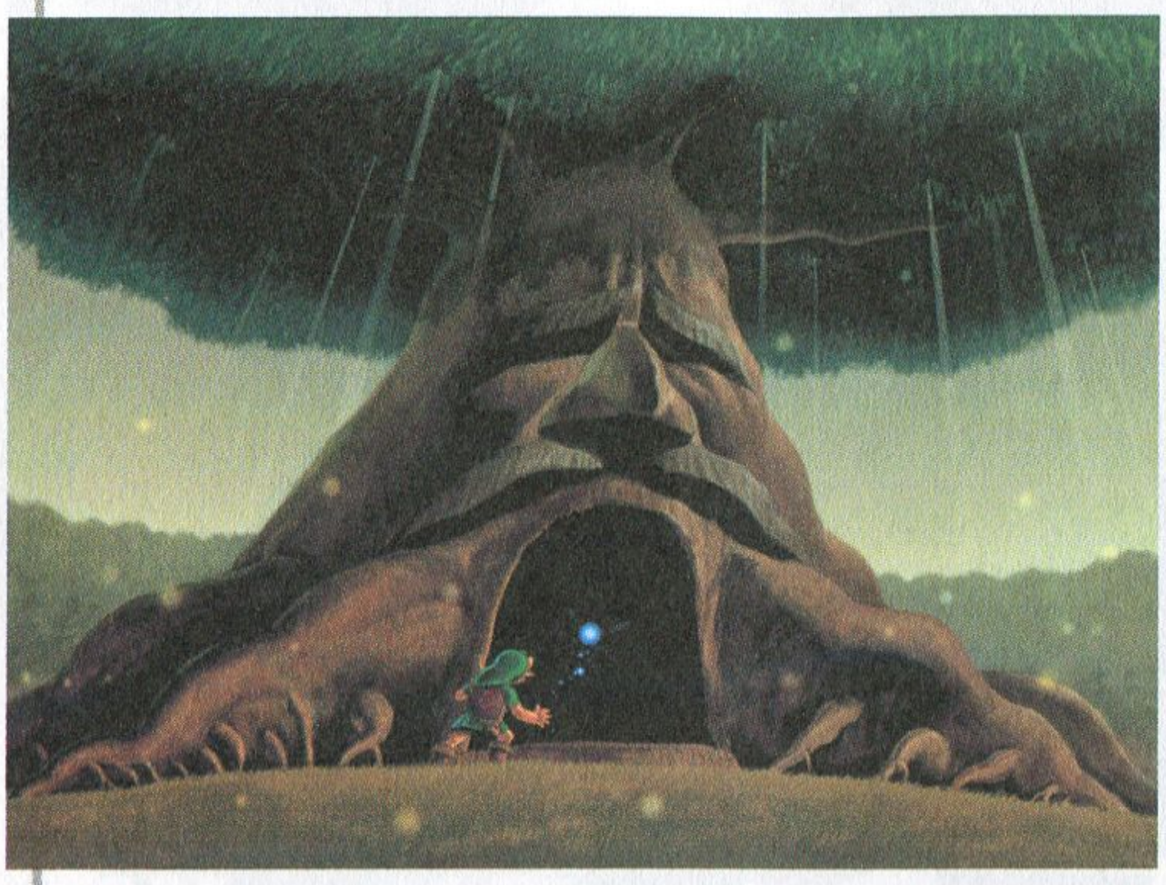
キングドドンゴ

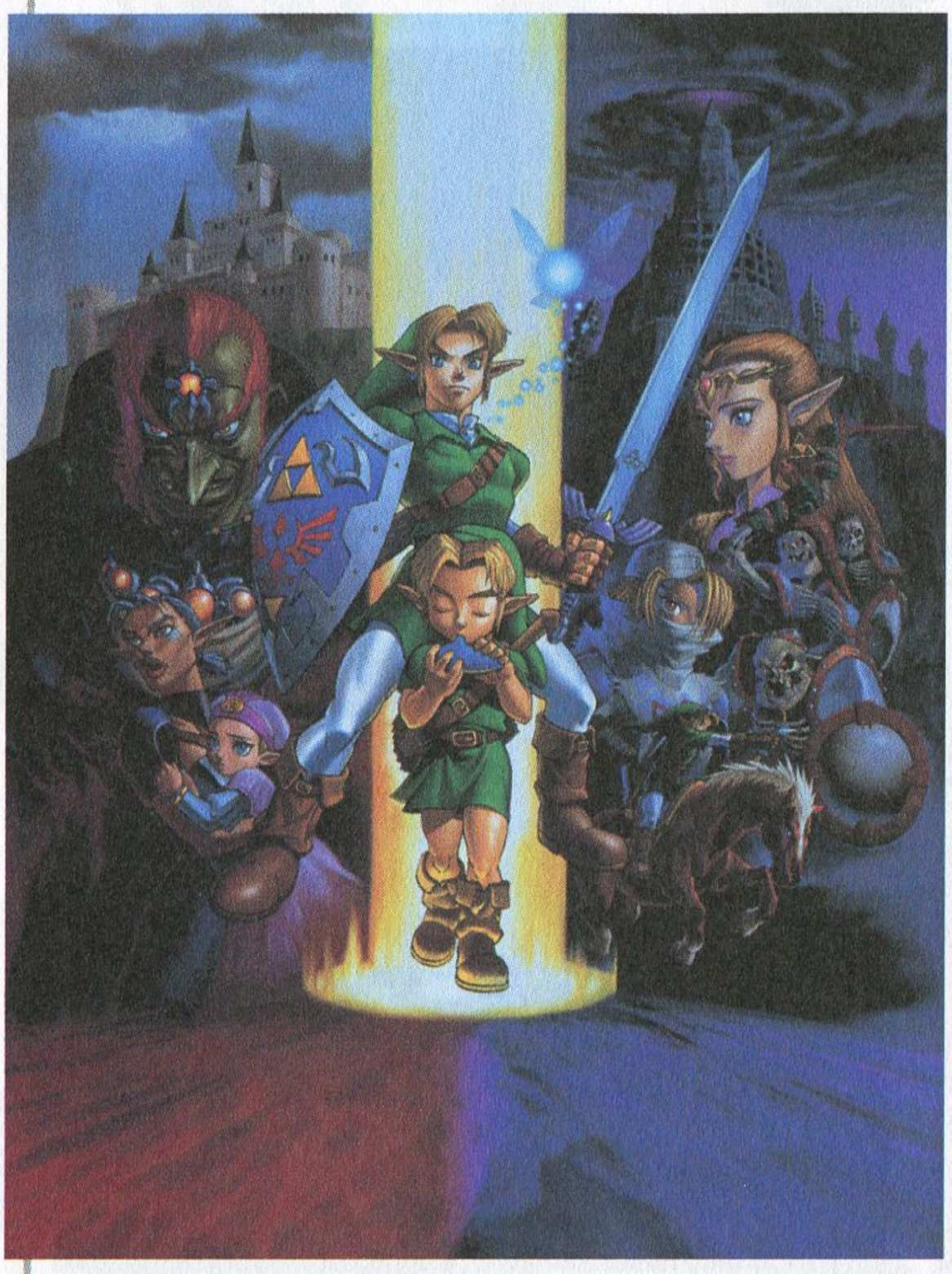
モンスターたち

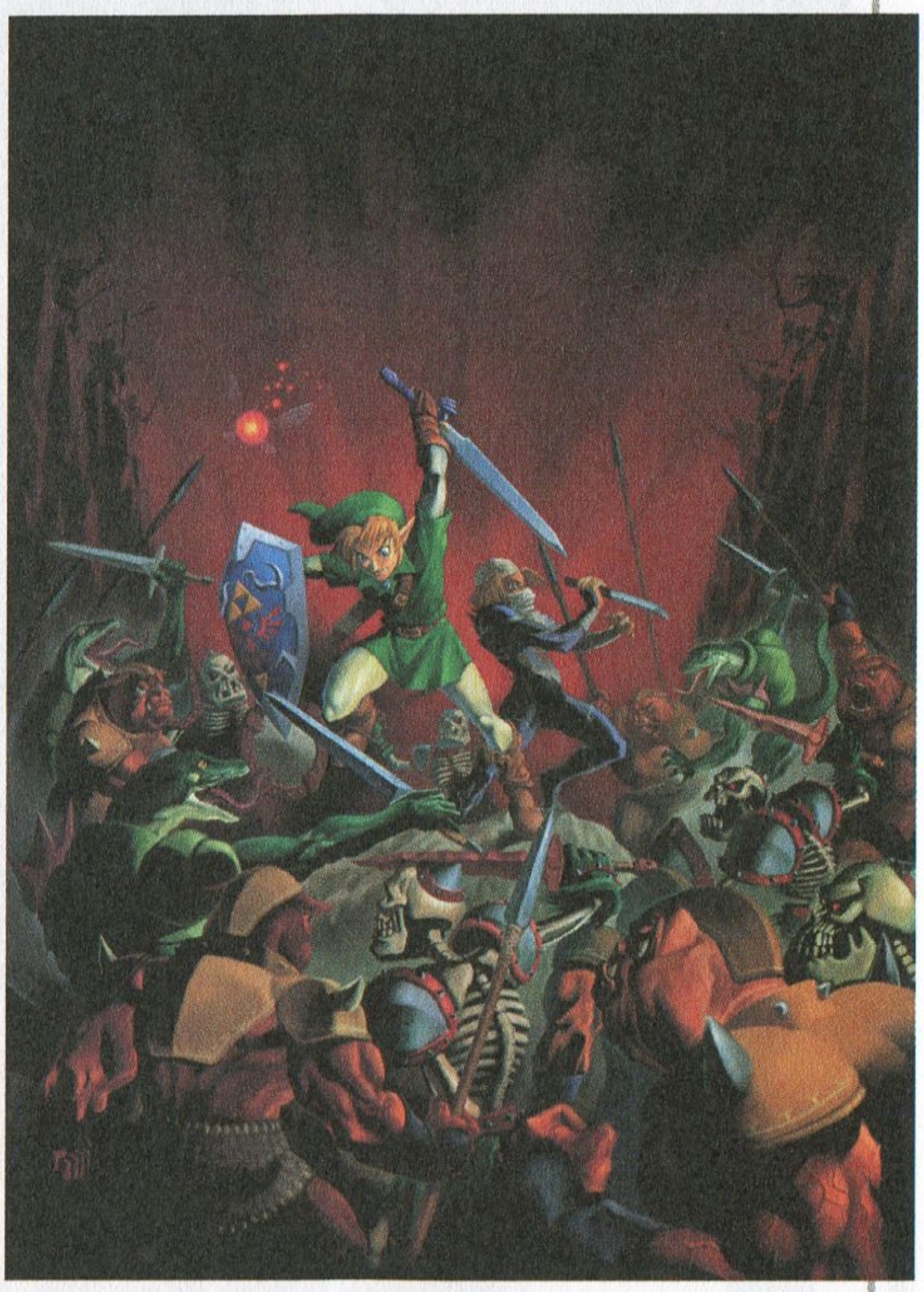


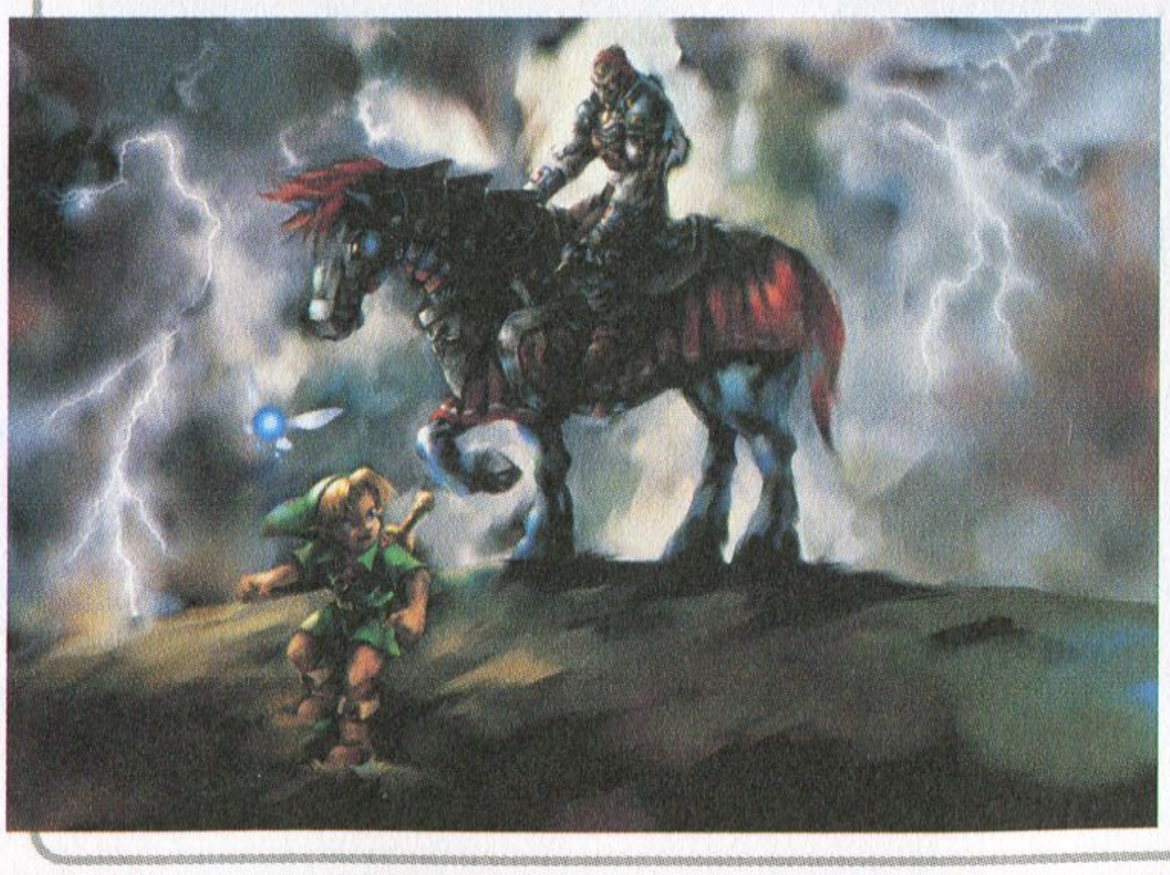


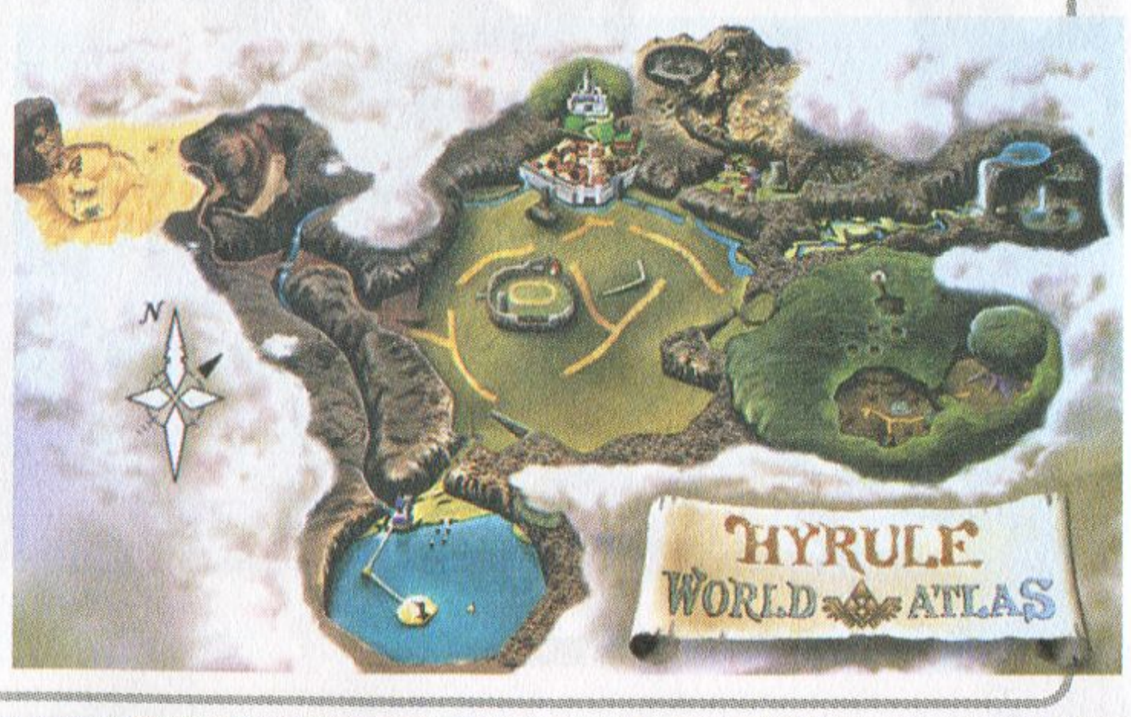












THE LEGEND OF ZELDA® ゼルダの伝説 ムジュラの仮面

ゼルダの伝説　ムジュラの仮面

発売日◎2000年4月27日発売
ハード◎NINTENDO 64
バーチャルコンソール◎Wii:2009年4月7日配信
Wii U:2016年6月29日配信

『時のオカリナ』から数か月後、リンクは3日後には月が落下して滅亡する異次元世界タルミナへ紛れ込んでしまった。リンクは、この限られた3日間を何度も行き来し、かぶると姿を変えたり、特殊な能力を使える「お面（仮面）」を駆使して、世界に散らばる謎を解いていく。

リンク

➡妖精のチャットは、もともとスタルキッド（P33）の仲間だが、リンクと行動を共にする

←初期装備はコキリの剣と勇者の盾。ゲームを進めると、左のイラストのフェザーソードなどが使えるようになる

←「鬼神の仮面」で変身したリンク。本作では『時のオカリナ』と違い、子供姿のままでも馬のエポナに乗れるようになった

↑➡デクナッツ、ゴロン、ゾーラの仮面で変化したリンクの姿

スタルキッド

カーフェイ

←↓クロックタウンや各地の住人たち。リンクの行動次第で、彼らの最後の3日間に変化が起こる

ドトール町長

しあわせのお面屋

パメラ

パメラの父

クリミア

ロマニー

アロマ夫人

アンジュ

ボンバーズ

鍛冶屋

デクナッツ族

ゴロン族長老と息子

ダルマーニ3世

ポストマン

猿

チンクル

ダル・ブルー

←ゾーラ族のバンド。ボーカルのルル、ギターのミカウ、ベースのジャバス、リーダーでキーボードのエバン、ドラムのディジョ、マネージャーのトト

ツインモルド

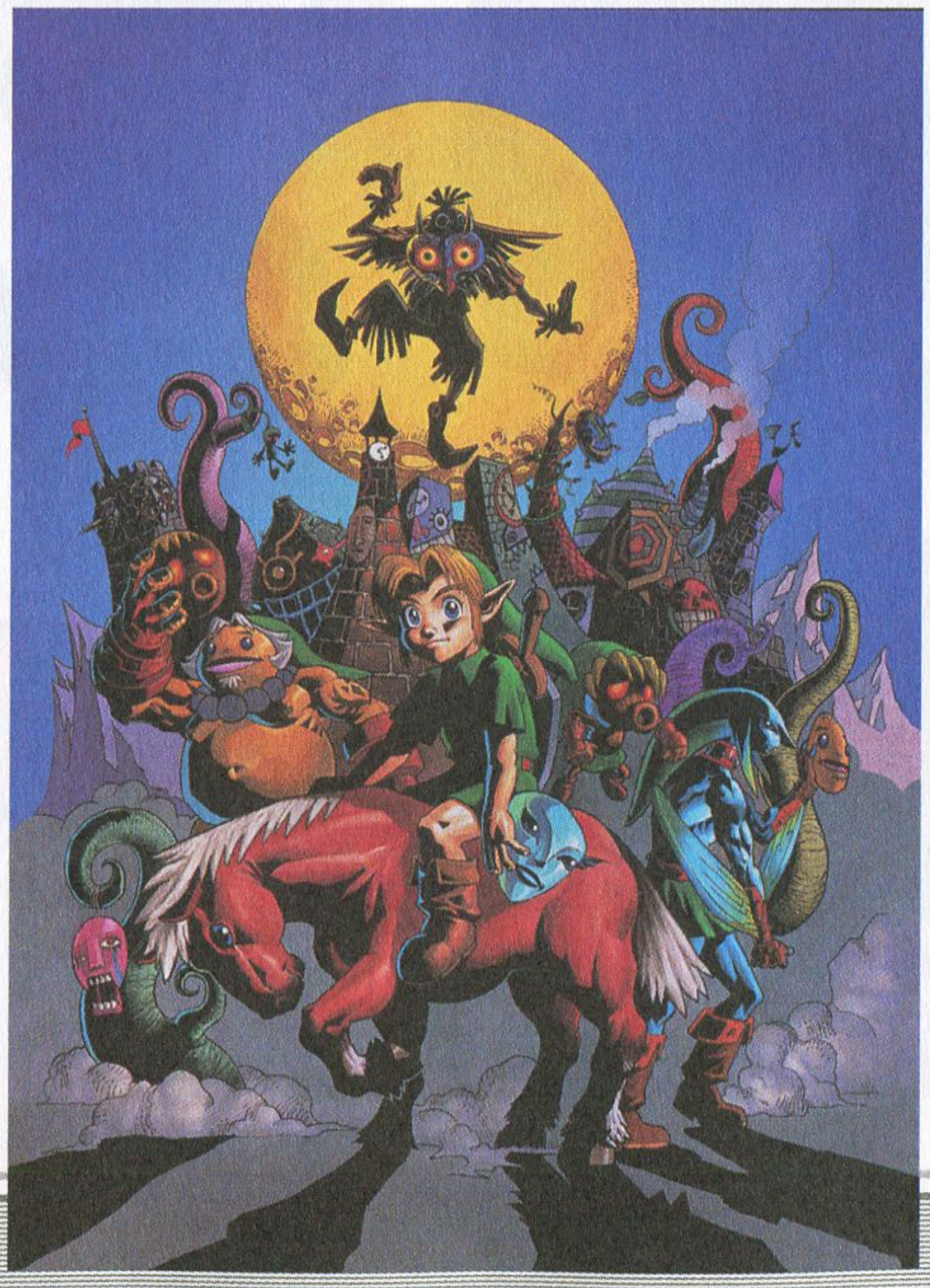
ムジュラの仮面

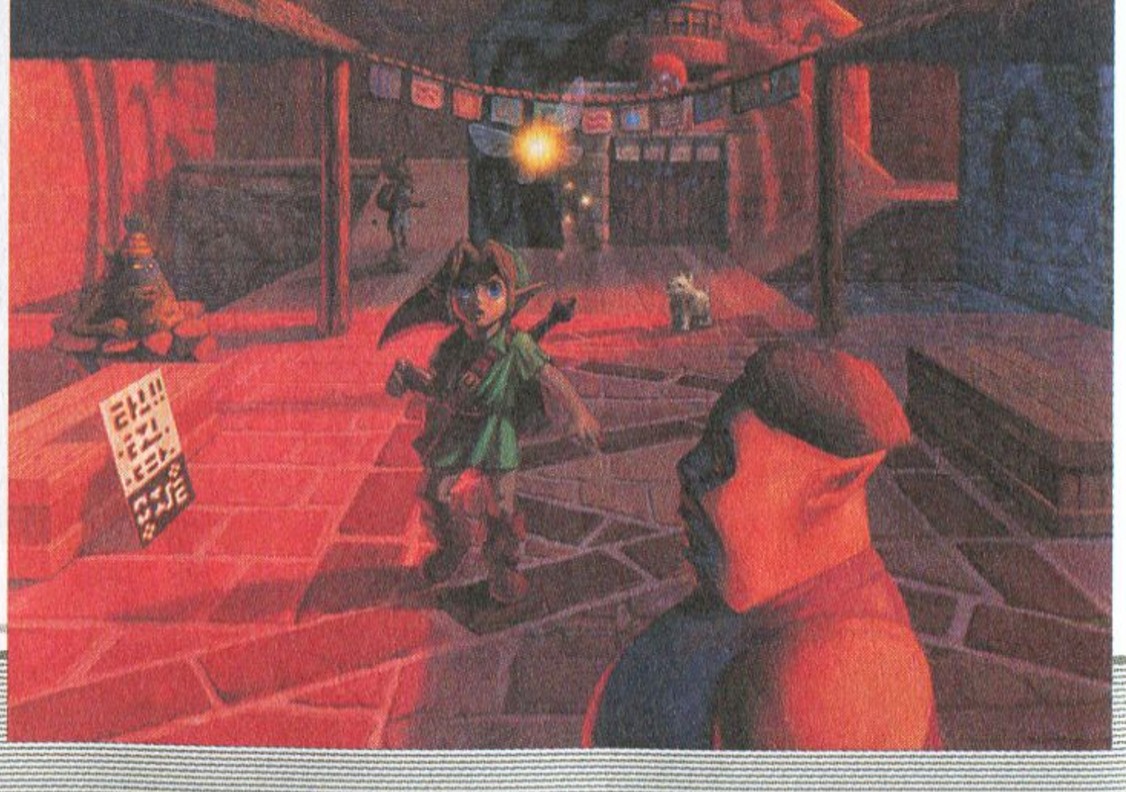
ゴート

グヨーグ

イカーナ王

オドルワ





ゼルダの伝説　ふしぎの木の実 大地の章
ゼルダの伝説　ふしぎの木の実 時空の章

発売日◉2001年2月27日発売
ハード◉ゲームボーイカラー
バーチャルコンソール◉3DS:2013年2月27日配信

ホロドラムが舞台の『大地の章』とラブレンヌが舞台の『時空の章』の2本。『大地の章』は四季のロッド、『時空の章』は時のたてごとを駆使し、世界の謎を解き明かす。片方のクリア後に入手できる「あいことば」をもう片方に入力すると、2つの世界がつながる「リンクシステム」も特徴。

リンク

⬇ハイラルにいたリンクはトライフォースに導かれ、試練を受けるために２つの世界へ

©2001 Nintendo

リッキー

ゼルダ姫

マカの木

森の妖精

ウーラ族

ゴロン族

チンクル

ポストマン

海賊船長

お面屋

トカゲ人

⬆➡ゴロン族や海賊船長、メイプルちゃんのように、2つの物語に共通して登場するキャラクターもいる

インゴー

ゾーラ族

➡『大地の章』では、ホロドラム地方のメガネ池のほとりに、木の上から下りられなくなってしまったチミミちゃんを心配するおじいさんがいた

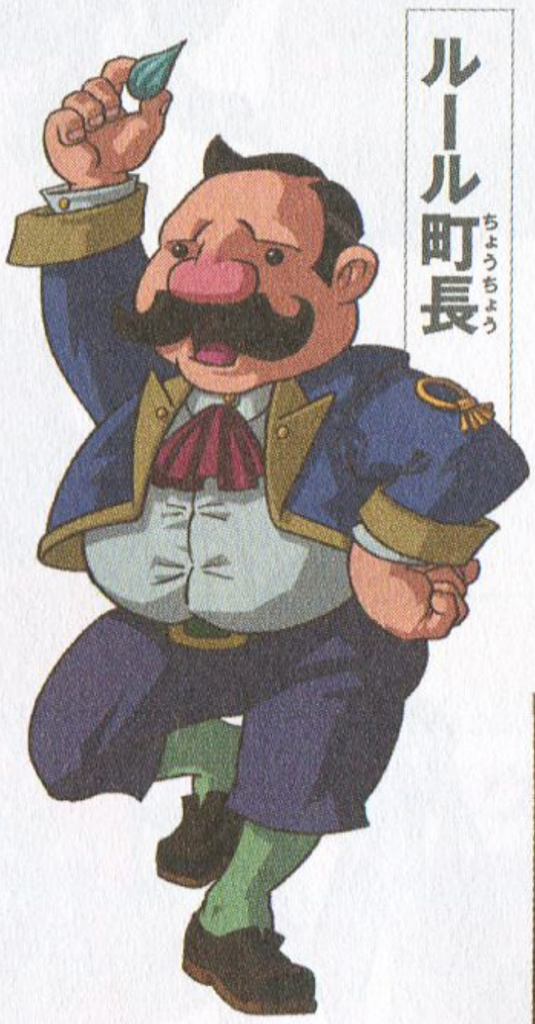
ディン

ザーマス夫人

ソクラ

レフト教授

メイプルちゃん



ルール町長

チクタク

ラルフ

➡ネールの幼なじみの少年ラルフ。実はアンビ女王の子孫で、マユゲの形がそっくり

ネール

グル・グルさん

⬅時空をつかさどる「時の巫女」ネールは、闇の司祭ベランの野望のために身体を乗っ取られてしまう

アーダラ長老

シロッス

ペックとラミン

フロル

トーマス

マロンとタロン

アンビ女王（じょおう）

プレン町長（ちょうちょう）

ママム・ヤン

ベック

ラフトン

リペア

デカダン

←↓『時空（じくう）の章（しょう）』レンヌの町（まち）の人々（ひとびと）。ベックは、ペック夫妻（ふさい）と似（に）ているが、ガチャの実（み）が大嫌（だいきら）い

トッキー

シバール

カーノ

店の主人(みせのしゅじん)

スーベルと相方(あいかた)

トロイ

手(て)

大工の親方(だいくのおやかた)と大工(だいく)

バイア

ボスブリン

ゴルゴン

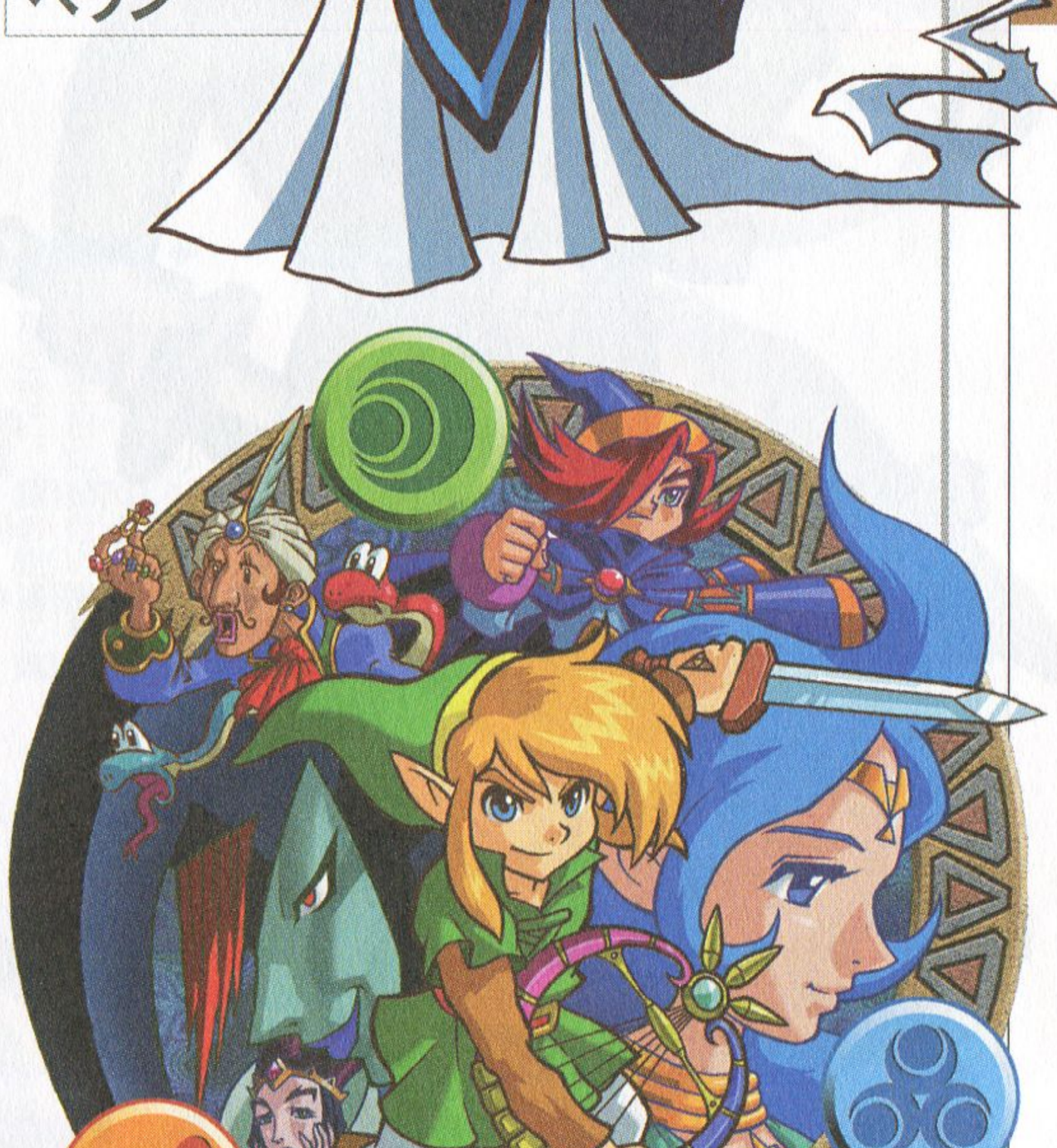
←リンクシステムで、2つの世界の謎を解いていくことにより、シリーズでおなじみのボスキャラ・ガノンが登場するシナリオをプレイできる

ガノン

ツインローバ

←『時空の章』の事件の元凶ベランと『大地の章』の事件の元凶ゴルゴン。その2つを陰から操っていたツインローバ

ベラン



↑『大地の章』と『時空の章』のメインビジュアルには、それぞれのキーとなるキャラが描かれている

THE LEGEND OF ZELDA® ゼルダの伝説 風のタクト

ゼルダの伝説　風のタクト

発売日◎2002年12月13日発売
ハード◎ニンテンドー ゲームキューブ

「触れるアニメ」というコンセプトのもと、3DCGのトゥーンレンダリングで描かれた作品。さらわれた妹を救うため、風を操れる「風のタクト」を駆使して大海原を旅する。多彩なアクションはもちろん、リンクやほかのキャラクターの表情が謎を解くヒントにもなっている。

リンク

©2002 Nintendo

←➡本作でのリンクは、プロロ島に住む12歳の少年。島の風習で誕生日に緑色の服を着ていたときに、謎の怪鳥に妹をさらわれ冒険の旅に出る

←→剣を持つ姿は、まさに伝説の勇者のようだ。妹のアリルは兄思いの女の子で、望遠鏡が大好き

リンクのおばあさん

アリル

ゼルダ姫

ラルト

妖精の女王

テトラ

ゴンゾ

セネカ

モッコ

ズコ

ニコ

ナッジ

タウラ島探検団

アブリ

マサオ

ロースおばさん

チャツボ

ジョエル

ギル

←→リンクの住むプロロ島の住人たち。彼らから冒険に役立つ、いろいろなテクニックを伝授してもらう

コログ族

メドリ

マコレ

コモリ

テリー

オドリー

サルバトーレ

フォド

赤獅子の王

ハイラル王

親方様

←伝説の勇者は、フォドと同じコキリ族の少年だったらしい。そして、このコキリ族が、時を経てコログ族へと姿を変えていったようだ

ムールとその父

ゲンゾー

マギーとその父

ツクルハジメ

マニー・A

トトゥー

ドク・ヴァンダム

スズナリ

青ジイ

ミセス・マリー

赤シャチ

さすらいの露天商

ヴァルー

デクの樹

チンクル

アンクル

ナックル

ディビットJr.

魚男

大妖精

フーチン

ジャブー

ライチン

ボコブリン

スタルフォス

モリブリン

カーゴロック

リーデッド

チュチュ

ガモース

グヨーグ

ウィズローブ

タートナック

←↑大きな鎧や盾で装備を固めている、ガノンドロフの手下タートナック。その色によって強さが異なる。中にはマントを羽織っているものも

デグアモス

ファントムガノン

クグツガノン

ジャイ・ハーラ

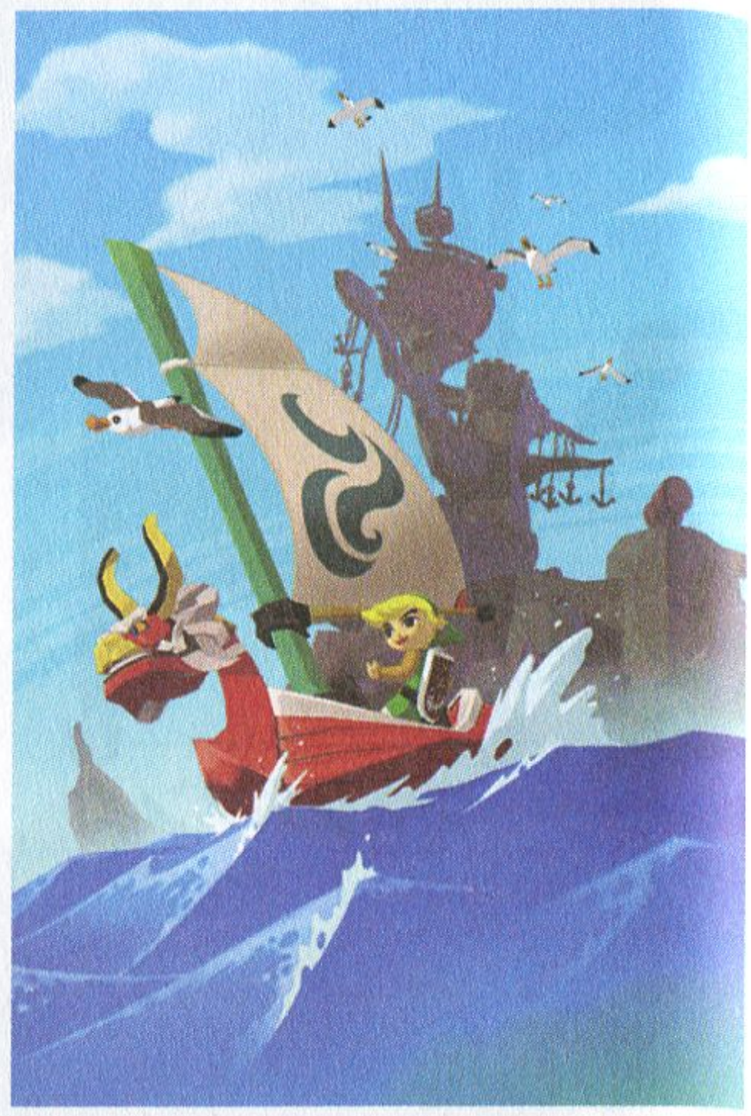
カーレ・デモス

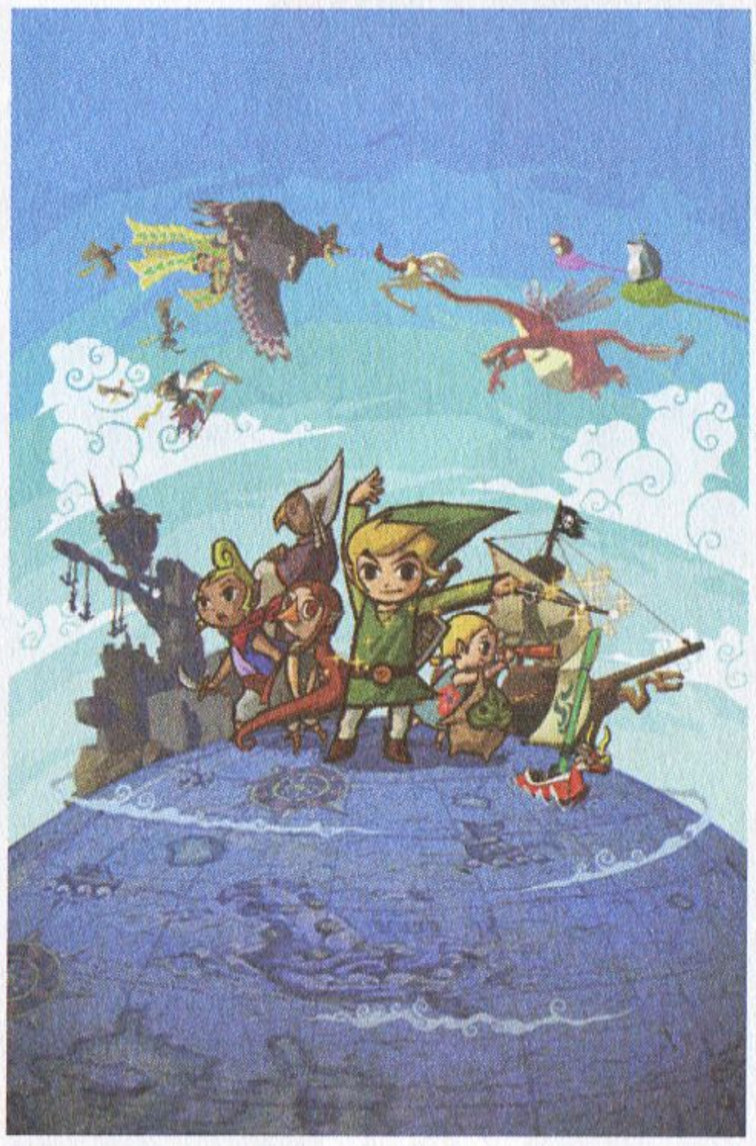
モルド・ゲイラ

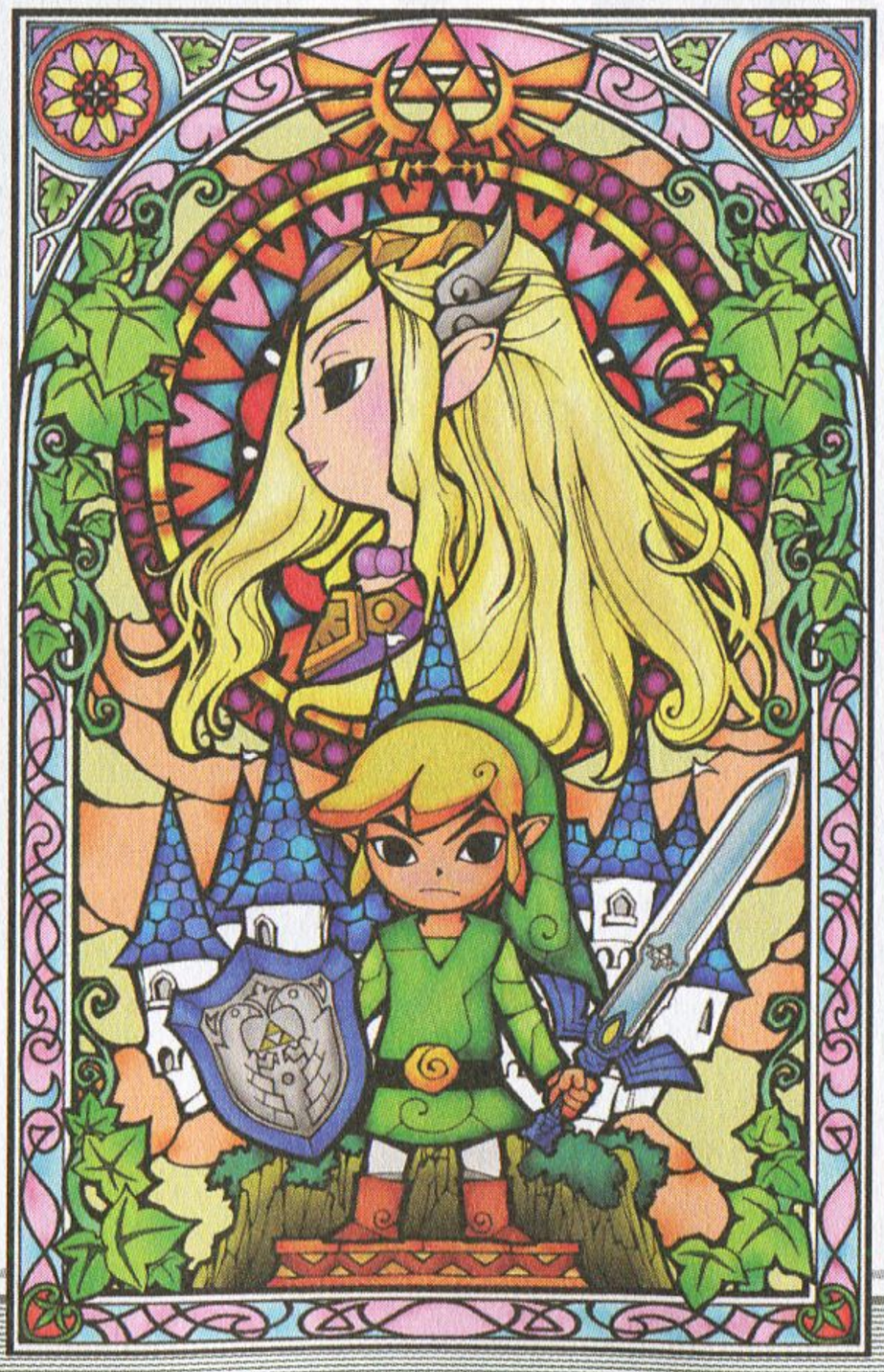
ゴーマ

ジークロック

ゴードン







THE LEGEND OF ZELDA®
ゼルダの伝説
神々のトライフォース&4つの剣

ゼルダの伝説　神々のトライフォース&4つの剣

発売日◎2003年3月14日発売
ハード◎ゲームボーイアドバンス

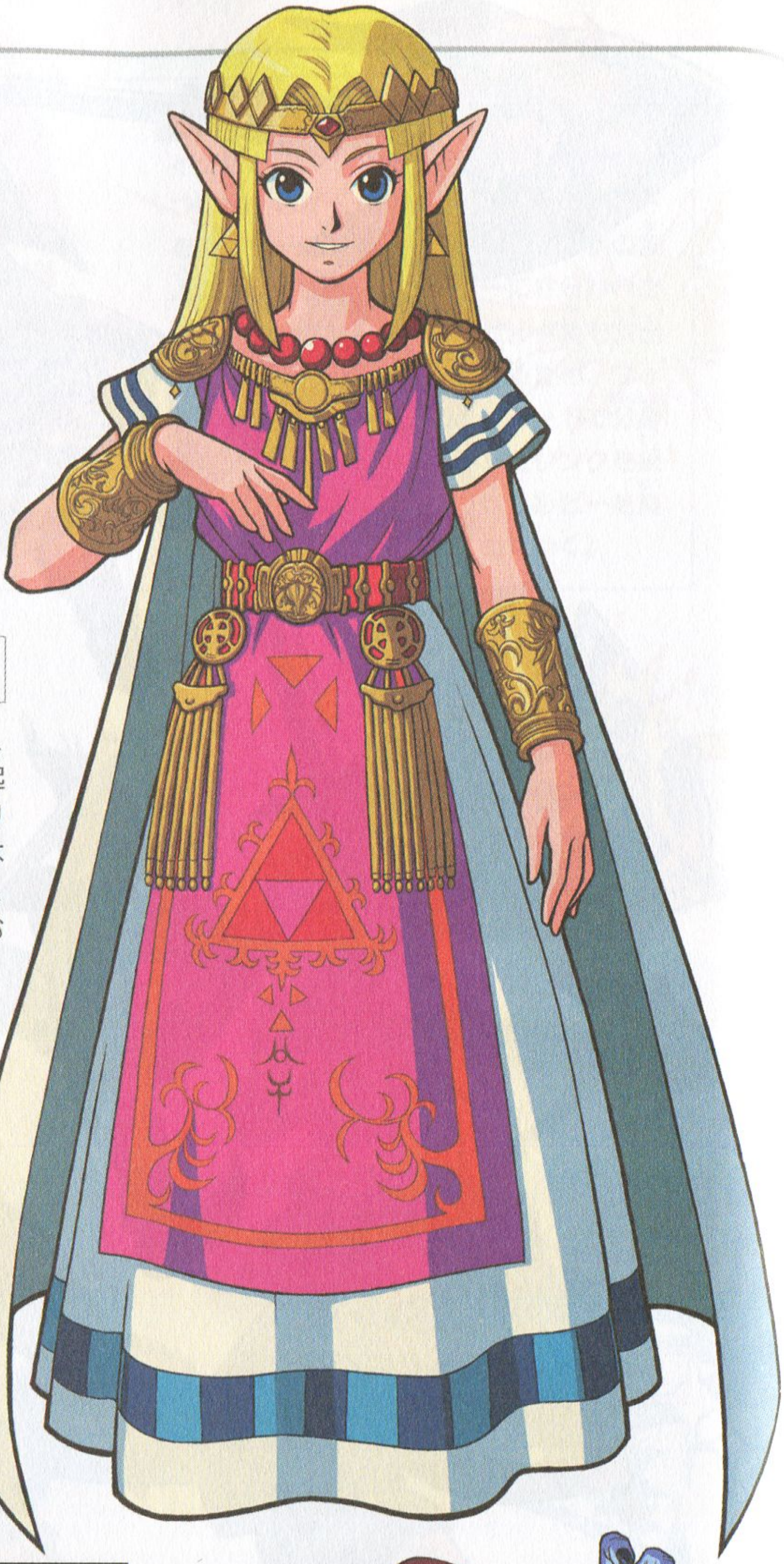
SFC版『神々のトライフォース』のリメイク版とGBAの新作『4つの剣』を収録。『4つの剣』は2～4人用で、人数分のソフトを通信ケーブルで接続することで、初の多人数プレイが可能に。グフーにさらわれたゼルダ姫を救出するため、フォーソードで分身したリンクを操作しルピーを集めていく。

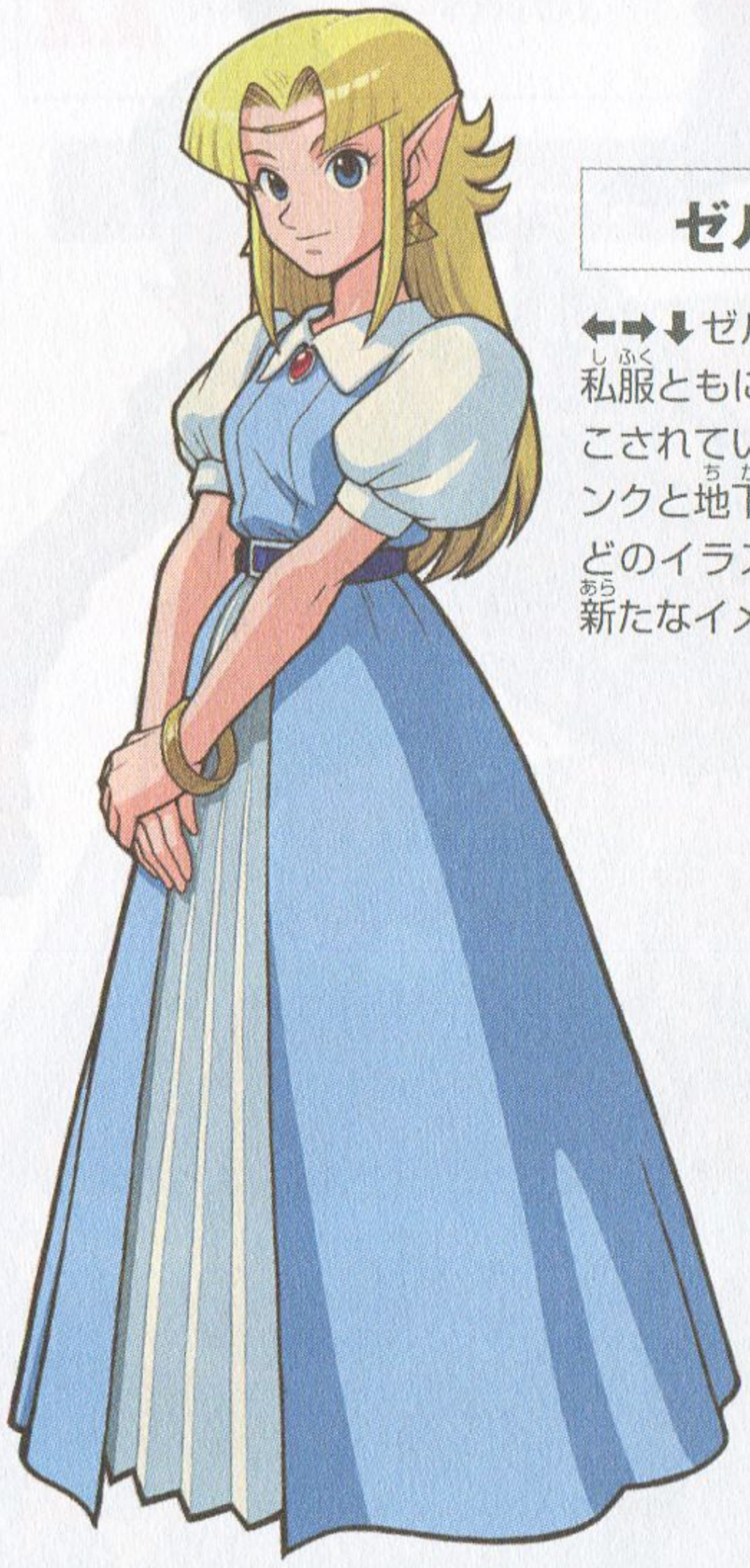
神々のトライフォース

リンク

←SFC版をリメイクしたタイトルだが、イラストは新たに描き起こされている。SFC版よりも瞳が大きく柔和な印象を受ける。同じポーズも多く、比べてみるのも面白い

©2003 Nintendo

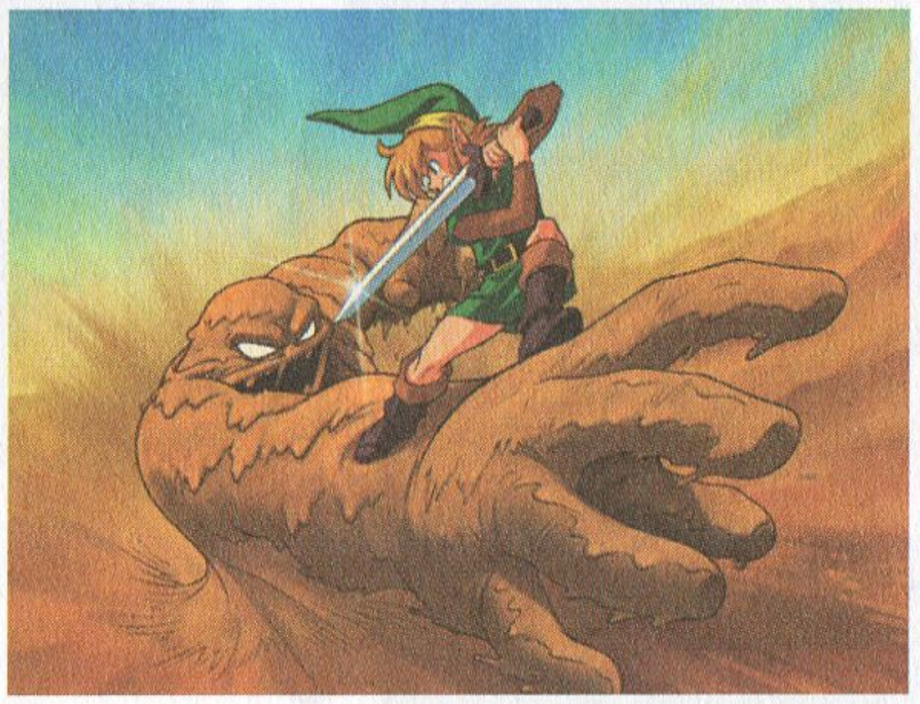


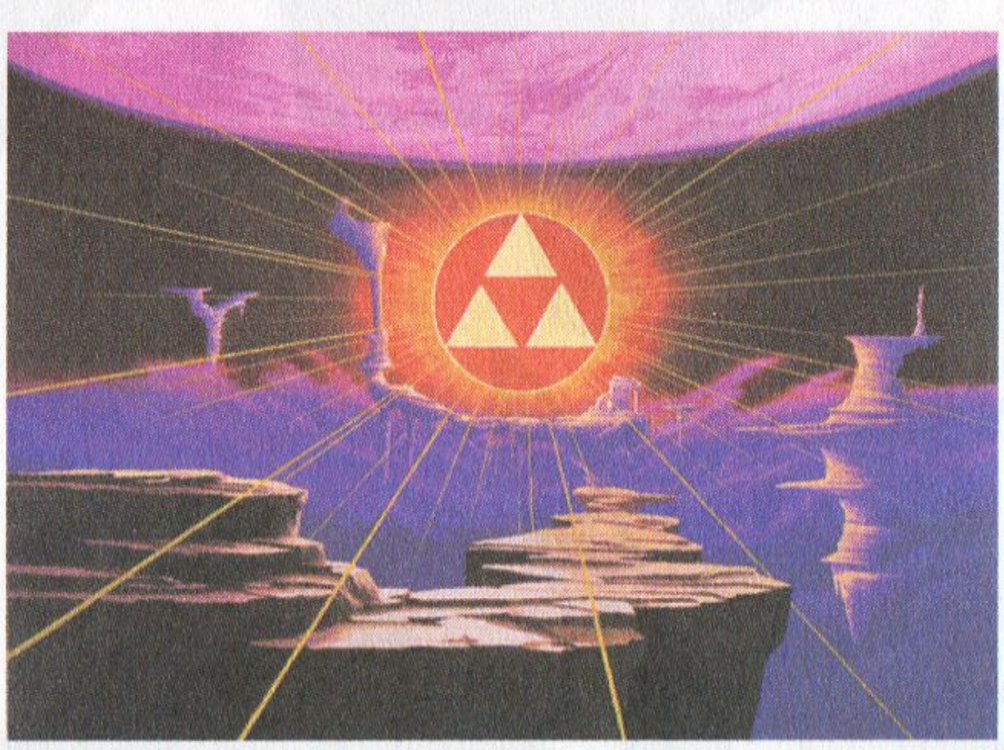


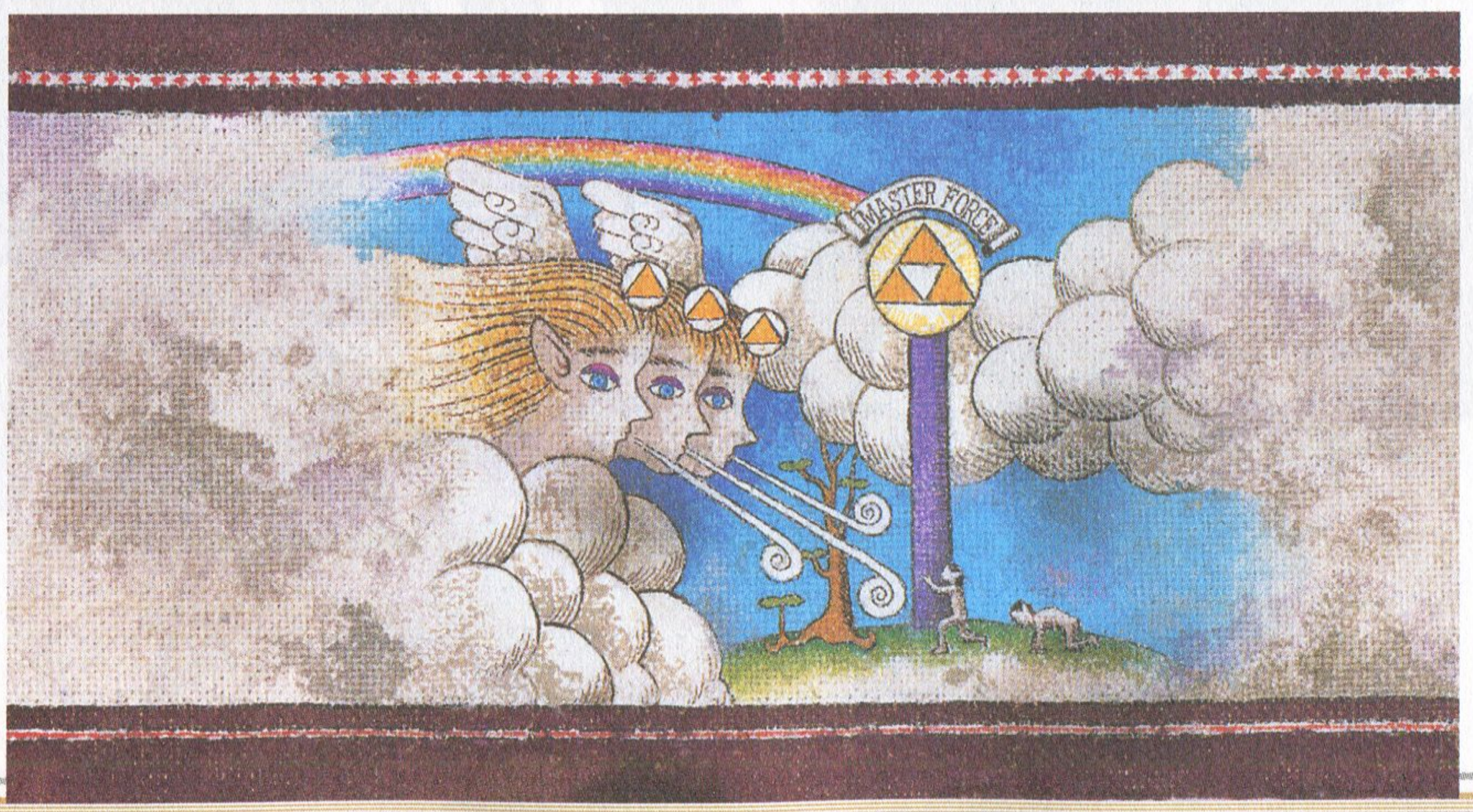
ゼルダ姫

←→↓ゼルダ姫も正装、私服ともに新たに描き起こされている。また、リンクと地下道を進む姿などのイラストも見られ、新たなイメージが膨らむ

アグニム






MASTER FORCE

4つの剣

⬇➡同じリンクでも、こちらは『風のタクト』のイメージに近い。フォーソードの力でリンクが緑服、赤服、青服、紫服の4人に分かれる

リンク

⬆⬇ゼルダ姫を救うには、3つの地域にいる妖精に勇気を認めてもらうため、ルピーを集める必要がある。通貨としてシリーズに定着しているルピーだが、奪い合う姿はある意味新鮮。もちろん、協力して敵を倒すのも重要だ

ゼルダ姫

➡フォーソードを管理していたゼルダ姫は、復活したグフーに花嫁としてさらわれてしまう。2～4人で協力して彼女を救出しよう

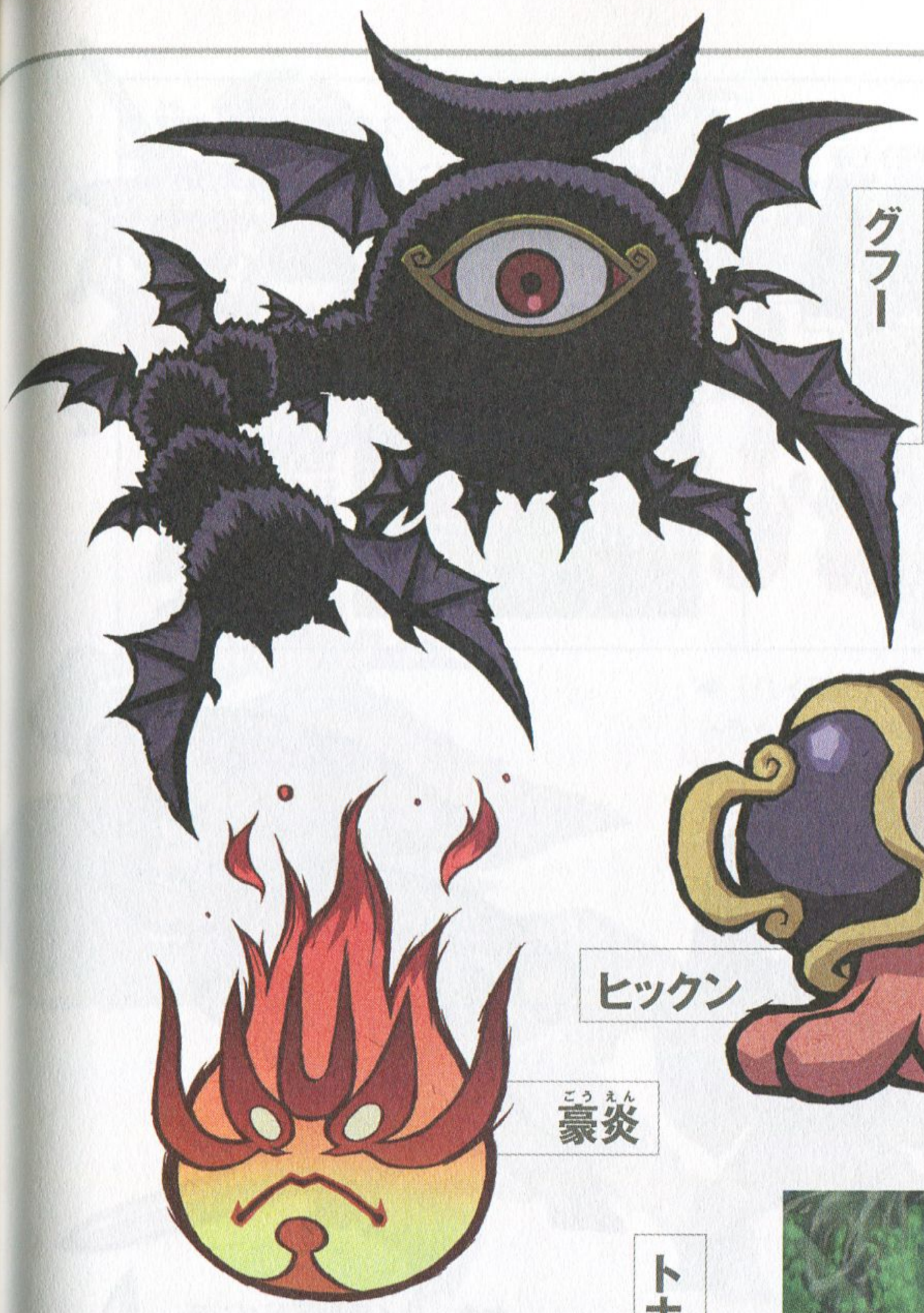
ホニャ妖精

⬅始まりのほこらにいる妖精。アイテムや仕掛けなど、基本的なことを教えてくれる

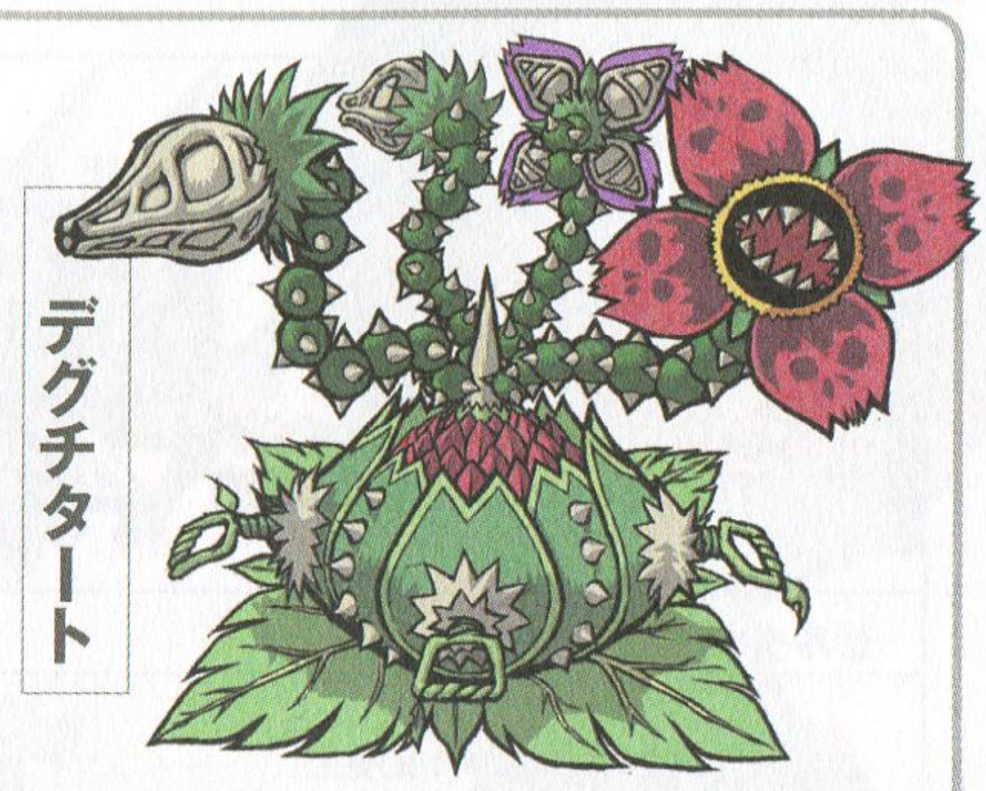
カゲロウ大妖精

チョウ大妖精

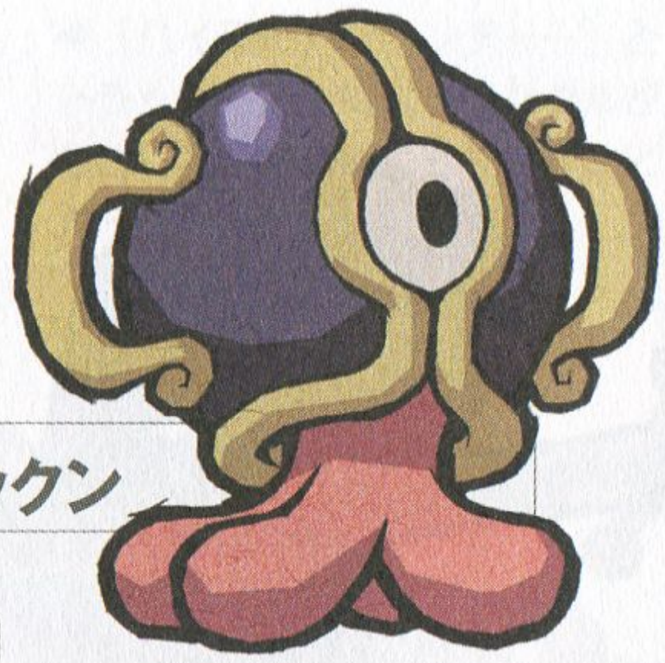
トンボ大妖精



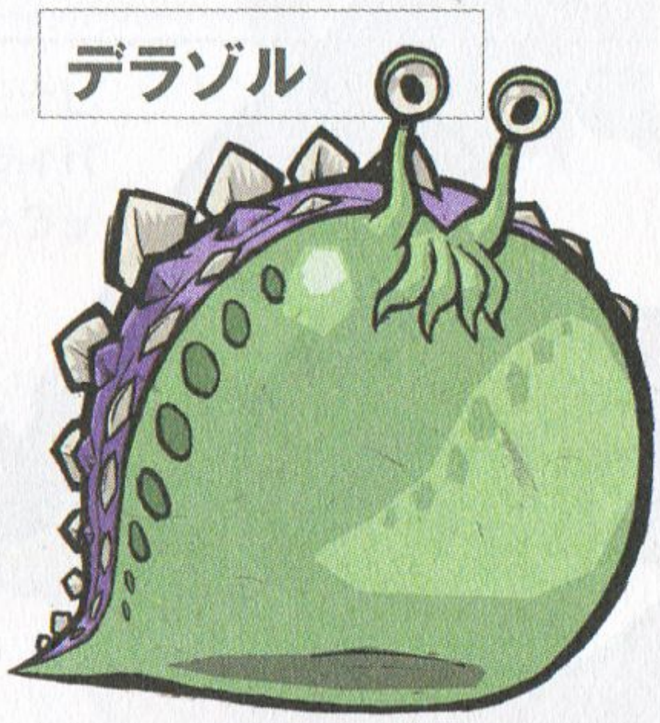
グフー



デグチタート



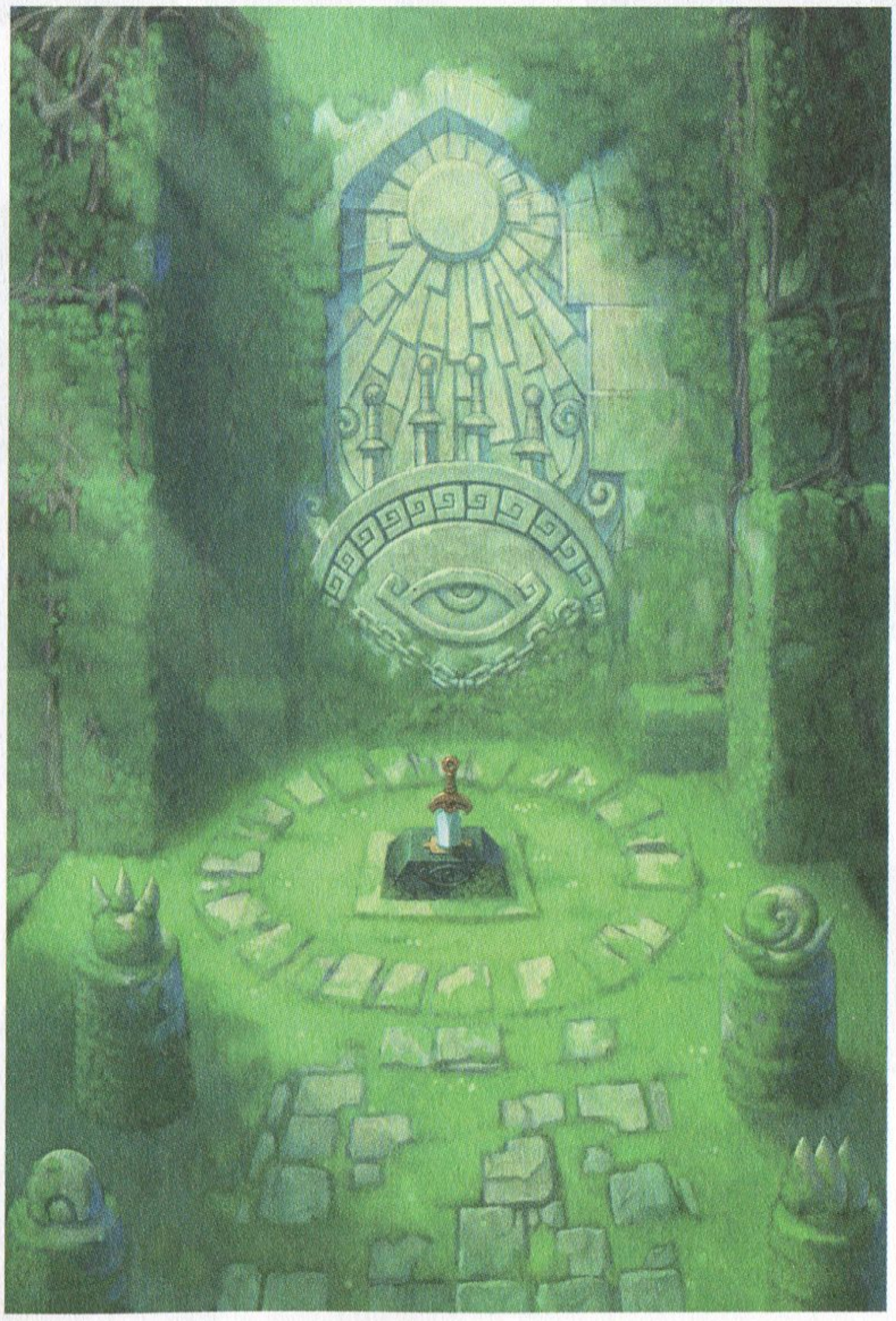
ヒックン

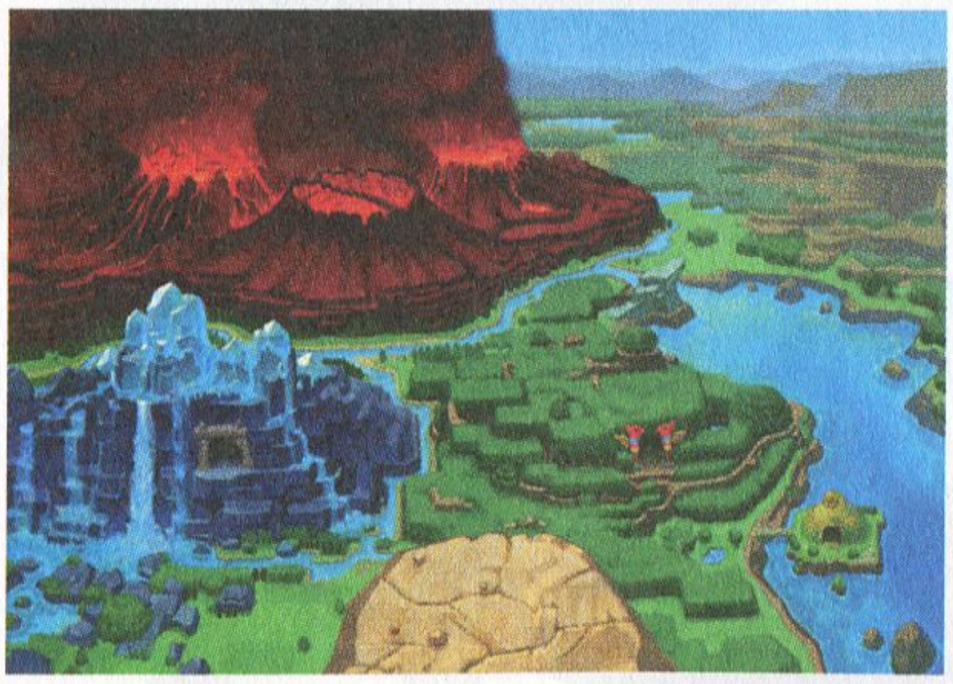


デラゾル

豪炎（ごうえん）

トホホ





つながる 遊びがひろがる

THE LEGEND OF ZELDA® ゼルダの伝説 4つの剣＋

ゼルダの伝説　4つの剣＋

発売日◉2004年3月18日発売
ハード◉ニンテンドー ゲームキューブ

『神々のトライフォース＆4つの剣』の続編「ハイラルアドベンチャー」、2～4人で対戦する「シャドウバトル」、4人まで同時プレイ可能な海賊団の入団試験「ナビトラッカーズ」の3本を収録。「ナビトラッカーズ」は、『風のタクト』の世界で、一人前の海賊団になるためにメダルを集める。

←↑「ハイラルアドベンチャー」ではリンクの分身だが、「ナビトラッカーズ」ではテトラの手下の海賊が変装しているという設定

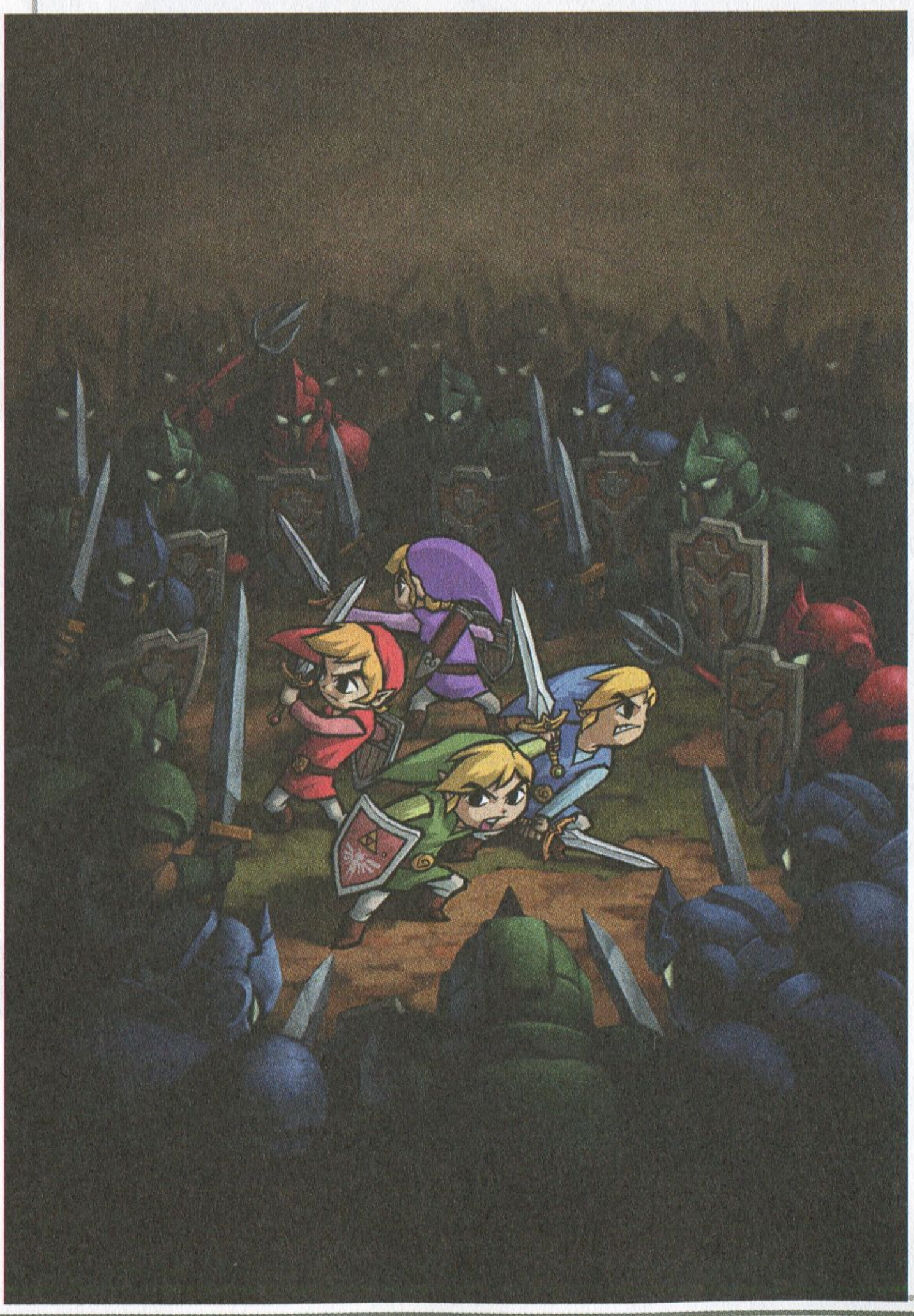
リンク

©2004 Nintendo

チンクル

➡「ハイラルアドベンチャー」と「ナビトラッカーズ」には、チンクルがライバルとして登場する。とくに「ナビトラッカーズ」のチンクルは強敵

テトラ



←↑敵に囲まれた4人のリンクたちを描いたパッケージイラストと、「ハイラルアドベンチャー」で冒険の舞台となるハイラルのマップ。8つの地域にそれぞれ3つのコースが用意されている

THE LEGEND OF ZELDA® ゼルダの伝説 ふしぎのぼうし

ゼルダの伝説　ふしぎのぼうし

発売日◉2004年11月4日発売
ハード◉ゲームボーイアドバンス
バーチャルコンソール◉Wii U:2014年4月30日配信

魔人によってゼルダ姫にかけられた石化の呪いを解くため、リンクが聖剣を作る冒険に出る。パートナー・エゼロの魔法で体の大きさを変えながら、現実世界とおとぎ話に出てくるような小さな世界を行き来する。ニテン堂でのフィギュア集め、カケラ合わせなど冒険以外の楽しみも多い。

エゼロ

⬇➡帽子のような姿でリンクと行動を共にするエゼロ。実はグフーに姿を変えられてしまったピッコルの賢者

リンク

⬅⬆主人公。鍛冶職人スミスの孫で、王女ゼルダ姫とは幼なじみ。エゼロと行動し、体を小さくしてピッコルの世界を行き来し、ゼルダ姫を救うため戦う

©2004 Nintendo

⬅⬇剣をバシッと構えたリンクと、りりしい横顔。今作では、各地にいるテッシン流の剣の達人から8つの剣技を教えてもらえる

⬆パッケージにも描かれていたリンクとエゼロの姿。見上げる先にあるのは一体？

⬆剣技のひとつ、ダッシュ斬りを繰り出す！　「ペガサスのくつ」のダッシュ力を使って敵に突っ込む技

←最初に覚える剣技は、おなじみ回転斬り！　ぐるぐる回り続ける大回転斬りも

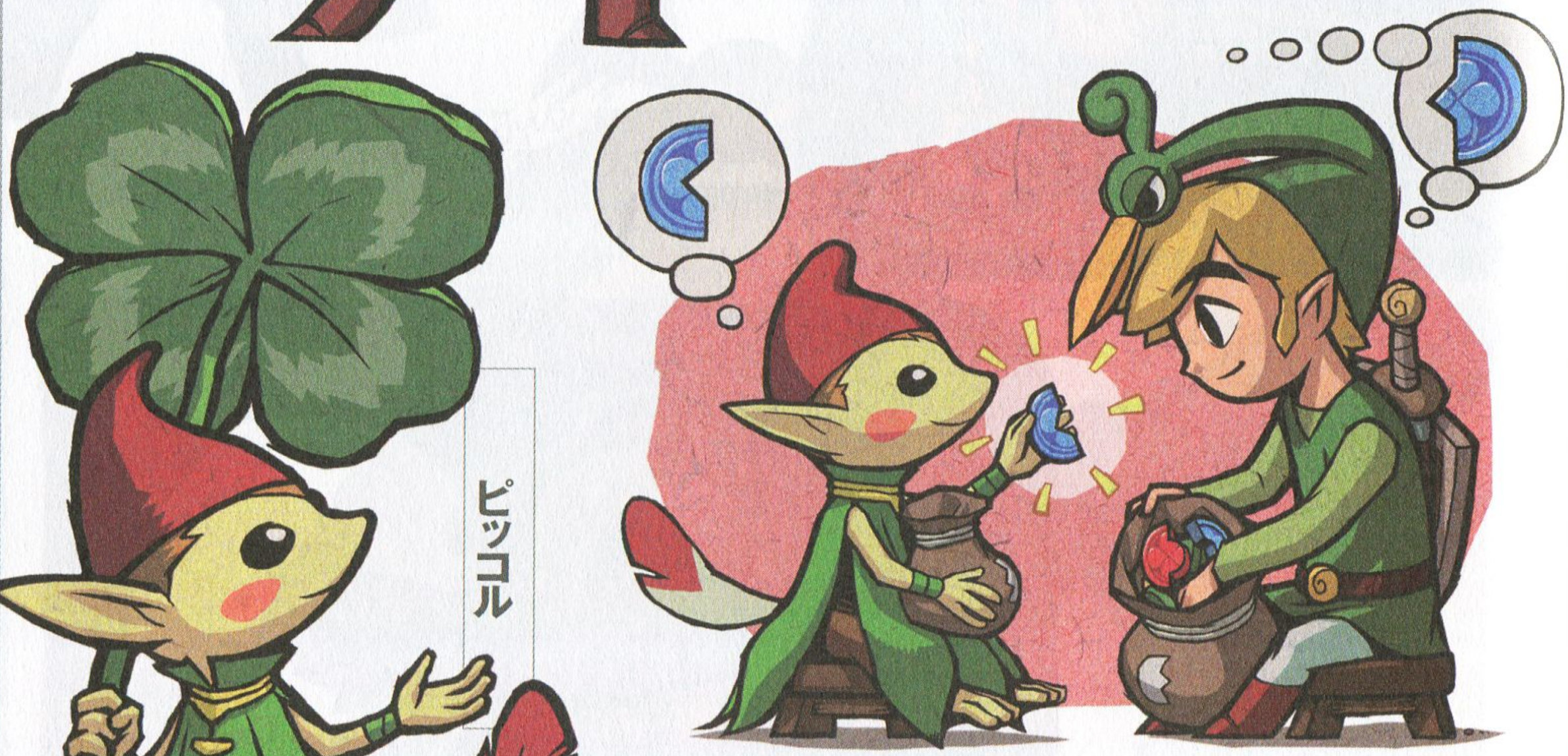
↓杖の先から放たれる光で、なんでもひっくり返す「パッチの杖」。謎解きだけでなく、敵への攻撃にも使えた

↑空気を吸い込んだり吐き出したりできる「魔法のつぼ」

➡地面も壁もどんどん掘れる「モグラグローブ」。掘ると出てくるのはルピーか敵か？

⬇地図を見ながら、次の行き先を相談してる？　迷ったらSELECTボタンで聞けるエゼロのアドバイスが役に立つ

⬆➡キリッと構えたリンク。“フォーソード”や“ミラーシールド”といった強力な装備も入手できた

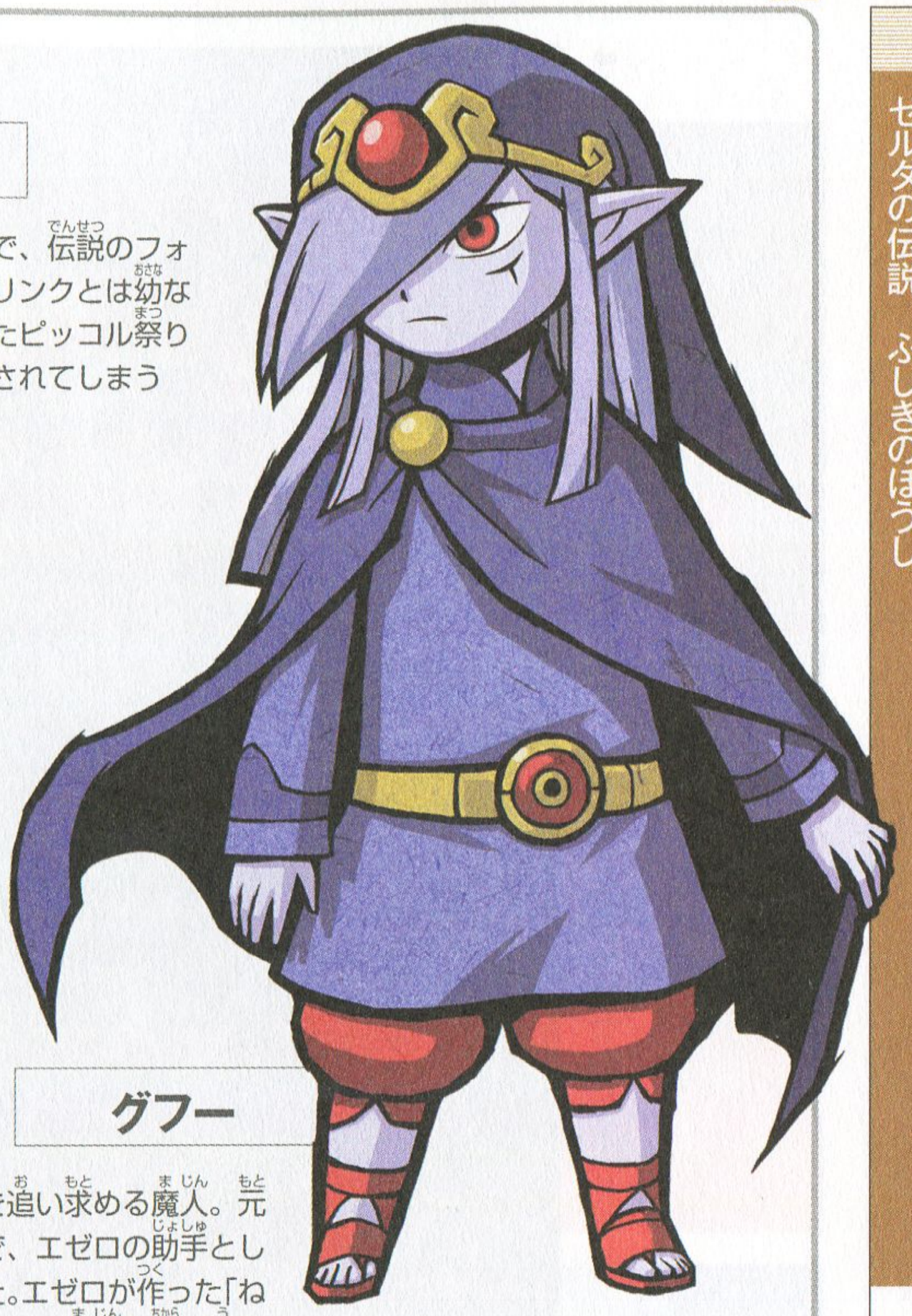


⬅⬆ハイラルの各地に住む、伝説として伝わる小さな種族。子供にしかその姿は見えない。カケラ合わせのカケラは、じつは幸せを願うピッコルたちが作っている

ピッコル

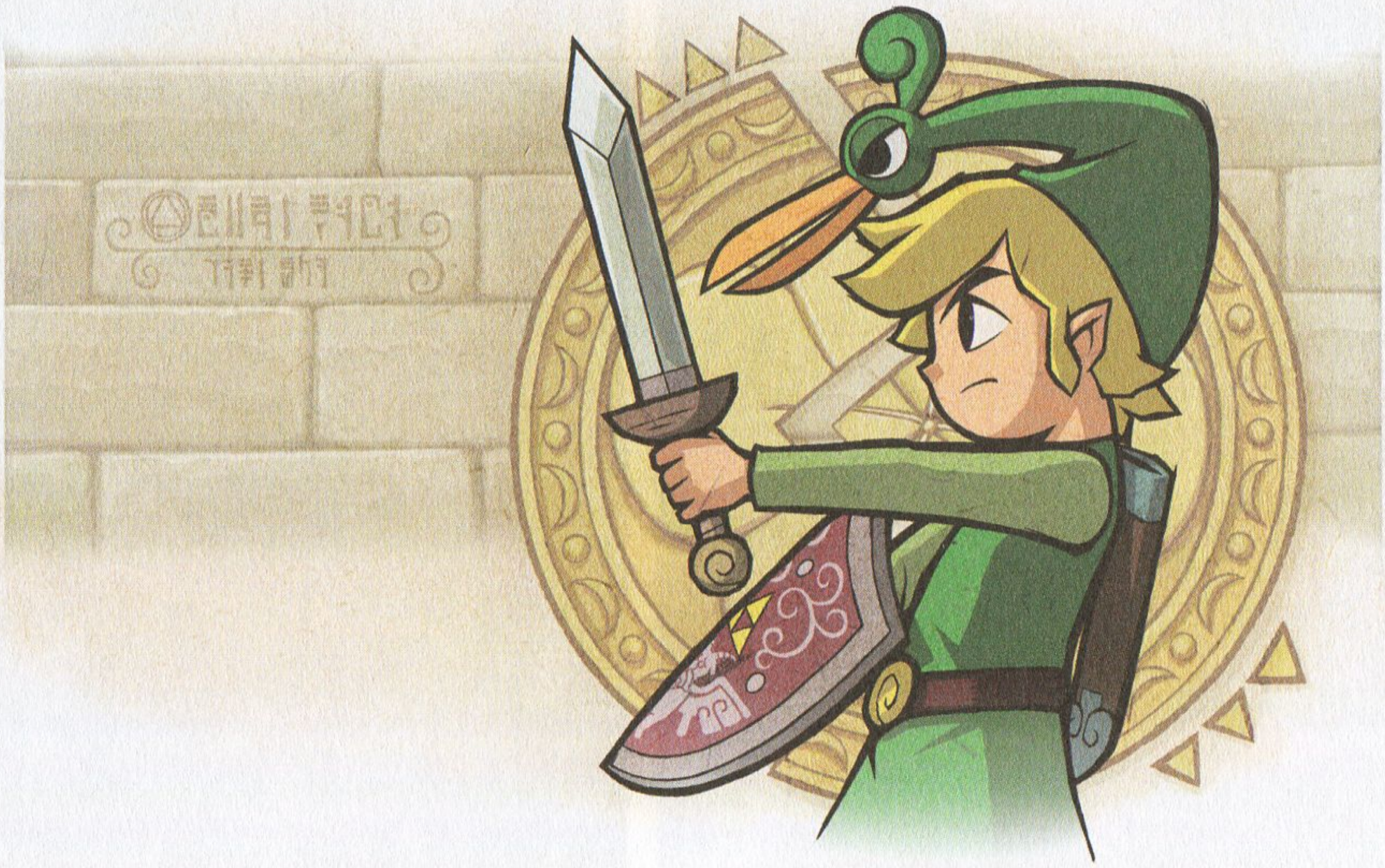
ゼルダ姫

←ハイラルの王女で、伝説のフォースを身に宿す。リンクとは幼なじみ。共に出かけたピッコル祭りで、グフーに石にされてしまう



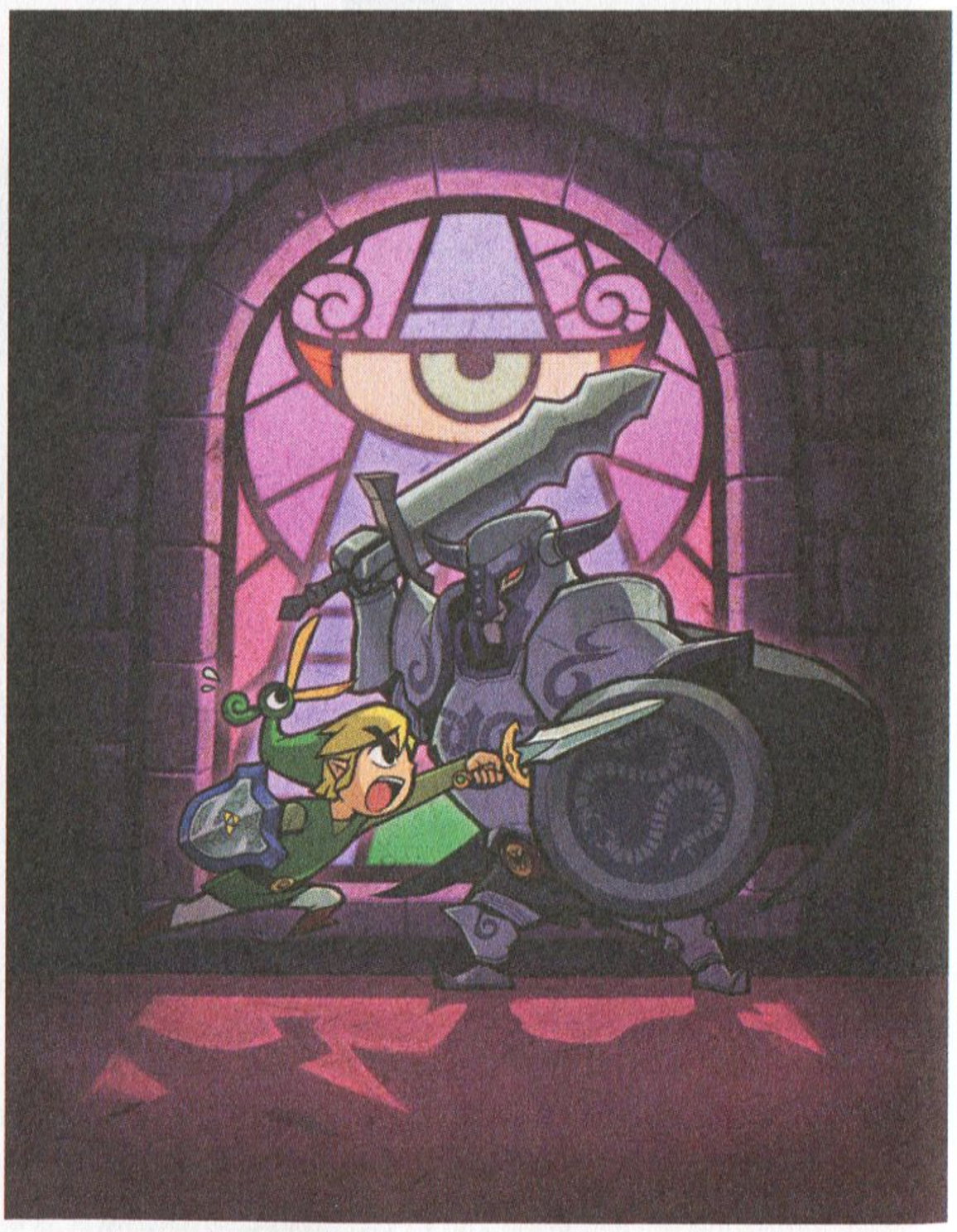
グフー

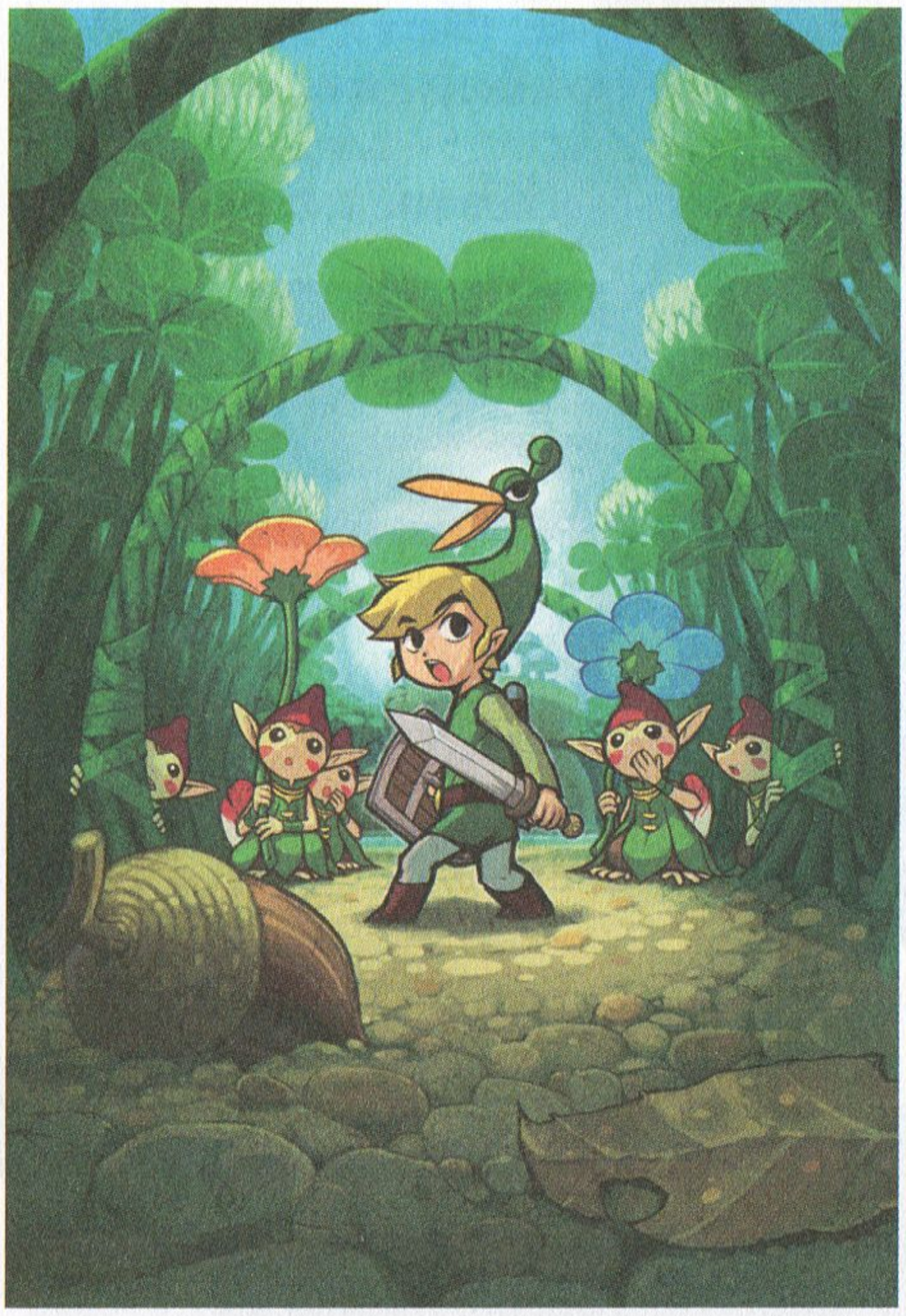
➡フォースを追い求める魔人。元はピッコルで、エゼロの助手として働いていた。エゼロが作った「ねがいのぼうし」で魔人の力を得る

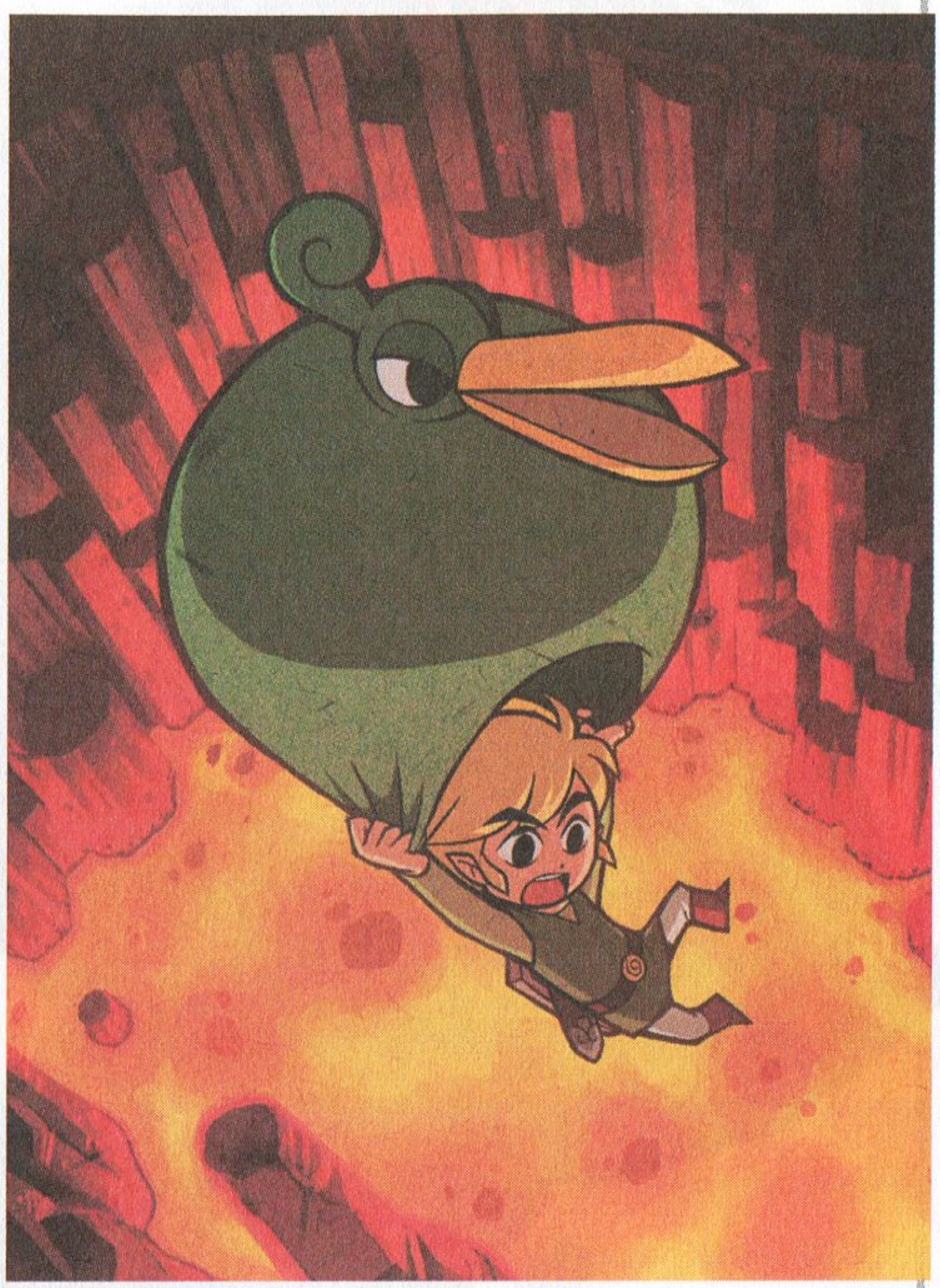


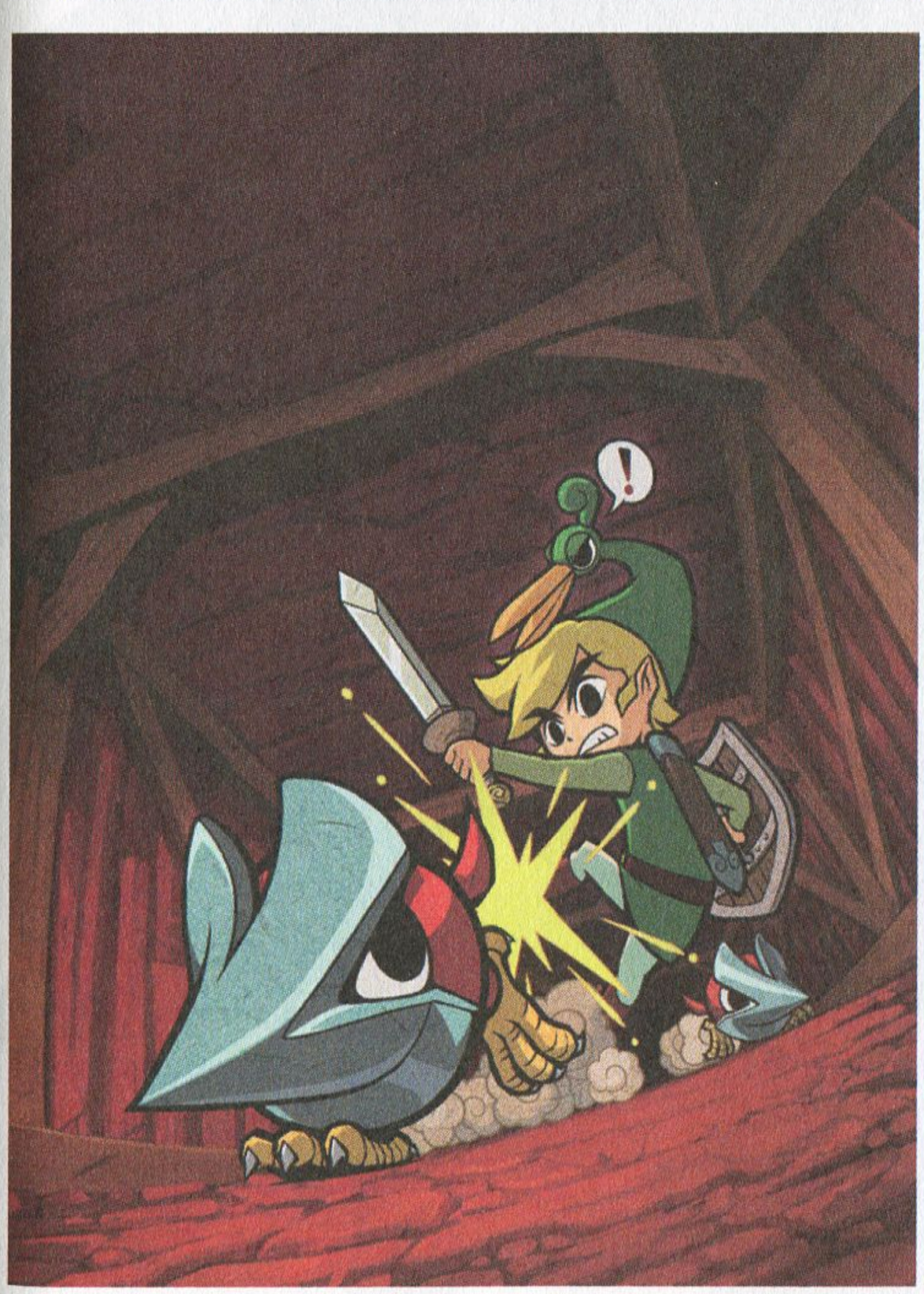
⬆剣と盾をりりしく構えるリンクとエゼロ。背景にも描かれたカケラには合わせると秘密の場所が現れるものも

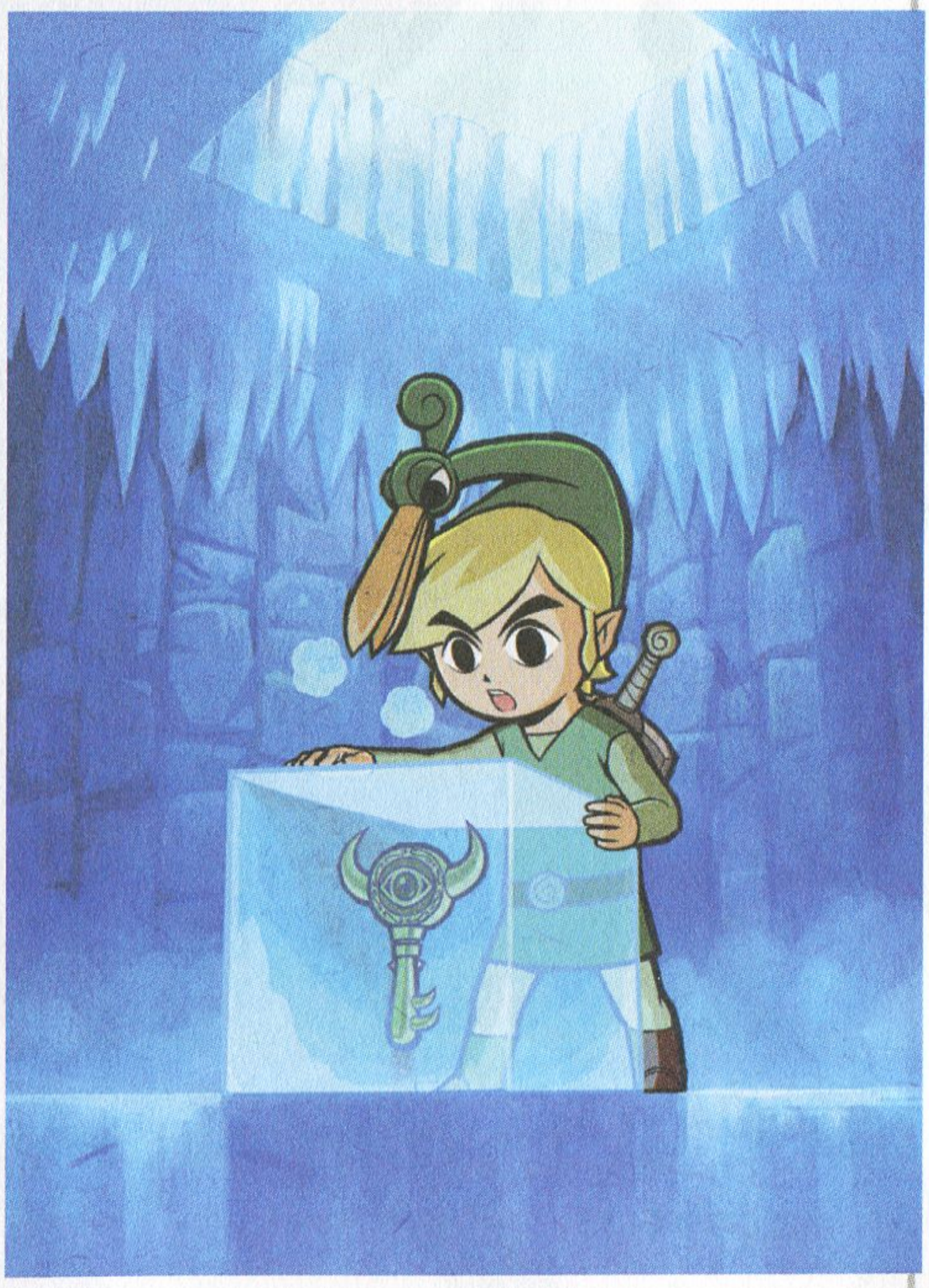
➡ふだんはザコ敵のチュチュも、リンクが小さな姿になるとこんな巨大なボス級に！









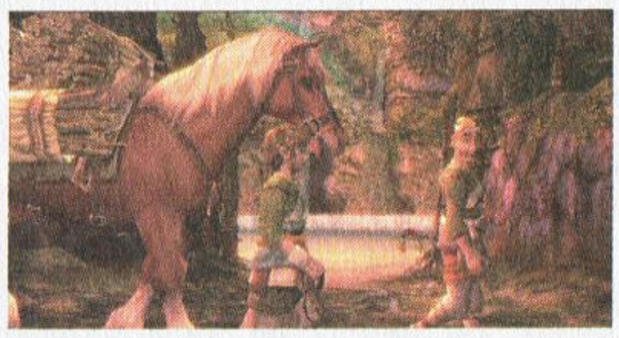


ゼルダの伝説　トワイライトプリンセス

ゼルダの伝説　トワイライトプリンセス

発売日◉2006年12月2日発売
ハード◉ニンテンドー ゲームキューブ/Wii

Wii本体と同時に発売されたタイトル。ストーリーは、『時のオカリナ』のエンディング後の未来の話となる。Wii版より先に開発されていたゲームキューブ版もオンライン限定で販売され、この作品がゲームキューブで発売された最後のゲームとなった。



リンク

➡主人公。勇者の資質を持った、トアル村で山羊追いをして暮らす青年。ゲームキューブ版は歴代リンクと同様に左利きだが、Wii版ではWiiリモコンを振って遊ぶプレイヤーとより一体感が出るよう右利きになっている

©2006 Nintendo

←愛馬・エポナにまたがるリンク。広大なハイラルの大地を駆け回るだけでなく、乗馬したまま敵と戦う騎乗戦も見せ場のひとつ

↓影の領域の力で獣と化してしまったリンクと、ミドナ。この姿の時は、センスを研ぎ澄ますことで、見えないものが見えたり、動物と話せたりする

←Z注目からの横っ飛びは基本アクションのひとつ。敵の攻撃を避け、すかさず反撃！

↓トアル牧場で飼われている山羊。時々逃げ出すから、角をがっちり掴んで捕まえよう

ミドナ

←➡獣の姿に変わったリンクの前に現れる。ある物を探すことを条件に、リンクを手助けしてくれる。影の世界に詳しいが、その真意は謎

ゼルダ姫

←ハイラルの王女。影の世界から来たザントに王国を侵略され、民の命と引き換えにハイラル城に幽閉されている

ボウ

←トアル村の村長で、イリアの父。相撲が得意など豪快だが、愛娘には頭が上がらないという一面も

イリア

➡リンクの幼なじみでトアル村村長・ボウの一人娘。いつもリンクのことを心配している。ある日、突然現れた魔物に村の子供たちと共にさらわれてしまう

コリン

➡トアル村に住む、モイの子供。強く優しいリンクにあこがれている。素直で心優しいが、少し気の弱いところがある

モイ

←トアル村唯一の剣士。リンクを弟のようにかわいがっている。後にレジスタンスにも加わり活動。長～く飛ぶことのできる金色のコッコを飼っている

タロ

➡⬅トアル村の子供。わんぱくでイタズラばかりしている兄のタロと、口数は少ないが鋭い発言をする、弟のマロの兄弟

ベス

⬅トアル村の雑貨屋の子供。都会と大人なリンクにあこがれる、ちょっとおませな女の子

マロ

⬅➡カカリコ村の牧師レナードは冷静沈着で、誰にでも分けへだてなく親切に接する。娘のルダは父に似て素直で礼儀正しいしっかり者

バーンズ

レナード

ルダ

➡⬅カカリコ村で ボム工房を営む職人。爆弾を作る腕は確かだが、見かけによらず小心者。店内は火気厳禁。カンテラの使用もNG

ゴロン族

⬇デスマウンテンに住む、温厚で誇り高き種族。温泉が大好き

⬆強さを誇るゴロン族の族長・ダルボス。4人の長老とともに多くのゴロン族をまとめている

⬆長老の一人、ドン・コローネ。今は族長の代わりにゴロン族を束ねている。相撲に勝てばリンクを認めてくれる

大妖精

⬆大妖精の洞窟に現れ、各地の精霊の泉に妖精を出現させてくれる

➡世界のどこかにある鏡の間で、陰りの鏡を守る5人の賢者たち

賢者

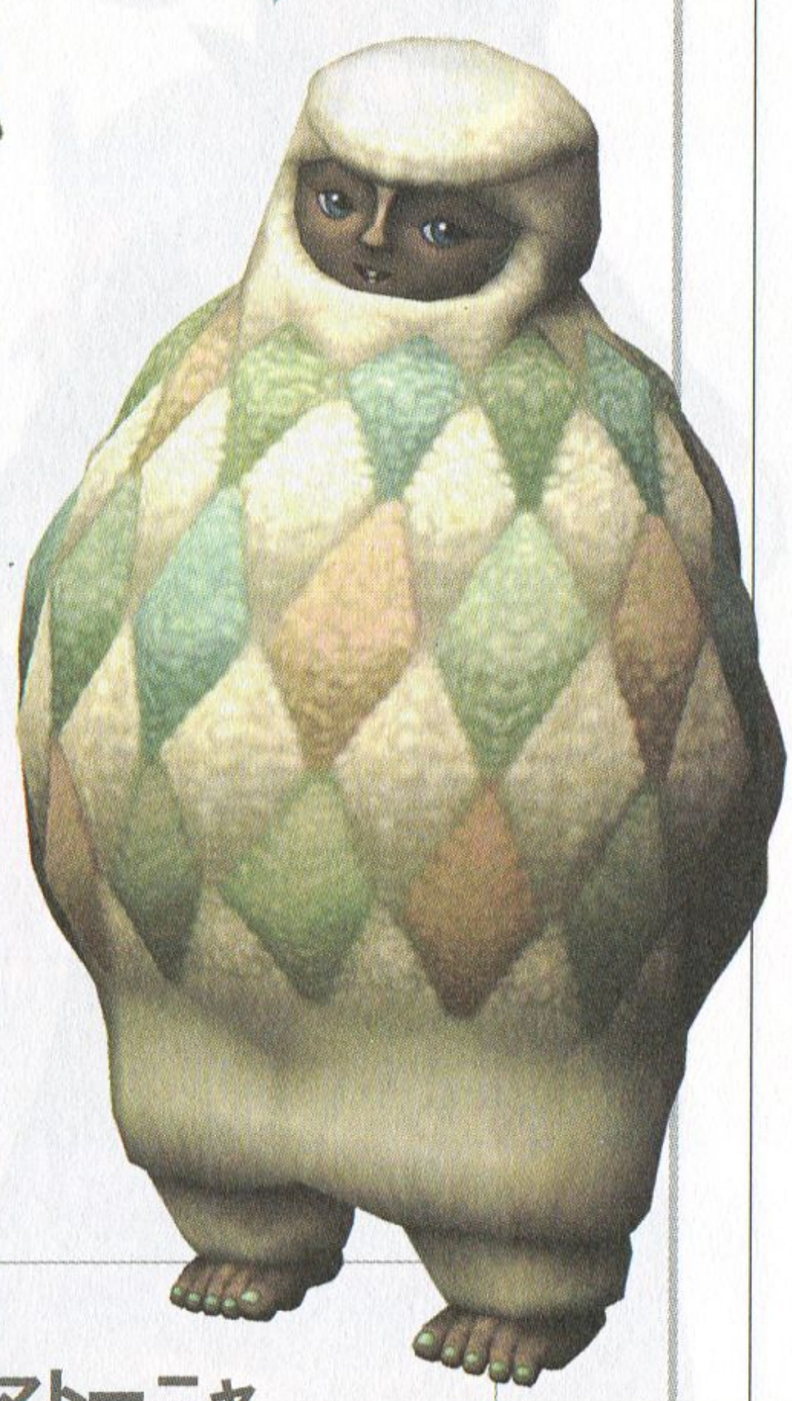
ゾーラ族

←➡ゾーラの里に住む、水をつかさどる種族。今は女王・ルテラが亡きキング・ゾーラに代わって一族を統べている

➡ゾーラ族の王子・ラルス。後にゾーラの長となる。ニオイマスを捕るのが上手い

ドサンコフ

←➡雪山の廃墟に住む獣人の夫婦。ドサンコフの作るスープは新しい素材を渡すたびにおいしくなり、ビンに詰めて持ち歩ける



マトーニャ

ラフレル

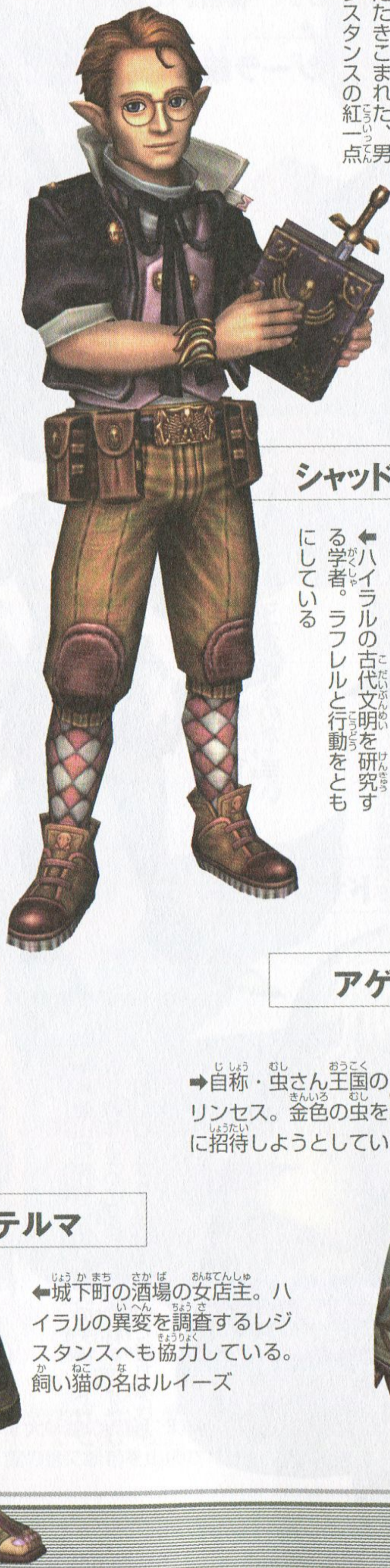
←ゼルダ姫の元教育係。ハイラルに起こった異変の調査を行っている

アッシュ

➡騎士団だった父親から厳しく兵法をたたきこまれた、男勝りなレジスタンスの紅一点

シャッド

←ハイラルの古代文明を研究する学者。ラフレルと行動をともにしている



アゲハ

➡自称・虫さん王国のプリンセス。金色の虫を家に招待しようとしている

テルマ

←城下町の酒場の女店主。ハイラルの異変を調査するレジスタンスへも協力している。飼い猫の名はルイーズ

ヘナ

リズ

ポストマン

←➡ゾーラ川で貸しボート屋を営むアフロな姉・リズと、釣り堀屋のオーナー・妹のヘナ。ヘナのガイド付きでルアー釣りをすれば、大物ゲットまちがいなし!?

➡どんな場所でも必ず郵便を届けてくれる、義務に忠実（？）な青年

セレブショップ店員

ラッカ

トビー

←➡ハイリア湖の観光客を相手に「水上遊園地」を営む。元はサーカス一座のメンバーだった

←城下町にある、セレブ御用達の高級雑貨屋の店員。お金持ちでない客は、かなり適当にあしらう

モンスターたち

←ザントが影の世界から送り込んだ、ハイラルの光を奪う黒ずくめの魔物・影の使者

⬆ガイコツ剣士・スタルフォス。爆弾でトドメを刺そう

←各地にいるポウフィーを倒してゴーストの魂を集めると、大妖精の雫入りのビンが入手できる

←→フィローネの森のボス猿・ウーク。センスを研ぎ澄ませないと姿の見えない幽霊・ポウ

←→ザントに操られた影の世界の巨鳥。徒党を組み、略奪を繰り返すブルブリンたち。こん棒や弓矢で戦う

➡光の雫に魔が取りつき虫と化した、影の虫。その実体はリンクが獣状態でセンスを研ぎ澄まさないと見えない。すべて倒せば光の精霊が力を取り戻し、そのエリアに光が戻る

⬅迷いの森に多数現れるパペット。タルキッドのラッパで操られている

ババラント

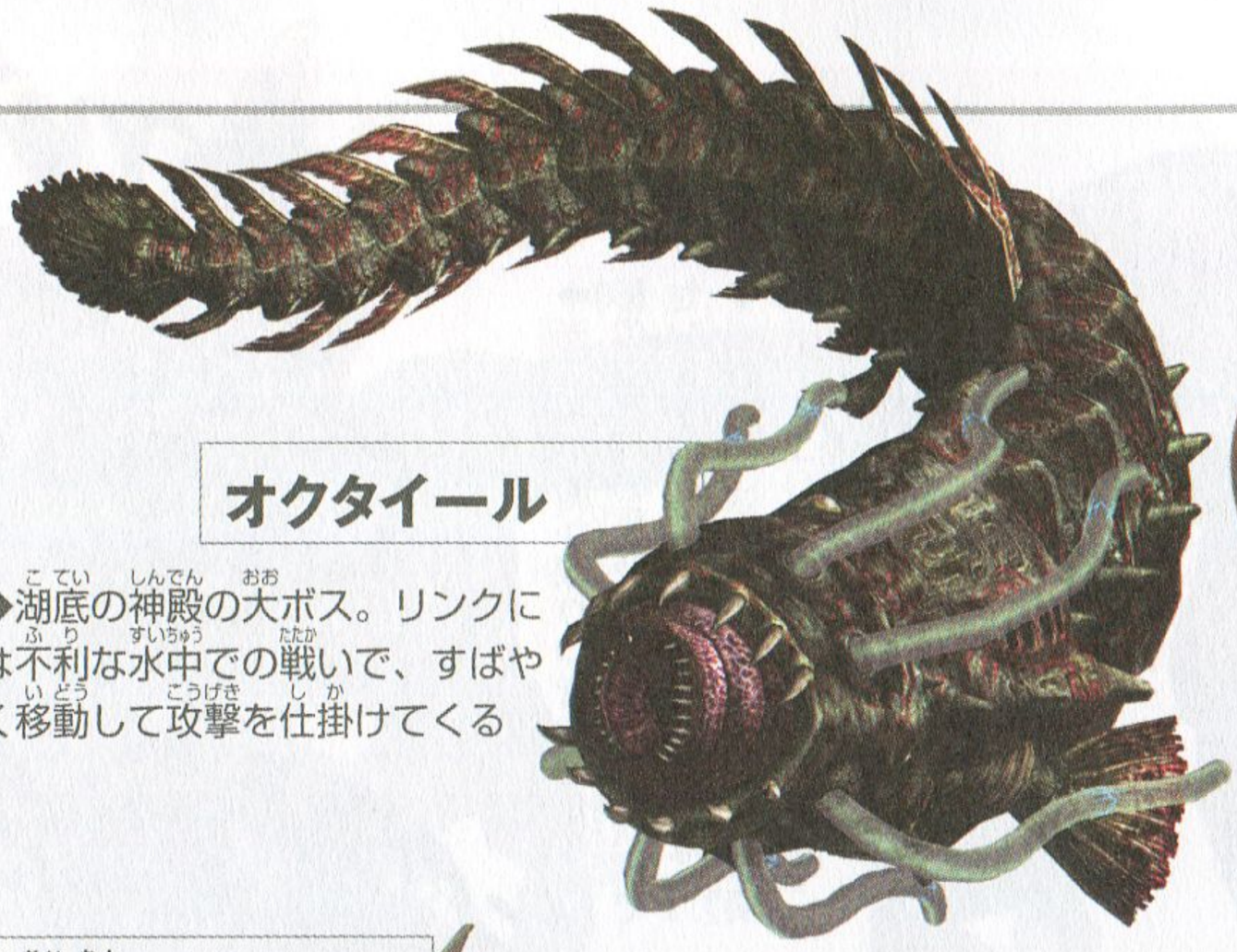
⬆森の神殿の大ボスは、毒を持つ巨大な寄生植物。ウークと協力して倒そう

マグドフレイモス

➡ゴロン鉱山の大ボス。ゴロン族長・ダルボスが怪物になった姿。額の目が弱点

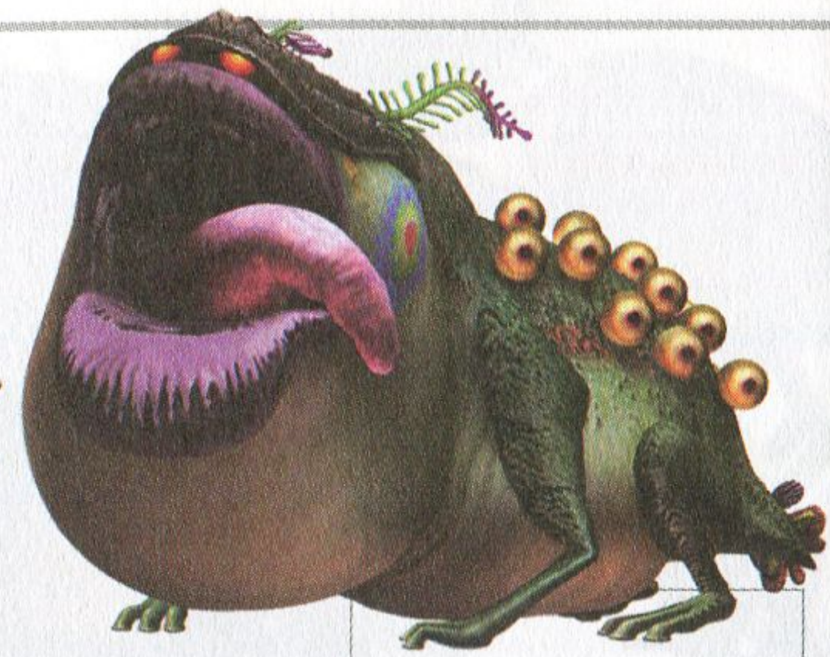
ダンゴロス

➡ゴロン鉱山で、ゴロン一族の宝〝勇者の弓〟を守る番人。高速で突進してくる



オクタイール

➡湖底の神殿の大ボス。リンクには不利な水中での戦いで、すばやく移動して攻撃を仕掛けてくる



デグトード

⬆巨大な体でジャンプし潰してくる怪物蛙

巨大蟲

⬆ハイリア湖に現れた、巨大な影の虫。ビリビリと放電しながら攻撃してくる

キング・ブルブリン

⬇ブルブリンたちの親の玉。キングブルボーを乗りまわして悪事を働く

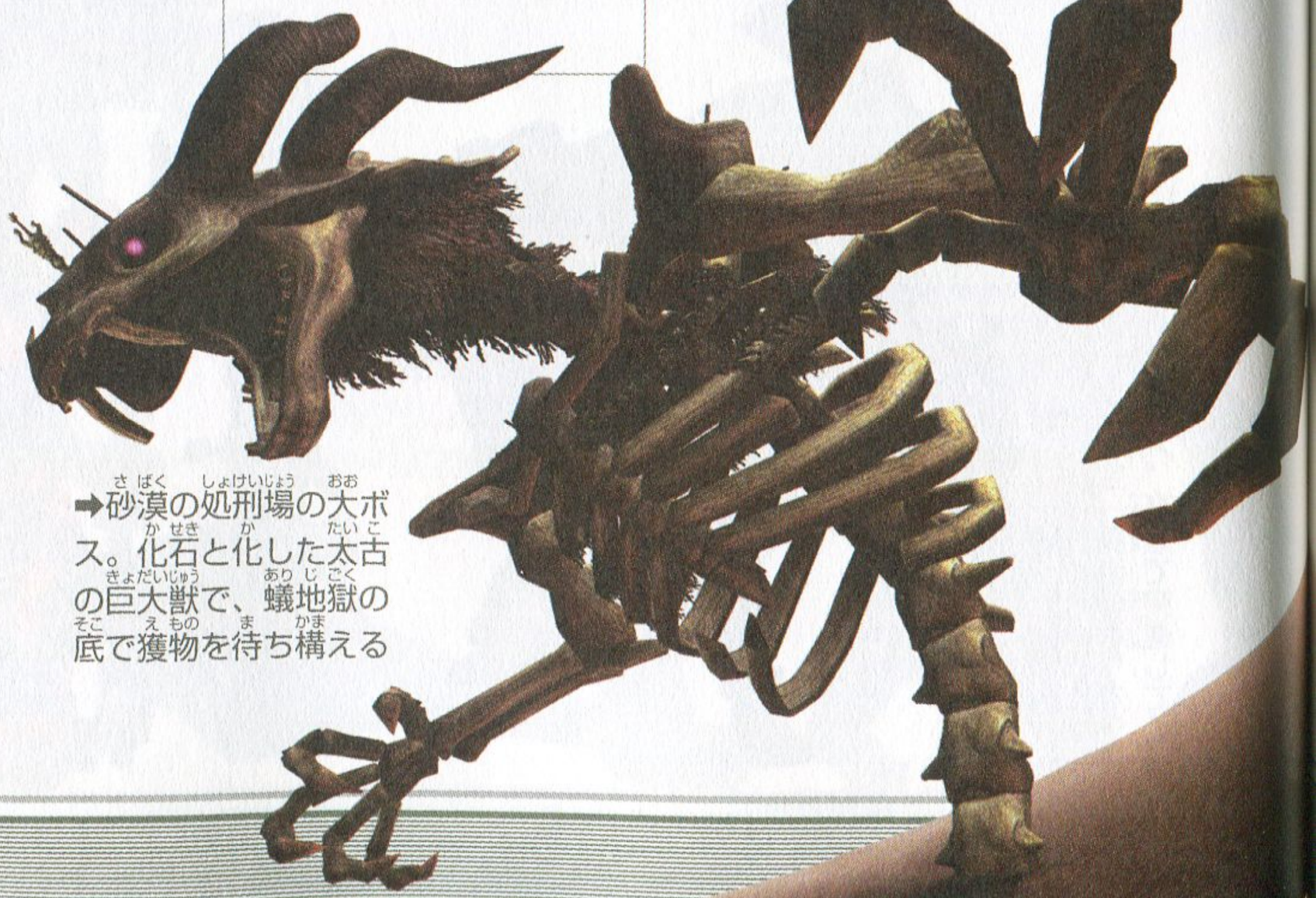
⬇迷宮の奥深くに封印されていた邪悪な妖刀

ゴベラの剣

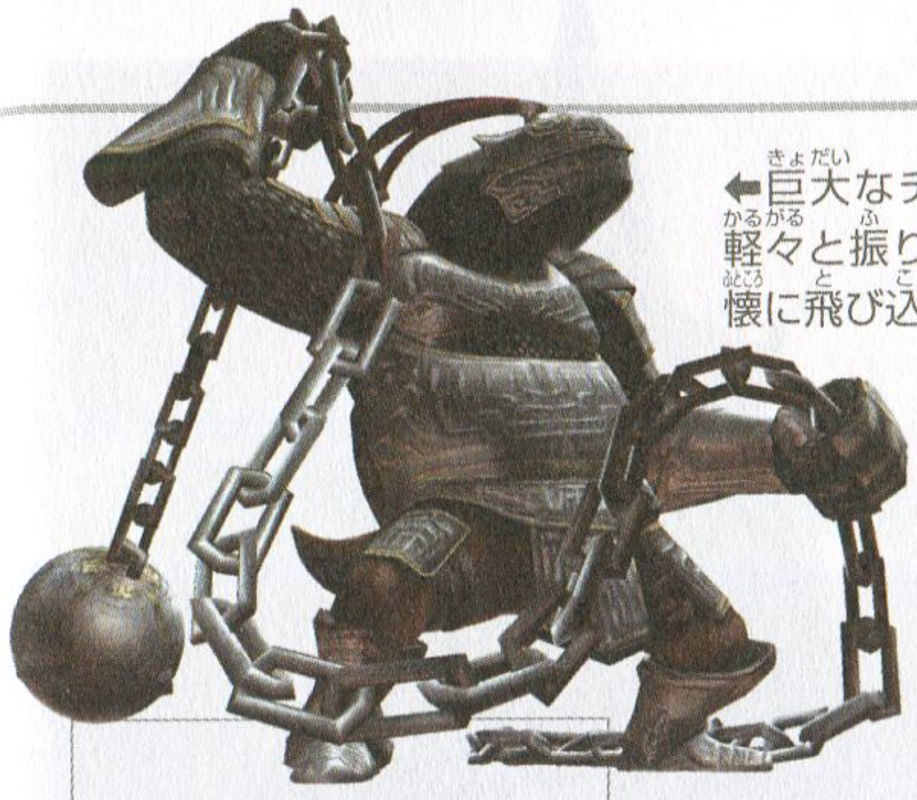
スタルキッド

⬆迷いの森に棲み、いたずら好きな性格。ラッパでパペットたちを操る

ハーラ・ジガント



➡砂漠の処刑場の大ボス。化石と化した太古の巨大獣で、蟻地獄の底で獲物を待ち構える



←巨大なチェーンハンマーを軽々と振り回す豪腕の鎧騎士。懐に飛び込んで尻尾を斬れ！

ハンマーナック

フリザーニャ

➡極寒の氷塊は、雪山の廃墟の大ボス。マトーニャが邪悪な力で変貌した姿だ

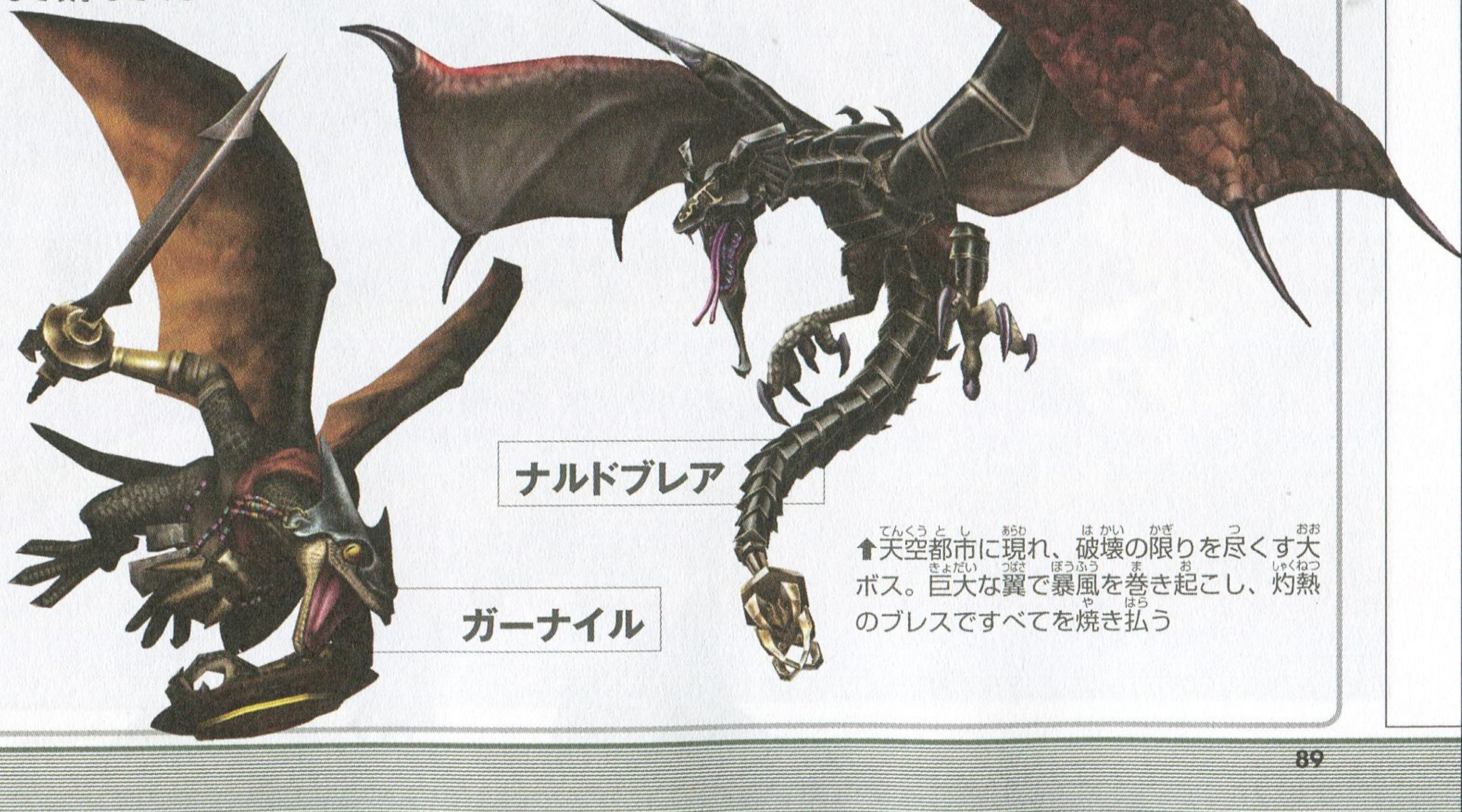
シェルドゴーマ

⬆時の神殿の最深部に巣喰うクモの大ボス。背中の巨大な目が弱点

➡シリーズおなじみの剣士。大剣と重厚な防御は本作でも健在

タートナック

⬇背中に大きな翼を持つ竜の騎士。空中を飛びまわり、急降下して攻撃してくる



ナルドブレア

ガーナイル

⬆天空都市に現れ、破壊の限りを尽くす大ボス。巨大な翼で暴風を巻き起こし、灼熱のブレスですべてを焼き払う

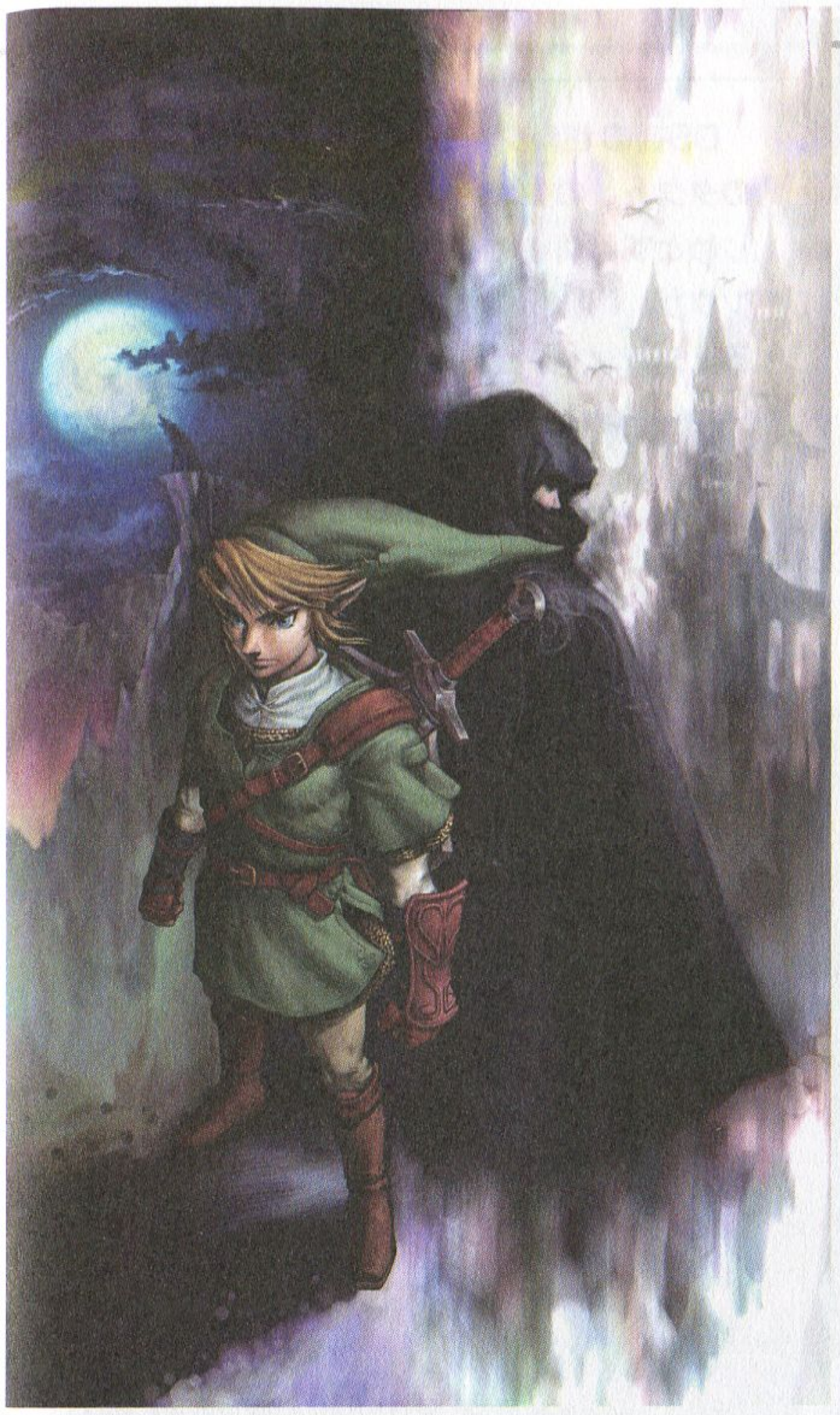
➡すべての元凶。影の世界に追放され、ザントをそそのかして光と影の2つの世界を支配しようともくろむ。リンク以上の剣の達人で、多彩な技を繰り出す

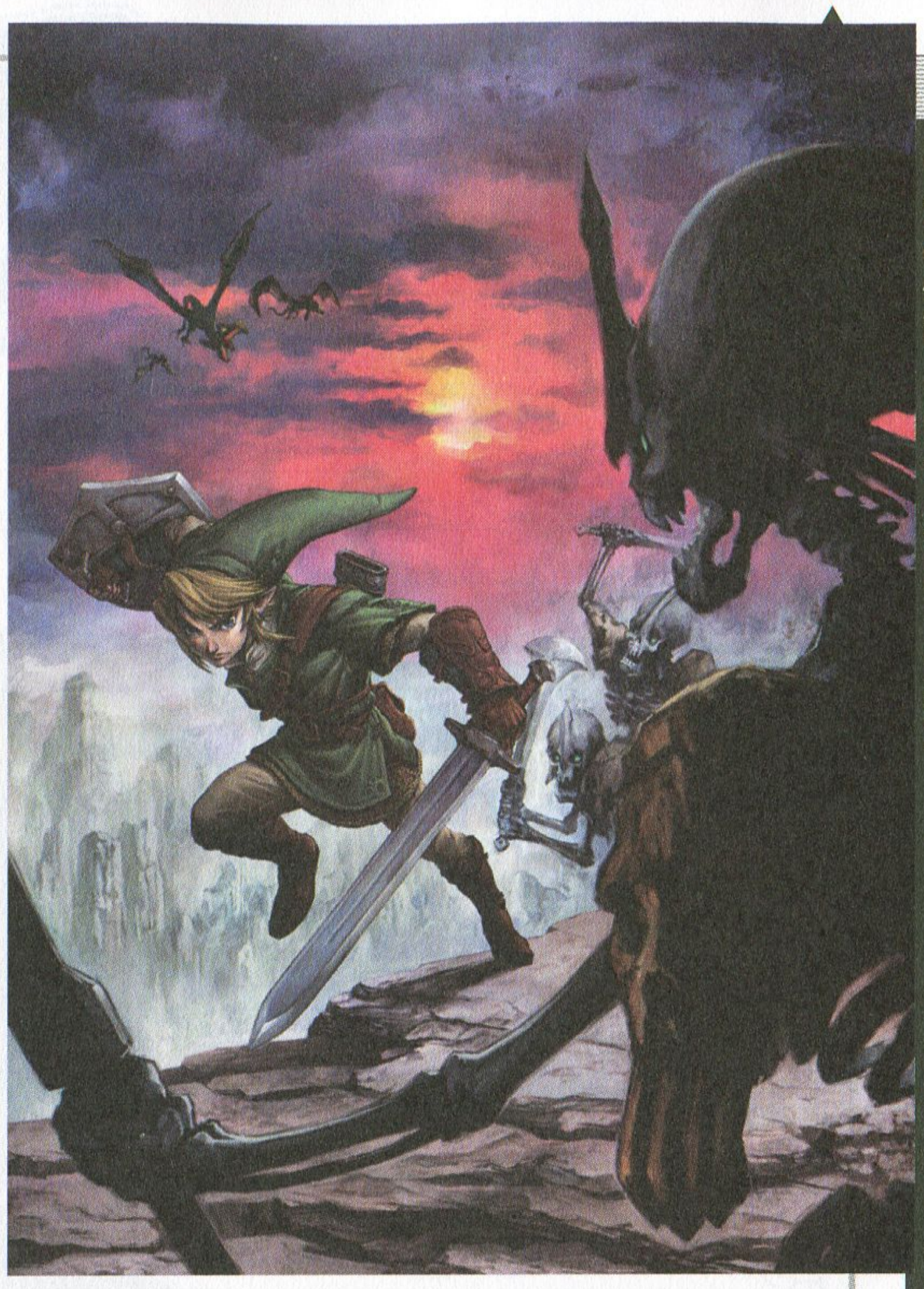
ガノンドロフ

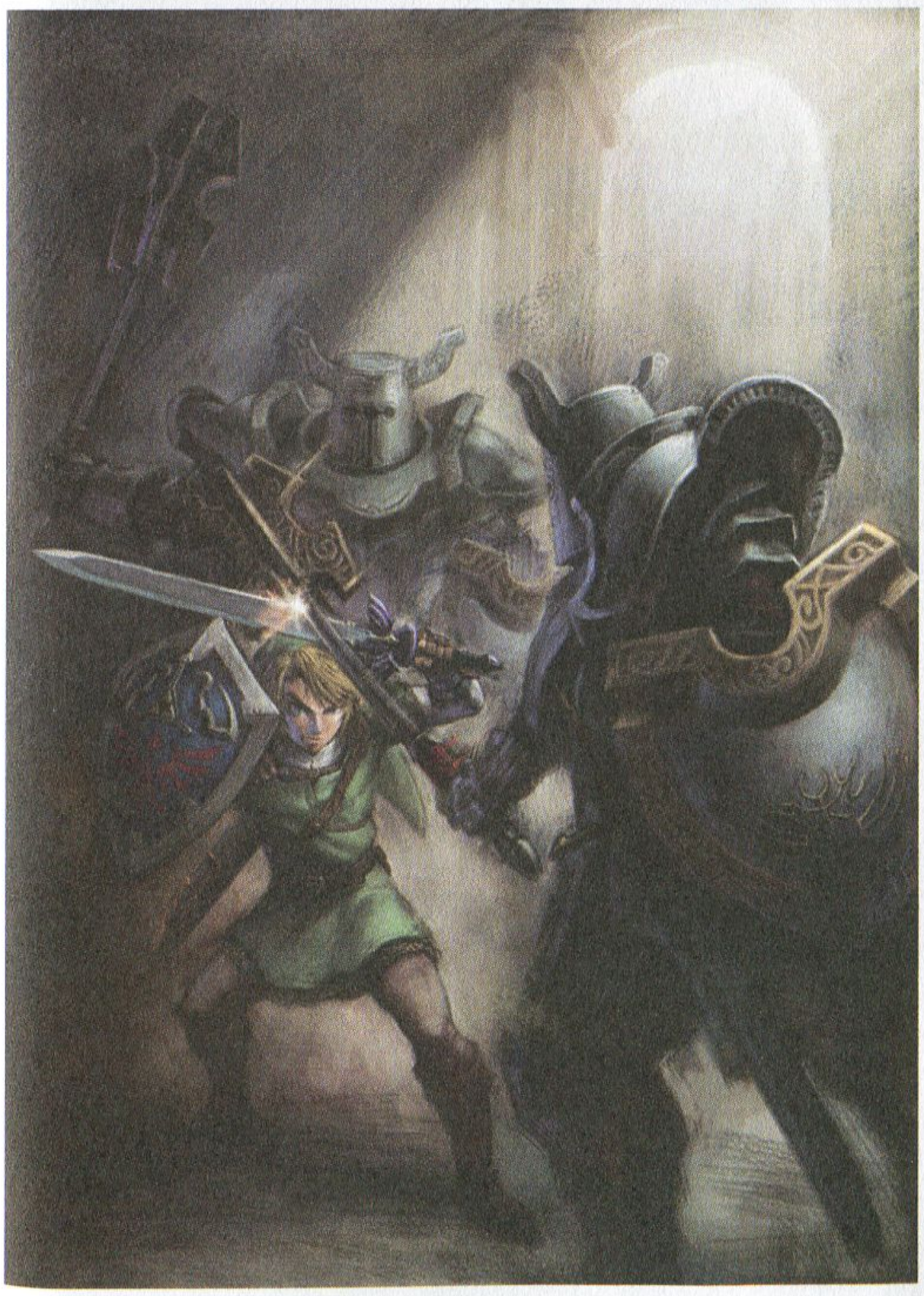
➡影の世界を統べる強大な魔力の持ち主。ハイラル全土を影の領域に変えようとしている。幻影のファントムザントとしても登場し、多彩な攻撃を仕掛けてくる

ザント

➡ガノンドロフが魔獣に変身した姿。この状態のときは、突進など巨体を生かした攻撃をしてくる







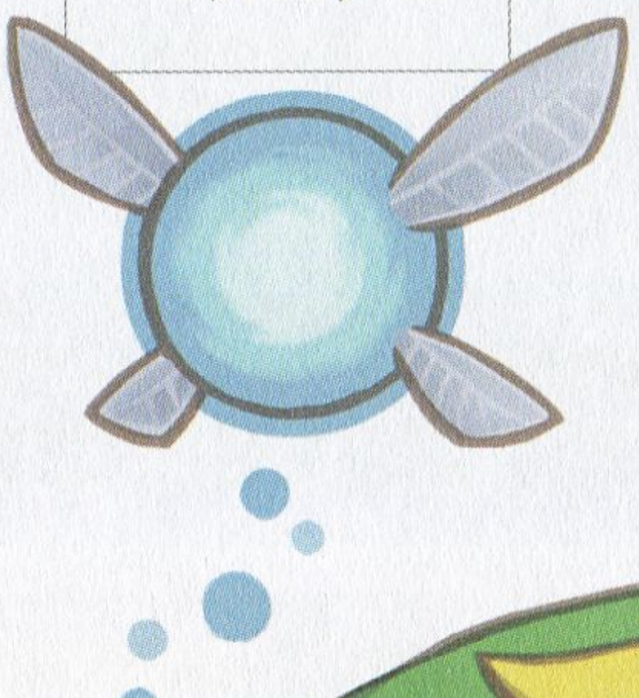
THE LEGEND OF ZELDA® むげんのすなどけい ゼルダの伝説 夢幻の砂時計

ゼルダの伝説　夢幻の砂時計

発売日◎2007年6月23日発売
ハード◎ニンテンドーDS
バーチャルコンソール◎Wii U:2016年8月3日配信

DS初のゼルダ作品。ストーリーは『風のタクト』の数か月後の話で、テトラをはじめとする海賊たちと冒険を続けていたリンクが、幽霊船に遭遇するところから始まる。ジャンルは「ペンアクションアドベンチャー」となっており、移動はもちろん、アクション、謎解きもすべてタッチペンで操作。

シエラ



➡メルカ島に流れ着いたリンクを見つけた、昔の記憶を失っている妖精。じつは…

ラインバック

←莫大な財産が眠るという幽霊船を求めて船旅をする船長。リンクと旅を共にする

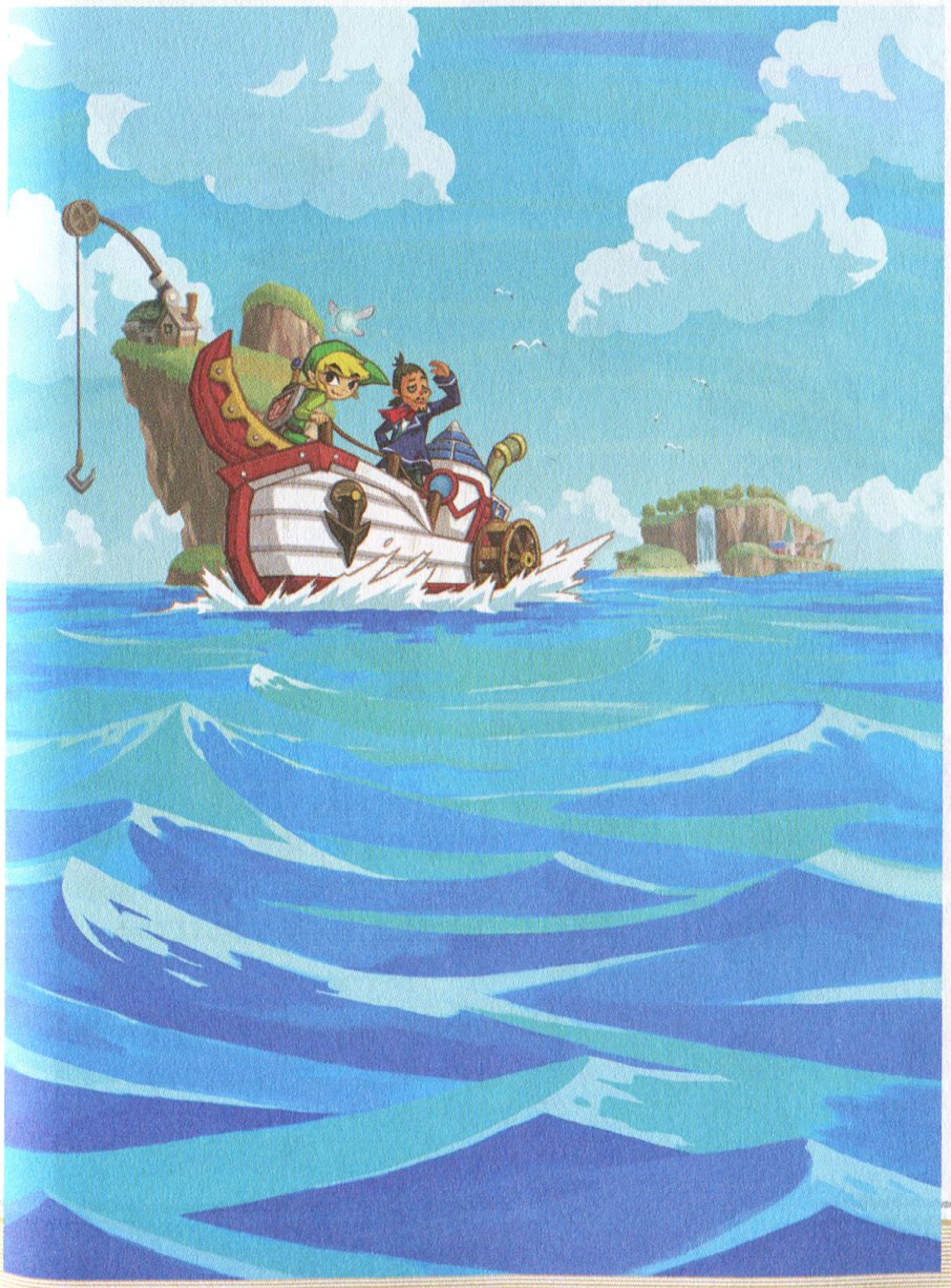
リンク

➡主人公。『風のタクト』後も海賊たちと冒険中。テトラを再び助けるため、幽霊船を捜す旅に出る

©2007 Nintendo

⬆タッチペンを使った機能の1つとして、画面のマップに自由にメモを書き込めた

⬆偉そうにふるまうラインバックだが、実はかなりの小心者。危ないことはリンクに任せてオイシイところを頂く



⬅ラインバック号で大海原を進むリンクたち。船はパーツを取り替えてカスタマイズすることも可能。パーツは、すれちがい通信を使ってほかのプレイヤーと交換することもできる

テトラ

←テトラ海賊団のお頭を務める、勝ち気な女の子。幽霊船に乗り込んだまま消えてしまい…

ファントム

↑ベラムーが生み出した、海王の神殿を徘徊する騎士。どんな攻撃も正面からは通じない。さまざまなタイプがいる

シーワン

←リンクたちを手助けしてくれるナゾの老人。海で倒れていたシエラを見つけ、一緒に暮らしている

ゴロン族

↑←ゴロン島に住むゴロン族は、義理堅く温厚な種族。氷の島に住むユキワロシ族は、同じ島に住むユキザルたちに手を焼いている

ユキワロシ族

THE LEGEND OF ZELDA® だいちのきてき ゼルダの伝説 大地の汽笛

タッチ操作で楽しむニンテンドーDSでの2作目。『夢幻の砂時計』の100年後の世界が舞台で、今度は大地を走る汽車が重要なカギをにぎる。さらにゼルダ姫やファントムと一緒に冒険することも！　力を合わせて謎を解く仕掛けが多数用意されている。機関士姿のリンクにも注目。

ゼルダの伝説　大地の汽笛

発売日◉2009年12月23日発売
ハード◉ニンテンドーDS
バーチャルコンソール◉Wii U:2016年8月9日配信

➡⬇新アイテム〝大地の笛〟と、楽器を手にした賢者たちの関係は!?　また、新アイテムのムチは、先端がガブリと噛みつく仕様

リンク

⬆主人公。モヨリ村で機関士を目指していた少年。正式な機関士となるためにハイラル城で行われる任命式に出席。ゼルダ姫と出会う

©2009 Nintendo

⬆定番アイテムのブーメランも登場。タッチペンで画面に軌道を描いて投げる

➘新アイテム「疾風のプロペラ」。DSのマイクに向かってフーっと吹くと風が起こる

ゼルダ姫

⬅ハイラル城で暮らすお姫様。リンクに頼みこっそり城を抜け出すが、ディーゴたちに体を奪われ魂だけになってしまう

⬆神の塔を守るファントムに魔物の魂が入り込み、リンクたちの行く手を阻む。しかし、魂になったゼルダ姫が乗り移ると頼れる仲間になる

ファントム

⬇対戦モードでは、最大4人のリンクたちに分かれて戦う。このモードでは、ファントムは全力でリンクたちを追う敵になる

シロクニ

←見習い機関士であるリンクの師匠。かつては城の兵士で、ゼルダ姫とも面識がある

ディーゴ

➡魔列車に乗り、魔王の受け皿となるゼルダの体を奪った謎の男

キマロキ大臣

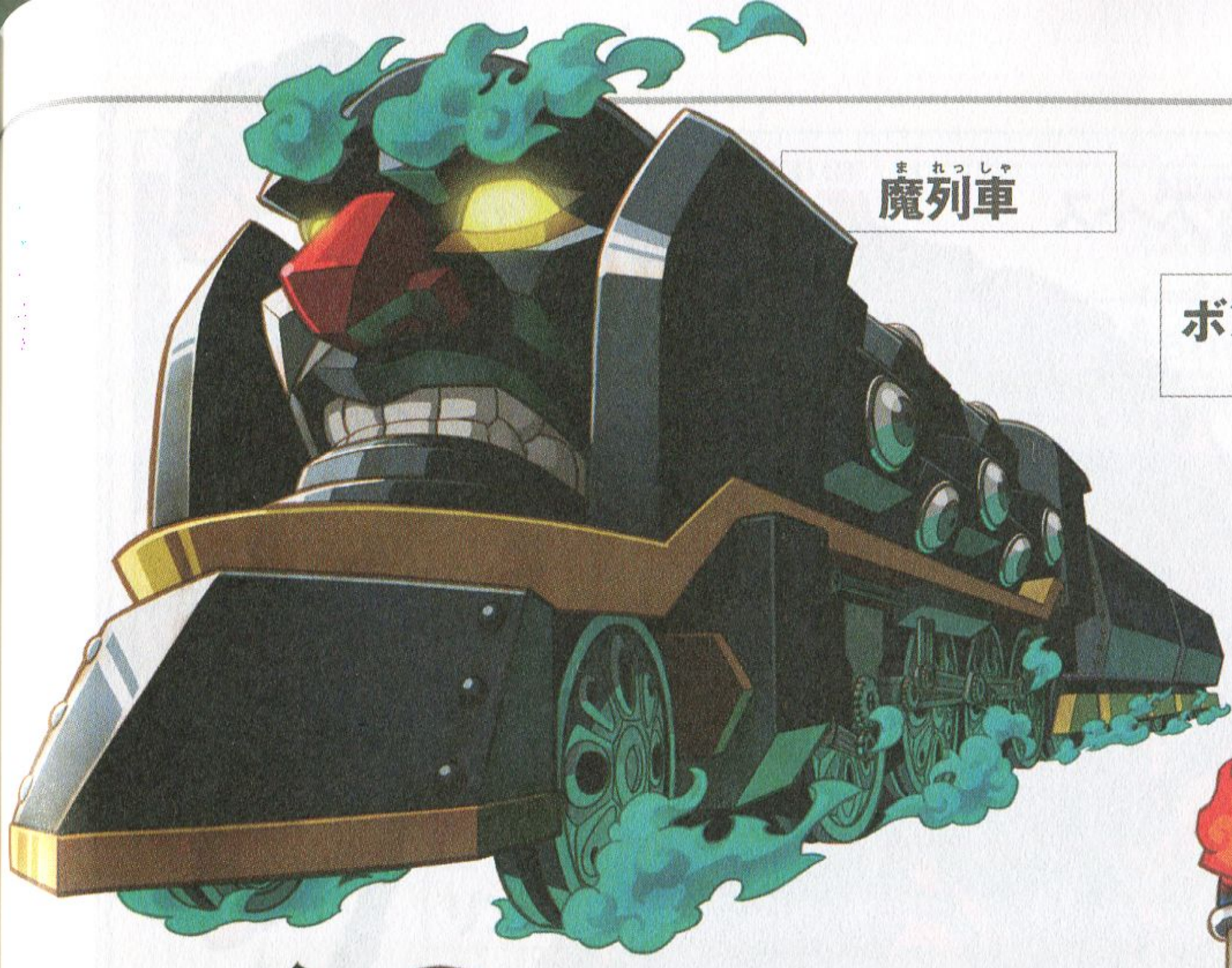
←ハイラル王国の大臣。ゼルダ姫に城からの外出を禁じた張本人。実は魔族で魔王マラドー復活を狙う

ニコ

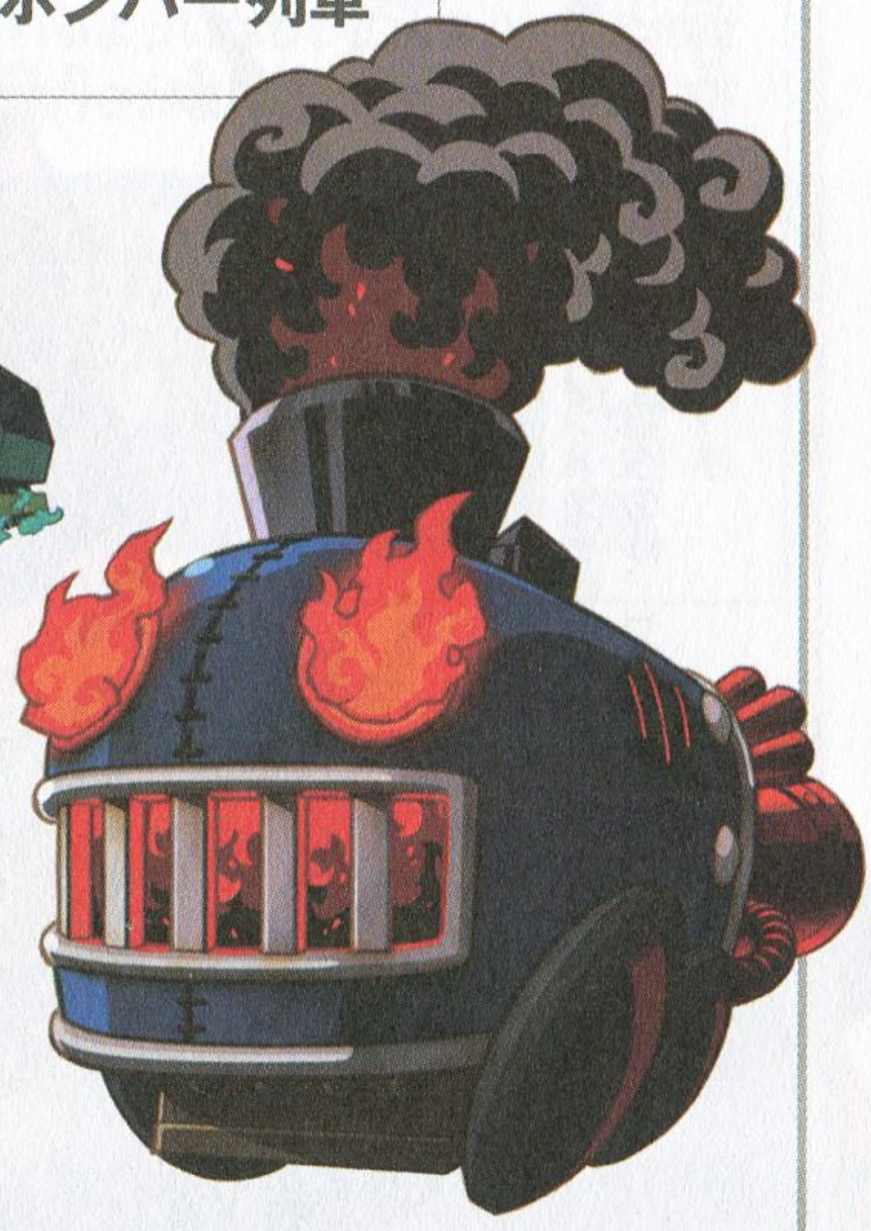
←元海賊でリンクとモヨリ村で暮らす老人。紙芝居を作るのが趣味。部屋には若かりしころの肖像画がある

バルブ

←物語の鍵を握る賢者の1人。賢者はそれぞれ演奏する楽器が異なる



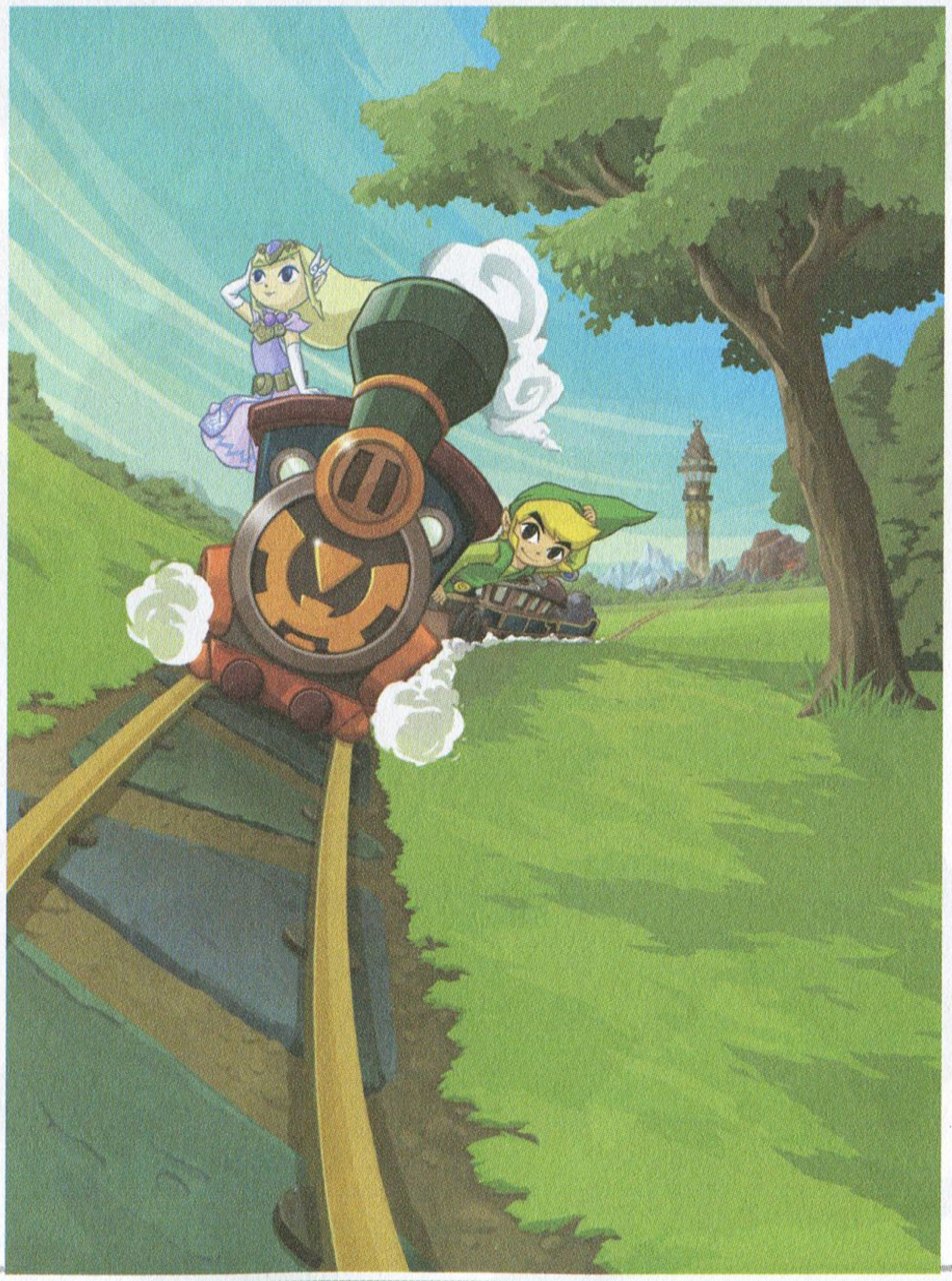
魔列車



ボンバー列車

テツオ

←線路脇でカメラを構える鉄道ファン



シャリン

↓先住民ロコモ族の賢者の1人。神の塔を護りリンクたちに神の汽車やロコモの剣を授け協力する

イワントス

➡ボス・溶焔巨神(ようえんきょしん)イワントスと戦(たたか)うリンクの勇姿(ゆうし)！　矢(や)で狙(ねら)うのは、やっぱりあの大(おお)きな目玉(めだま)？

←大(おお)きなこん棒(ぼう)を振(ふ)りかざし、リンクに襲(おそ)いかかるモンスターたち

THE LEGEND OF ZELDA™
OCARINA OF TIME 3D

ゼルダの伝説 時のオカリナ 3D

ゼルダの伝説　時のオカリナ 3D

発売日◉2011年6月16日発売/ダウンロード版:2012年11月1日配信
ハード◉ニンテンドー3DS
バーチャルコンソール◉Wii U:2015年12月12日配信

NINTENDO 64で発売され、現在でも人気を誇る『時のオカリナ』の3DS版。フィールドやダンジョンのすべてが立体視で見られるようになり、広大なハイラルの世界に奥行きが増した。また、『風のタクト』予約特典だった難易度の高い『裏ゼルダ』も収録。

リンク(大人)

➡マスターソードを引き抜いたことによって7年の眠りにつき、ハイラルを救う「時の勇者」として覚醒した

リンク(子供)

⬅マスターソードによって7年の時を超えることができるリンク。過去と未来を行き来することで謎が解けることも

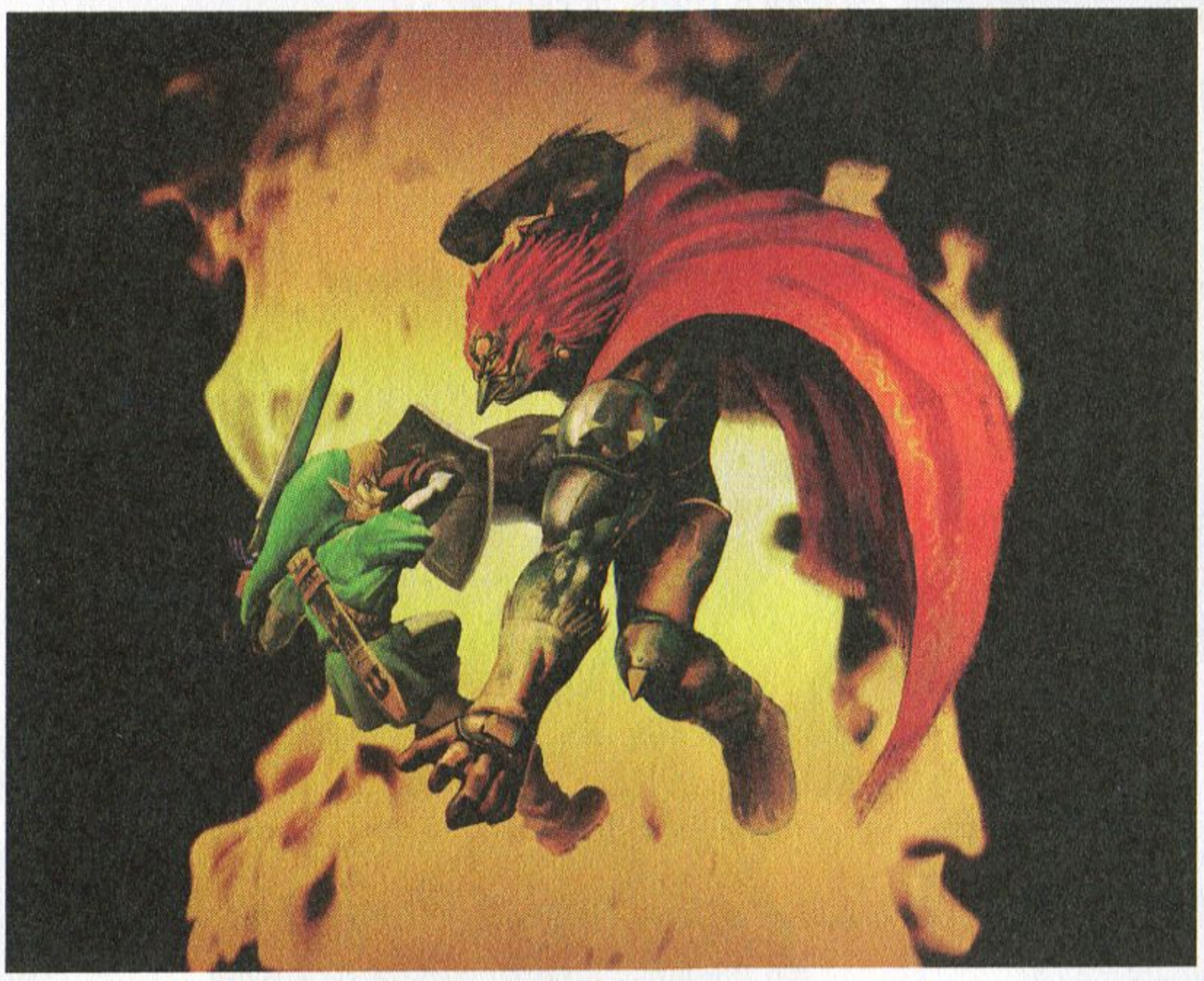
©1998-2011 Nintendo

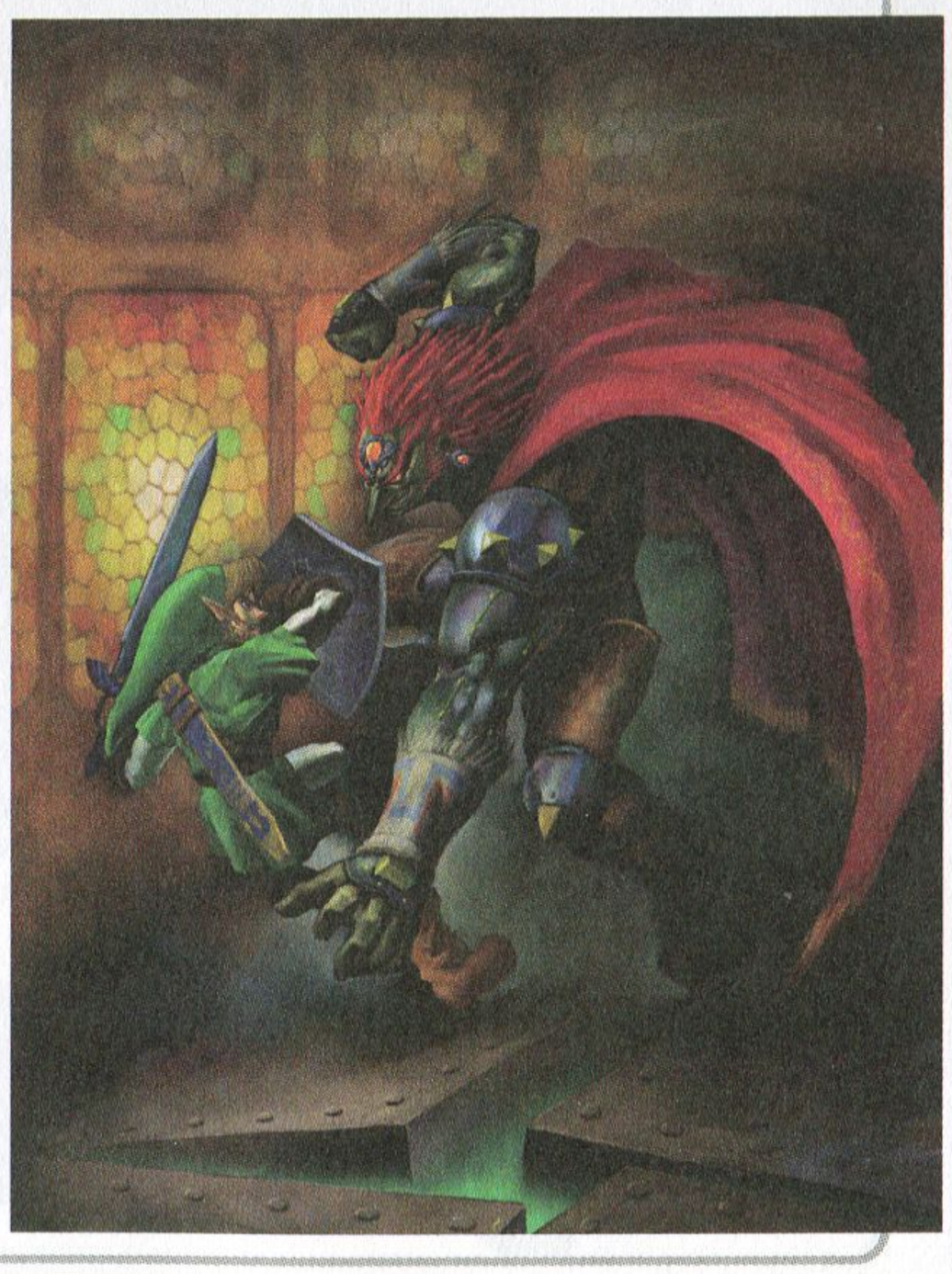
ゼルダ姫

➡ハイラルの未来を夢のお告げで知り、勇者と認めたリンクを導く。リンクに王家に伝わる秘宝「時のオカリナ」を託した

ガノンドロフ

⬅聖地を暴き、力のトライフォースを手に入れたガノンドロフ。魔王となってハイラル全土を恐怖に陥れた





↑『時のオカリナ 3D』発売により新規に描き下ろされたメインイラストで、パッケージにもなっている。広大で美しいハイラル高原を駆けるリンクとエポナが印象的

↑➡共に、ガノンドロフとの最終決戦を描いたイラスト。右はNINTENDO 64版からの再収録。上のイラストはゼルダ25周年の際に、ニンテンドープリペイドカードとしても使用された

THE LEGEND OF ZELDA
SKYWARD SWORD
ゼルダの伝説 スカイウォードソード

ゼルダの伝説　スカイウォードソード

発売日◎2011年11月23日発売
ハード◎Wii

すべての伝説のはじまりの物語を描いた作品。天空の島「スカイロフト」と地上の世界を舞台に、マスターソード誕生の秘密やゼルダやリンクに与えられた運命の物語が濃密に描かれている。Wiiモーションプラスを採用したことで、リンクとの一体感が増したほか、高感度操作ならではの謎解きも楽しめる。

リンク

←スカイロフトで生まれ育ち、騎士学校に通う青年。伝説の赤いロフトバードをパートナーに、空から雲の下に落ちたゼルダを捜すために大地へ降り立つ

©2011 Nintendo

➡リンクが手にした女神の剣は冒険が進むごとに成長していく。天に掲げることでスカイウォードを放つことが可能

←↑↓モーションプラスによってさらに多彩な動きをみせるようになったリンク。椅子に座っている姿は珍しい!?

↑➡今回(こんかい)もさまざまなアイテムが登場(とうじょう)。随所(ずいしょ)でリンクの冒険(ぼうけん)と謎解(なぞと)きをサポートする。中(なか)には、より便利(べんり)にアップグレードできるアイテムも

⬇リンクの幼なじみの少女で、明るい性格の持ち主。騎士学校の校長ゲポラの娘。女神ハイリアの生まれ変わりという自らの運命に立ち向かうため、大地をめぐる旅へ出る

ゼルダ

老人

➡封印の神殿で孤独に座す老人。静かに何かを待っているようだ

⬅女神の使いであるシーカー族の女性。揺るぎない信念でゼルダを助け行動を共にする

インパ

ファイ

←リンクが手にすることになる「女神の剣」に宿る精霊。機械的な口調だが、膨大な知識によるアドバイスで冒険をサポートする

ギラヒム

➡終焉の者と呼ばれる魔族の長の復活のため、ゼルダを狙う華麗なる魔族長。幾度となくリンクの前に現れ、刃を交えることになる

バド

←髪型にこだわるスカイロフト騎士学校の同級生。リンクにたびたびちょっかいを出す

ゲポラ

➡騎士学校の校長にしてゼルダの父。リンクを伝承に伝わる勇者だと悟り、騎士の装備を与えた

RS-301シリーズ

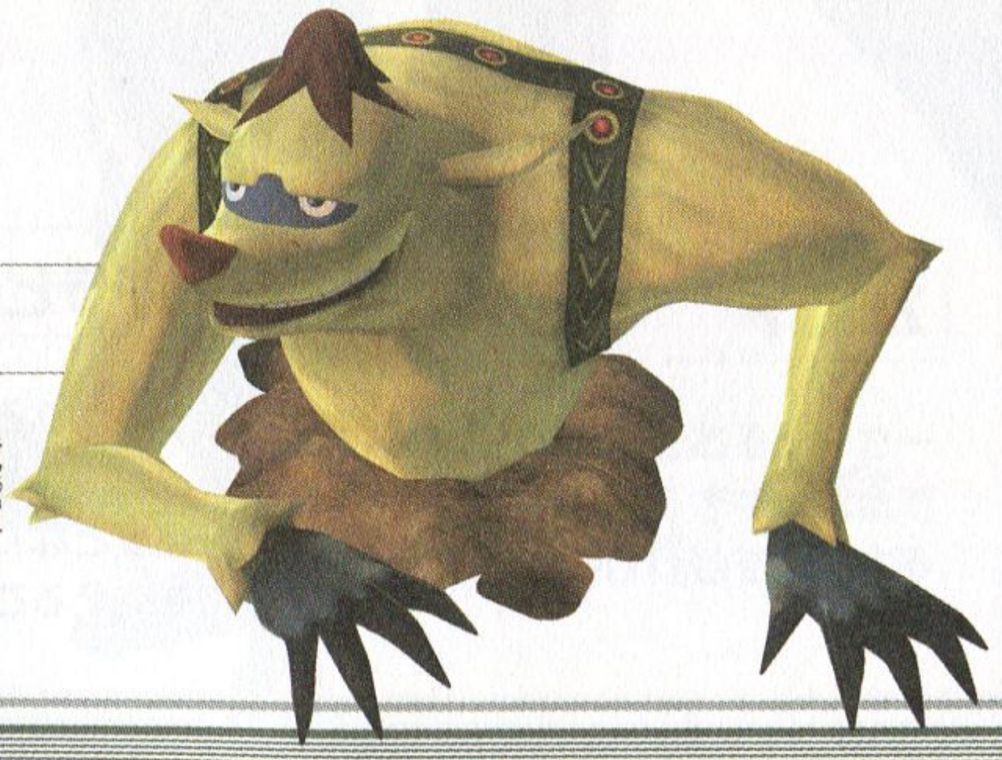
➡過去に地上で採掘作業をしていた機械亜人。スカイロフトにもサルボという機械亜人がいる

パラゲ族

➡フィローネの森の奥にあるフロリア湖に住む水棲亜人。精霊フィローネに仕えている

マルゴ

←岩石亜人ゴロン族の考古学者。地上を旅してまわり、残された古代遺跡や遺産を探求している



テツ

➡宝物に目がない、土竜亜人モグマ族の若者。宝物を求めて大地の神殿に乗り込みリンクに出会う

モンスターたち

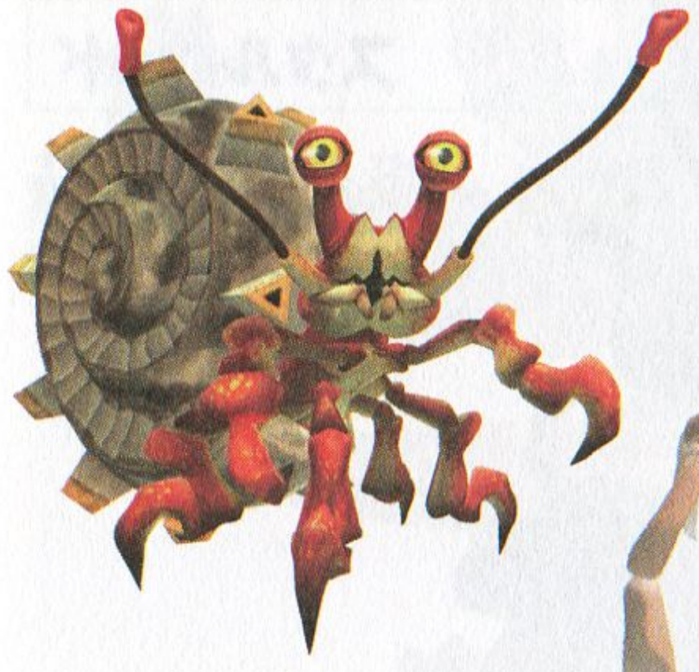
⬇➡太古から生息する魔物ボコブリン。なぜかパンツに執着する

⬆スカイロフトでペットとして人気のレムリーだが、夜は凶暴化

⬆➡シリーズおなじみの魔物であるキースやデクババも登場する

⬅⬇巨大な蜘蛛の魔物スタルチュラと岩を吐いてくるオクタロック

⬅カエルのような姿のマグッポはマグマの中から炎を飛ばしてくる



⬆➡シャコマイトやプチガットはともにラネール地方に出現する

⬅頭部の目から電気ビームを照射して攻撃してくるビーモス

➡古代の高度な文明から生まれた武器を装備するテクノボコブリン

⬆くされボコブリンは死後ゾンビとしてよみがえったボコブリンだ

モリブリン

←巨大な体を巨大な盾で守る魔物。盾を壊されると怒り狂い危険度が増す

リザルフォス

↘鉄製の手甲で武装し、素早い動きでリンクを翻弄してくる手強い敵

スタルフォス

➡生前は並の実力の騎士だったが、ガイコツになって腕が上がった

スタルヘッド

←三又のガイコツ蛇の魔物。３つの頭を同時に壊さないと倒せない

アモス

⬆侵入者を撃退するためのロボット。警備エリアに侵入すると襲ってくる

ドン・ゲラー

➡太古の昔にラネール砂海の船長の船を奪い、現代でも船を占拠している機械亜人の海賊

ベラ・ダーマ

↑元は大地の神殿の罠の巨大な岩玉だったが、ギラヒムの力で溶岩の魔物へと変えられた

モルドガット

↓侵入者を撃退するために作られた古の大石窟の守護者。ギラヒムに呪われ、リンクを襲う

ダ・イルオーマ

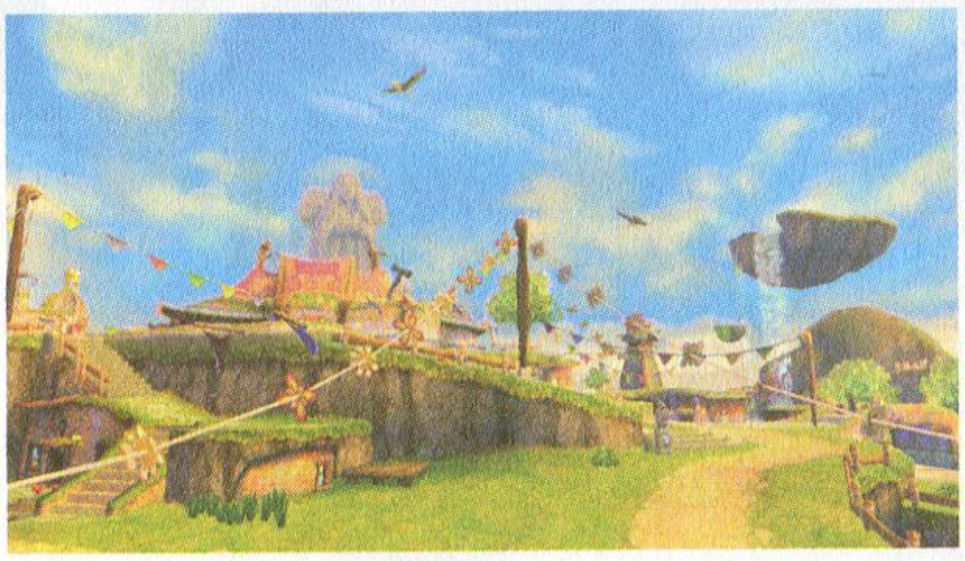
↓太古の昔、海だったラネール砂海を支配していたという海獣。無数の触手で攻撃してくる

ダイダゴス

ナリシャ

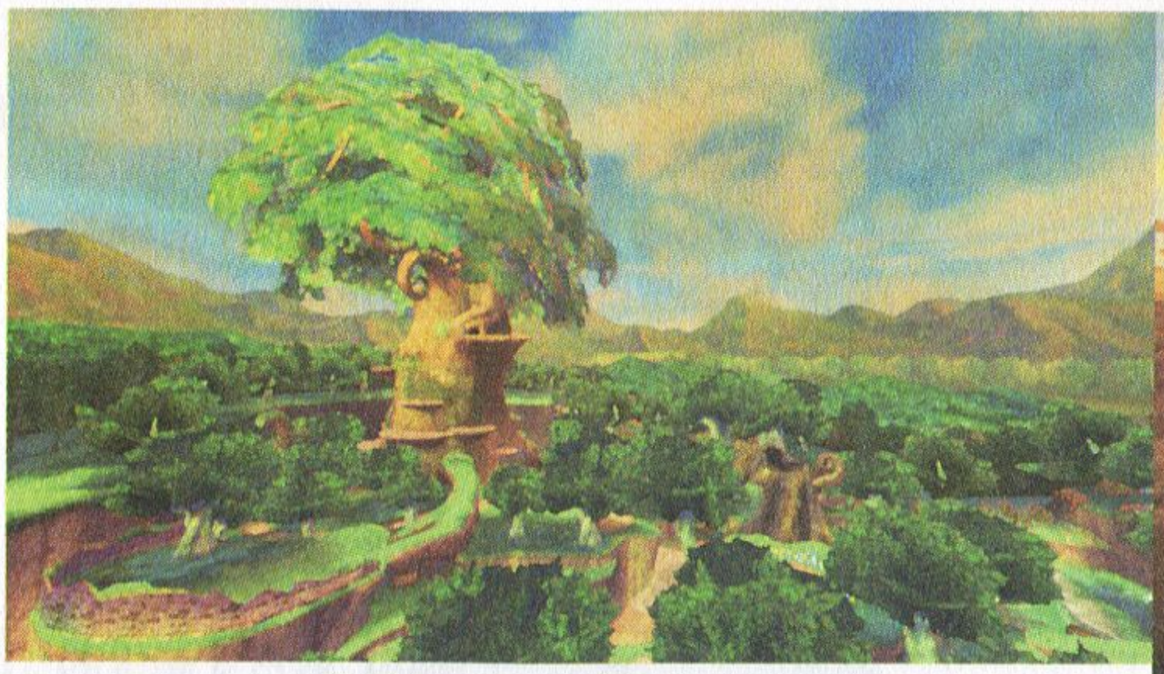
←大空の主と呼ばれる空の大精霊。しかし、なにかにとりつかれ正気を失ってしまっている

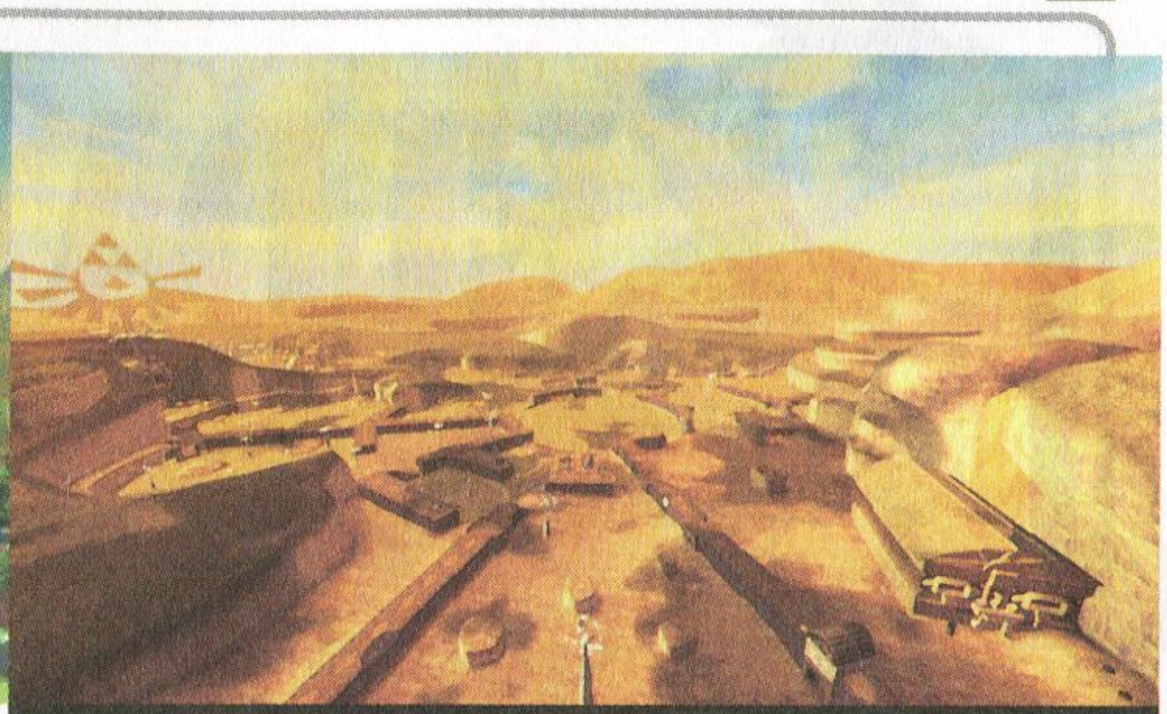
⬆深い青色の大空と対照的な赤いロフトバードが印象的なメインイラスト。スカイロフトの住人は必ず自分だけの守護鳥ロフトバードを持っているが、赤いロフトバードは幻の存在とされていた

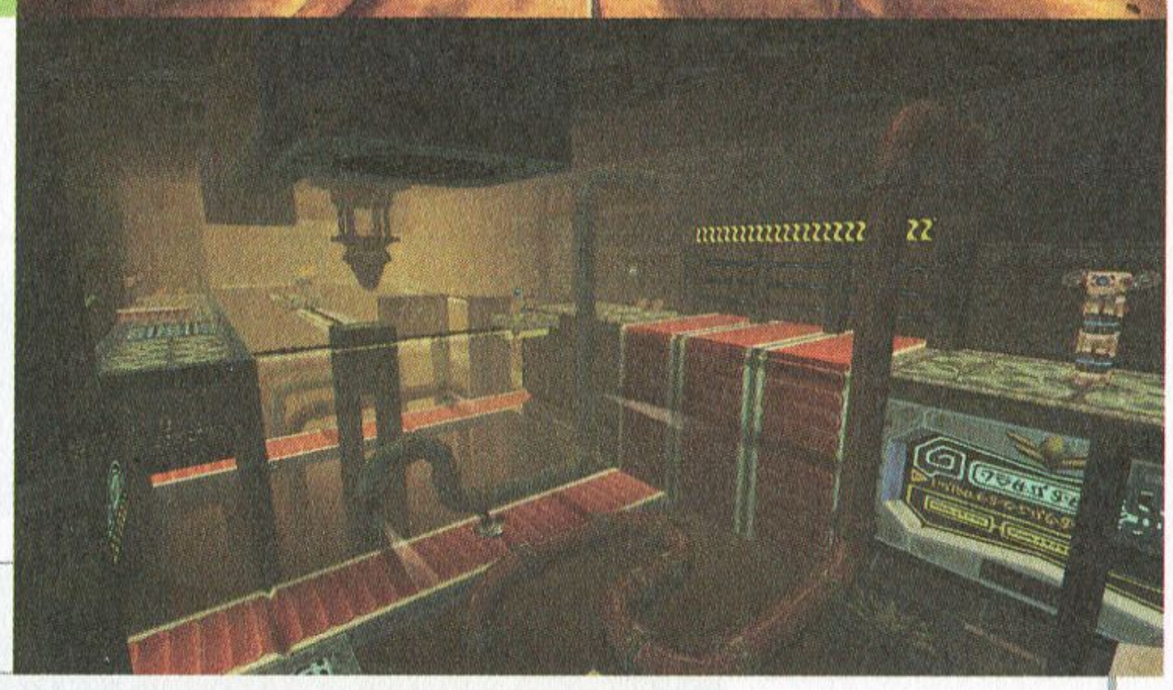


スカイロフト

⬆天空に浮かぶ、女神に祝福された島。リンクやゼルダの生まれ故郷である。島の外は常に厚い雲に覆われており、その下にはなにも存在しないとされていた。冒険の拠点として重要な場所

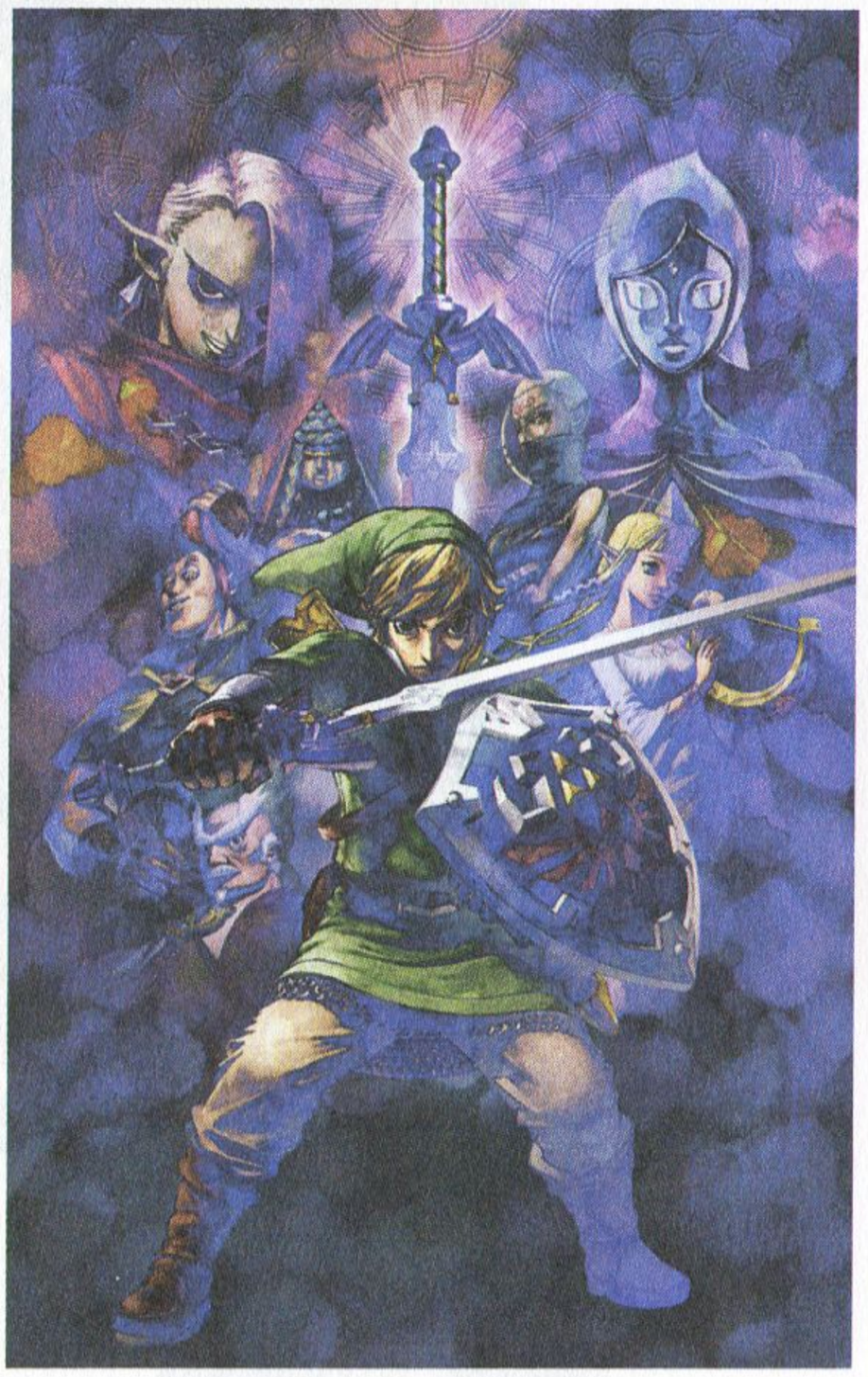


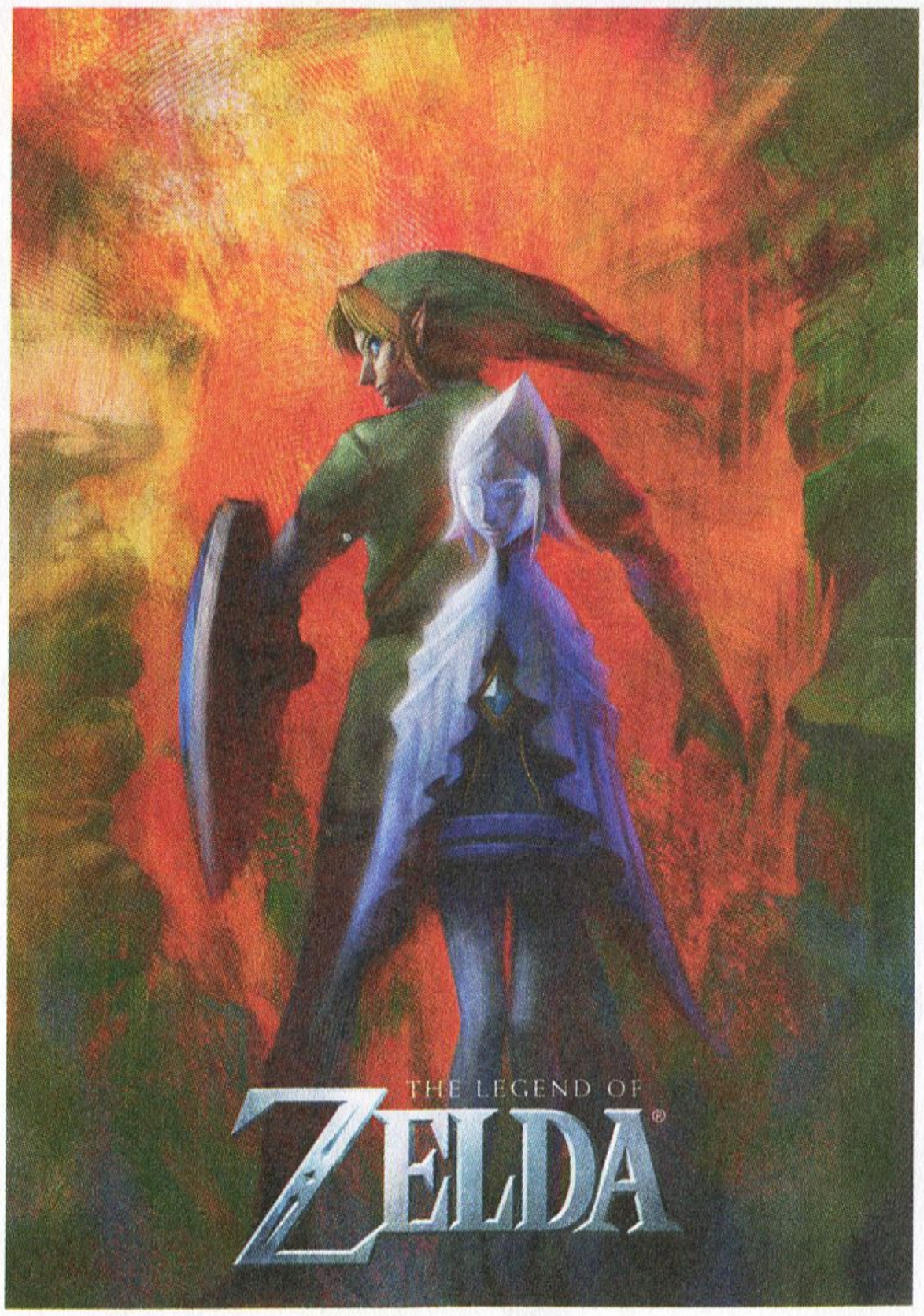




⬆↗➡リンクが地上に初めて降り立った際に着地するのが緑の大地フィローネ地方（上）。多くの生命が生きる豊かな土地だ。森の中央にそびえる巨大な大樹の内部は水に満たされ、森とは異なる空間が広がっている。砂に覆われたラネール地方はかつて時空に干渉する石「時空石」によって高度な文明が栄華を極めていたという（右上）。その技術力の高さはラネール錬石場に残された機械からも見て取れる（右）

フィールド＆ダンジョン





貴重な『スカイウォードソード』初期イラスト

←2009年のE3（毎年アメリカで開催されるゲームの見本市）で初めて発表された際に公開された、『スカイウォードソード』の初期イラスト。この時はまだファイの正体はおろか、作品の題名すら公表されていなかった

ゼルダの伝説　風のタクト HD

発売日◎2013年9月26日発売
ハード◎Wii U

トゥーンレンダリングでアニメを操るような感覚はそのままに、フルHDの美麗なグラフィックでWii Uに蘇った『風のタクト』。Wii U GamePadのジャイロセンサーで狙いを定めたり、タッチペンでタクトを振ったりとWii Uならではの操作でプレイできる。さまざまな島に暮らす個性的な住人たちがとても魅力的。

リンク

←さらわれた妹アリルを助け出すためのはずだったリンクの旅は、いつしか世界の命運を握る冒険へとなっていく

©2002-2013 Nintendo

カモメ

⬆いろんなところを飛んでいる

アリル

⬅リンクの妹。家族思いで心優しい性格の持ち主。兄の誕生日に巨大な怪鳥にさらわれてしまった。望遠鏡が宝物

おばあちゃん

⬆リンクとアリルの祖母。ふたりのことをとても心配している。おばあちゃんの特製スープはリンクの大好物

ゼルダ姫

⬅古の時代に存在し、のちに滅びたという神話が語り継がれている、伝説の王国「ハイラル王国」の王家の姫

テトラ

←少女でありながらも、海賊団を率いる船長。リンクにいろいろと手を貸してくれる

ゴンゾ

➡テトラが率いる海賊団の一員で性格は短気。ワル知恵がよく働く

ニコ

←海賊団の一番下っ端。リンクが船に乗ったときは自らアニキを名乗った

赤獅子の王

➡魔獣島から放り出されたリンクを救ったしゃべる船。以降リンクと共に旅をし、リンクに的確なアドバイスをくれる頼もしい相棒だが、その正体は謎に包まれている

妖精の女王

⬆見た目は幼い少女のような妖精界の女王。リンクを「子供」と呼び、強気な口調で話す

メドリ

←竜の山に住む空の精霊ヴァルーのお付き。リト族の娘。何事にも一生懸命な性格

ラルト

↖かつて大地の神殿にてハープを奏で、祈りを捧げていたゾーラ族の賢者

マコレ

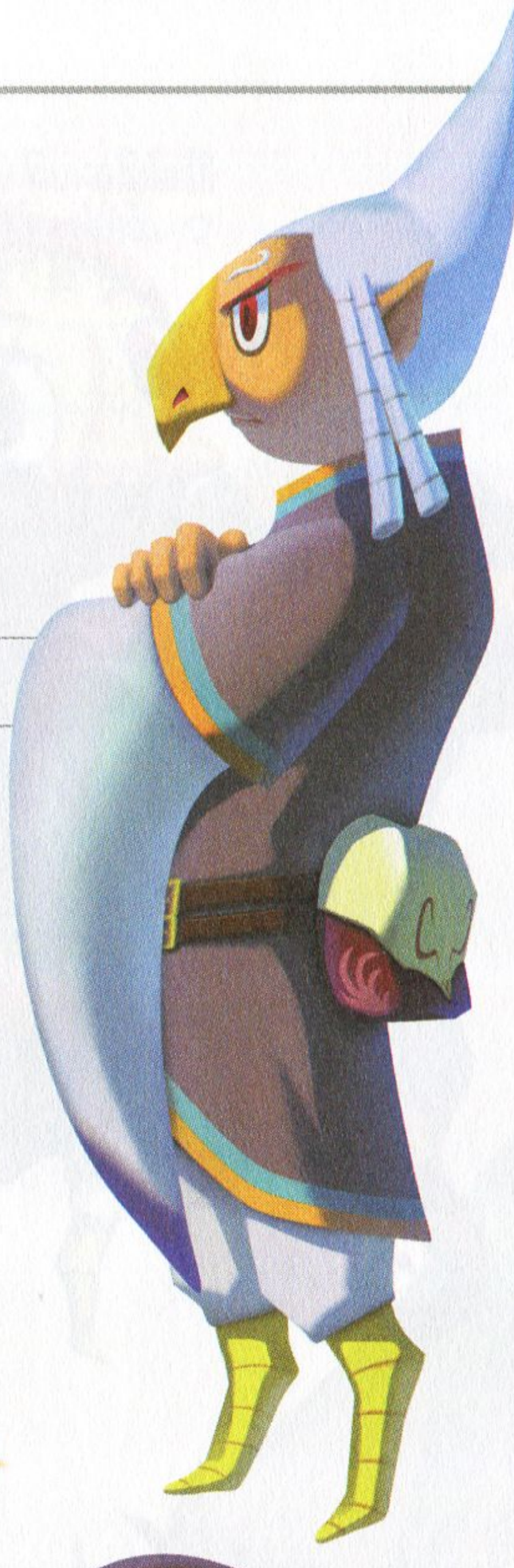
↑森の妖精コログ族の1人。年1回のコログ族の儀式で音楽の演奏を務める

フォド

←かつて風の神殿にて祈りを捧げていたコキリ族の賢者。バイオリンが得意

コモリ

←リト族の長である親方様の息子。気が弱く、自分に自信を失くしてしまっている



オドリー

➡空を飛べる「リト族」の青年で、島々を飛び回る郵便屋。リンクの力になってくれる

妖精

➡ダンジョンなどさまざまな場所に出現し、体力を回復してくれる頼もしい味方

テリー

➡大海原で船の店を営む男。冒険に欠かせないアイテムをリンクに売ってくれる

チンクル

←自分を妖精だと自称するアヤシイ中年の男。35歳。兄弟がたくさんいる

魚男

←海図に情報を書き込んでくれる、大海原の事情通

ガノンドロフ

←海に沈んだハイラルに封印されていたが復活。知恵のトライフォースを求めてゼルダ姫を捜す

THE LEGEND OF ZELDA™ 神々のトライフォース2

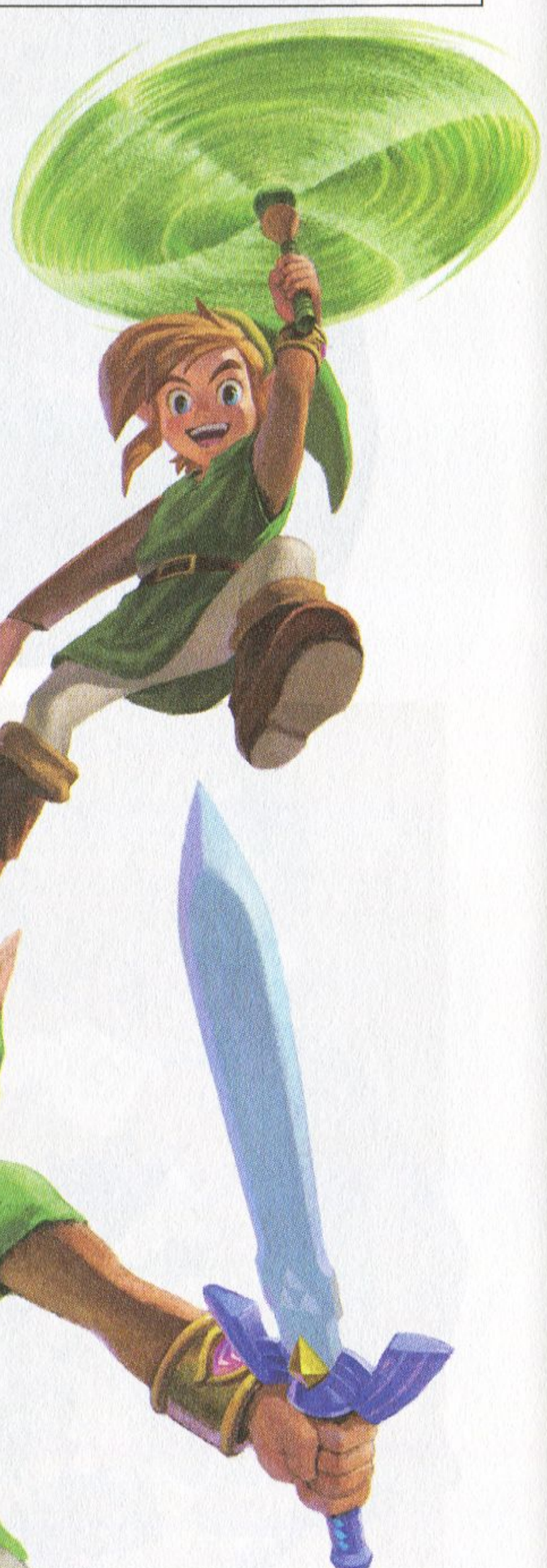
ゼルダの伝説　神々のトライフォース2

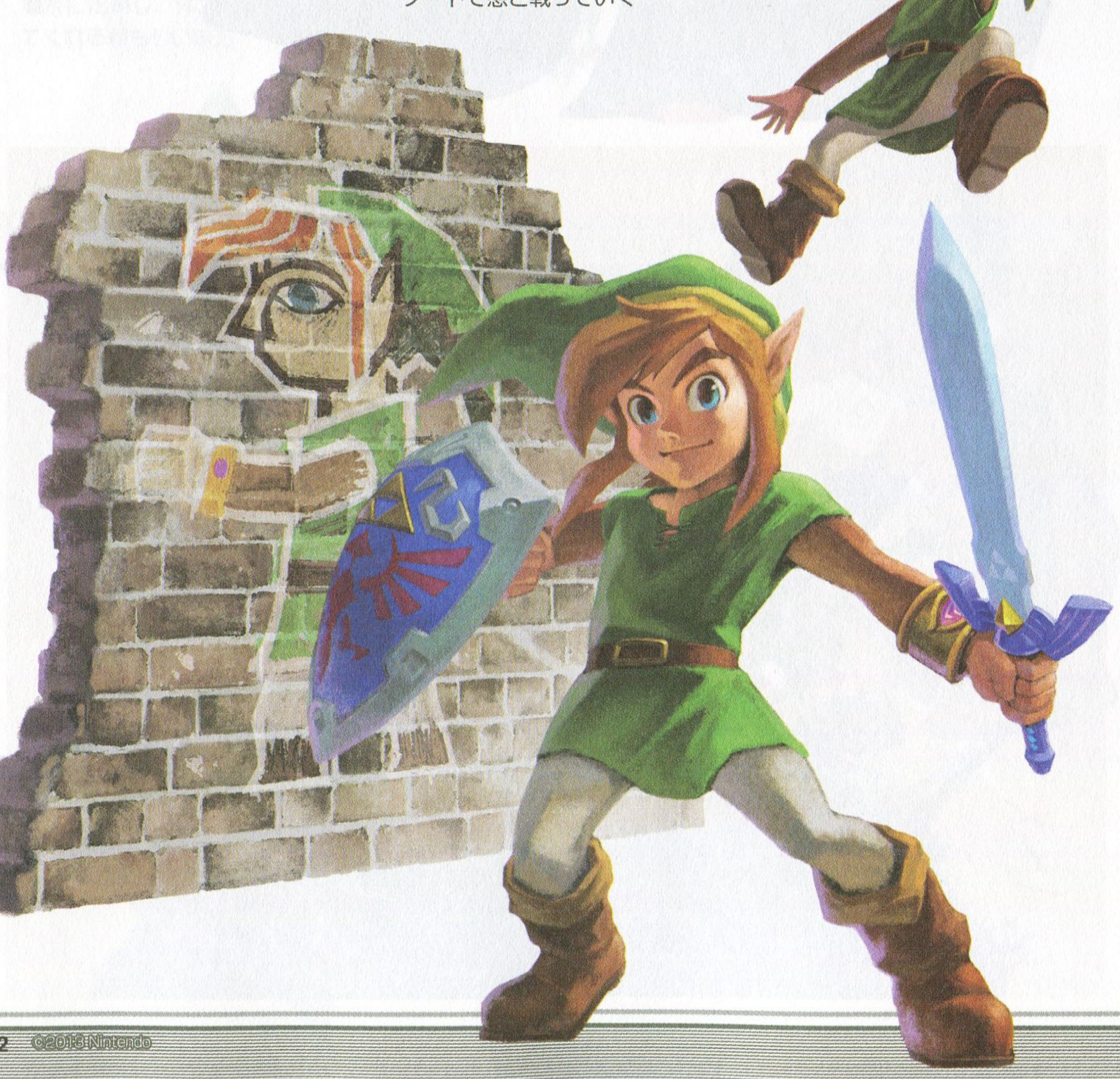
発売日◎2013年12月26日発売
ハード◎ニンテンドー3DS

『神々のトライフォース』の続編。前作の良さを継承しつつ、リンクが壁画になるアクションや、3DSらしい高低差のあるダンジョンも登場。また、アイテムをレンタルして攻略順に自由さを出すなど、シリーズの常識を見直した新しい『ゼルダ』として登場した。

リンク

⬇➡鍛冶屋の見習いとして働く少年。ある日、自身が壁画になる能力を身につける。ハイラルとロウラルを行き来して、退魔の剣・マスターソードで悪と戦っていく





©2013 Nintendo

ユガ

←ロウラル王国からハイラル王国にやってきた司祭。人を絵に変える力を持ち、大魔王ガノンの復活をもくろむ。ハイラル王国にいる七賢者の末えいたちを封印し、絵に変えていく

ゼルダ姫

←ハイラル王国の王女。ハイラルに迫る危機を予知し、代々伝わるお守りをリンクに授けた

ヒルダ姫

➡薄暗くあやしげな雰囲気が漂う世界「ロウラル」の王女。彼女の助言により、リンクの冒険が始まることになる

ガノン？

←遥か昔に封印された魔王。司祭ユガが復活を企てている。その姿はあまりにも巨大で…

ラヴィオ

➡リンクの家に勝手にレンタル店をオープンする謎の商人。リンクは攻略アイテムをレンタルし、自由な順番でダンジョンに挑む

アイリン

⬅自称「未来の天才魔法使い」の少女。「緑のもの」に親切にするといいという占いを信じ、リンクがどこにいても風見鶏まで運んでくれる。口は悪いが世話好き

グリと鍛冶屋一家

←↓→リンクが見習いとして働く鍛冶屋の一家。厳しいが腕の確かな親方と優しいおかみさん。一人息子のグリの役目は、朝寝坊しがちのリンクを起こすこと

セレス

➡リンクとも顔なじみの心優しき教会のシスター。かつて魔王ガノンを封印した七賢者の血をひく。ユガの手により、絵の中に閉じ込められてしまう

インパ

←ゼルダ姫のお付き。リンクをゼルダ姫に謁見させる。リンクがゼルダ姫に報告したのは、セレスが絵にされてしまった事件だった

アスファル

←カカリコ村に住む、七賢者の血をひく青年。勇敢にもユガに立ち向かうが、返り討ちにあい、封印されてしまう

オーレン

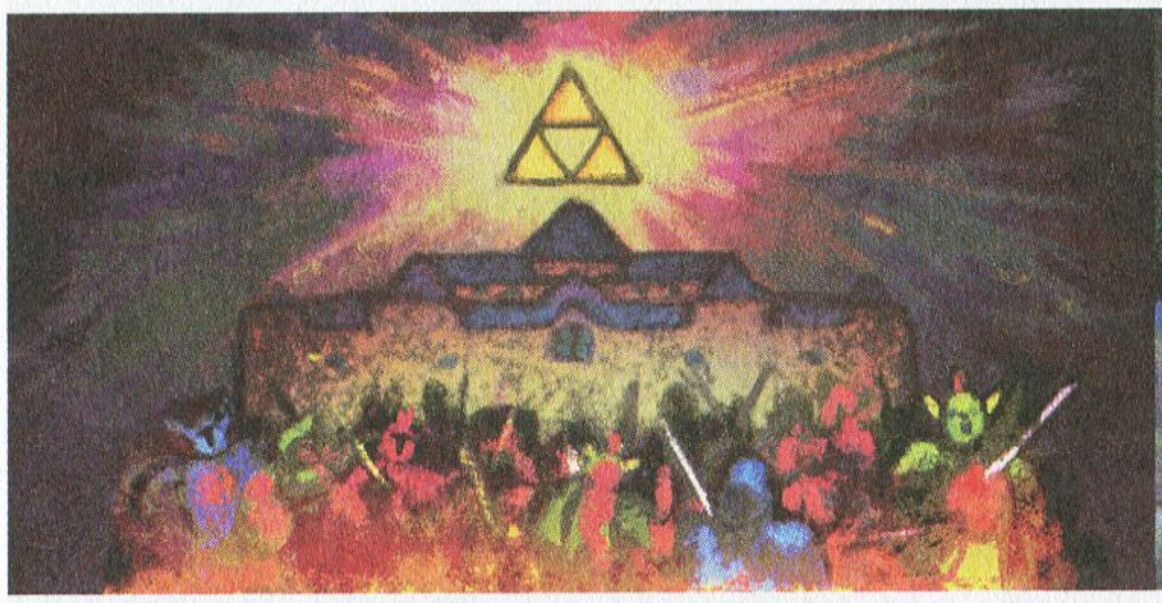
←水辺に暮らすゾーラ族の女王。助けてくれたリンクへ、ゾーラ族に伝わるアイテムを授けてくれる

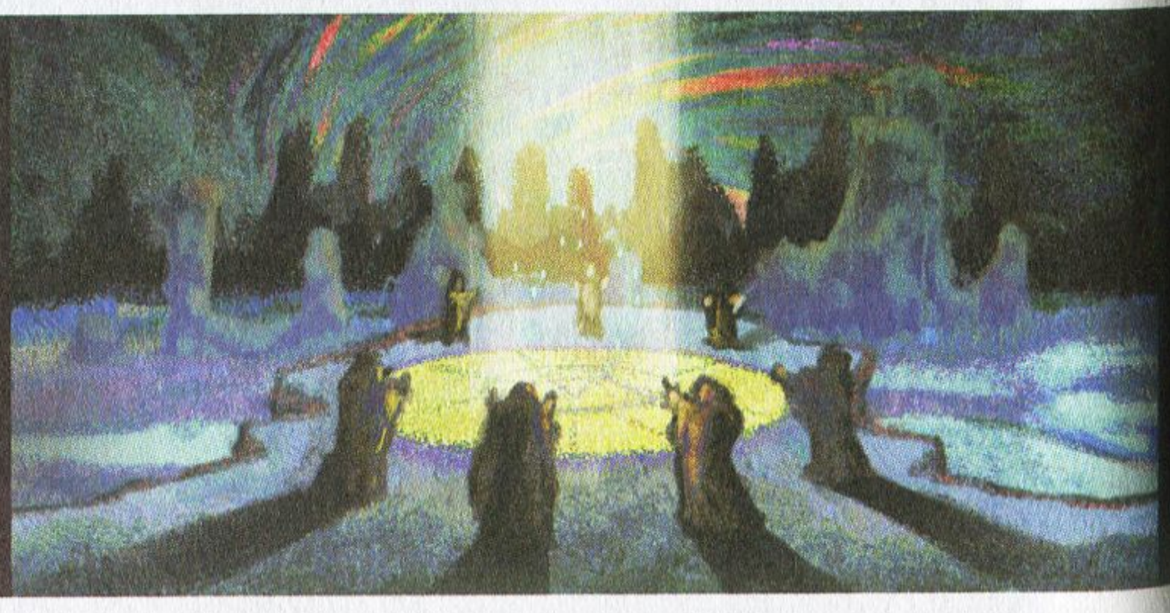
ロッソ

←採掘を生業とする青年。鍛冶屋で働くリンクやグリたちとは仕事柄顔なじみ。ハイラルにある巨大な採掘場で仕事をしている

ヒントおばけ

↑謎に行き詰まったときに「ヒントめがね」を装備すると見える。ニンテンドー3DS本体を持ち歩くと溜まる「ゲームコイン」を使えば、謎解きのヒントを教えてくれる

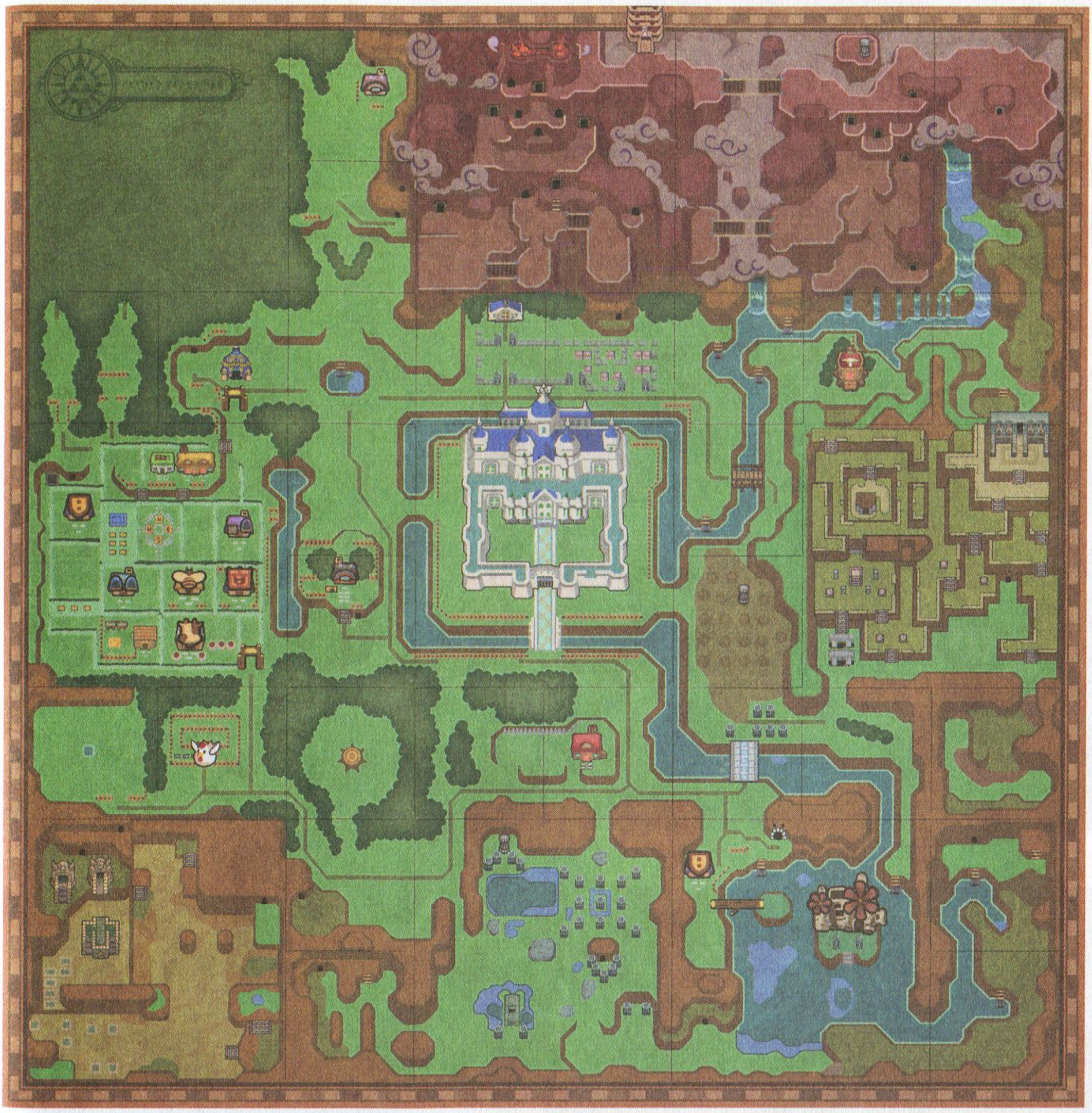




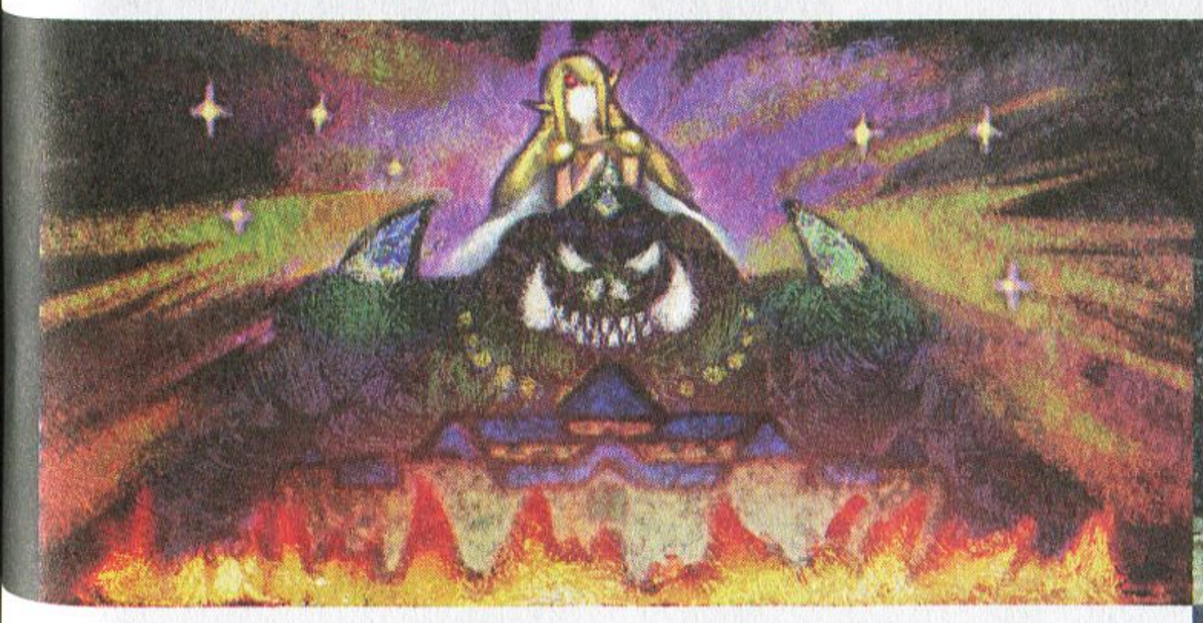
『神々のトライフォース2』で語られる伝説

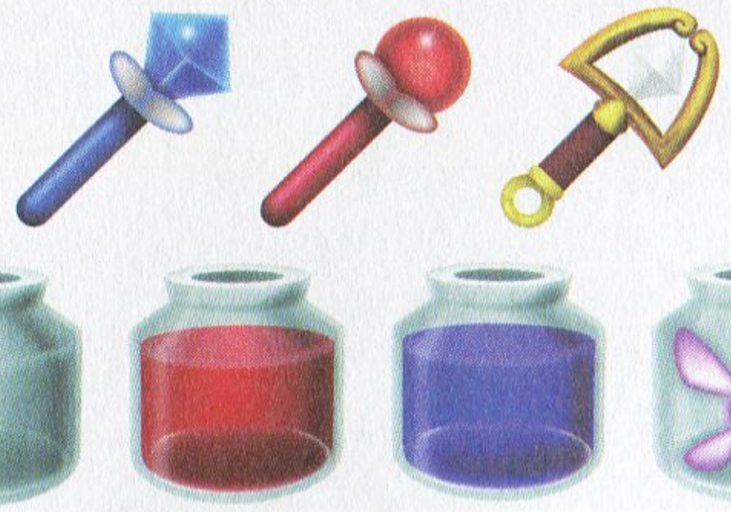
最初の2枚のイラストは、前作でも伝説として語られている「トライフォースを巡る争いを防ぐため、七賢者が聖地に隠した」というもの。残りの3枚のイラストは、前作のリンクの冒険が描かれ、七賢者と共に大魔王ガノンを封印したという軌跡が見られる

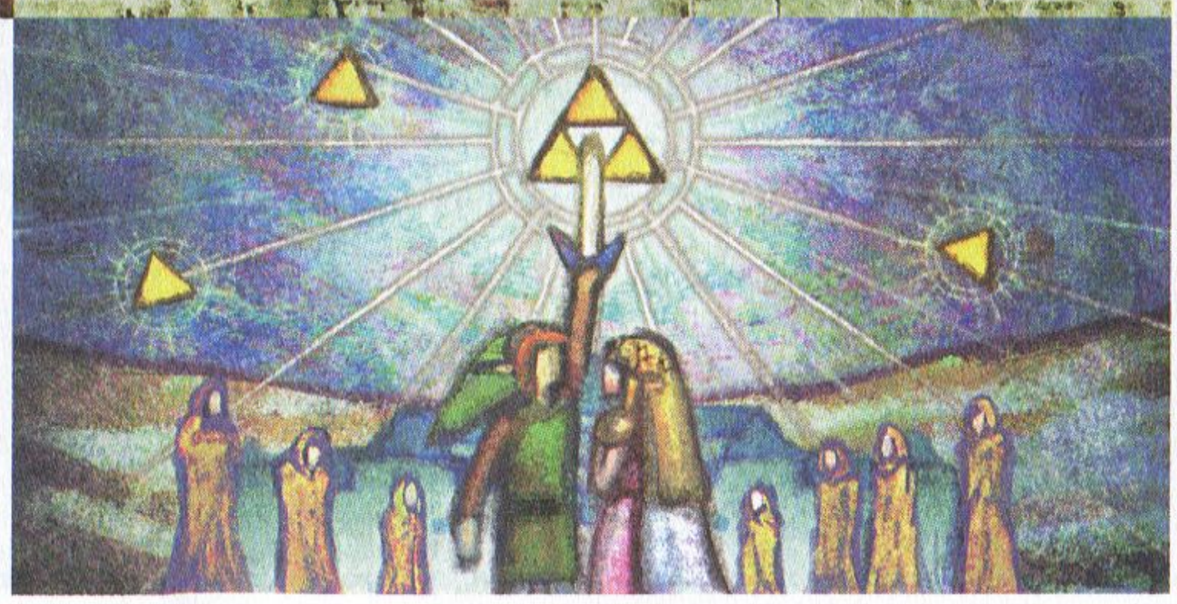
平和な王国「ハイラル」



←スーパーファミコンの前作『神々のトライフォース』の時代から、地形面での大きな変化はない。中央のハイラル城に統治されている世界







モリブリン

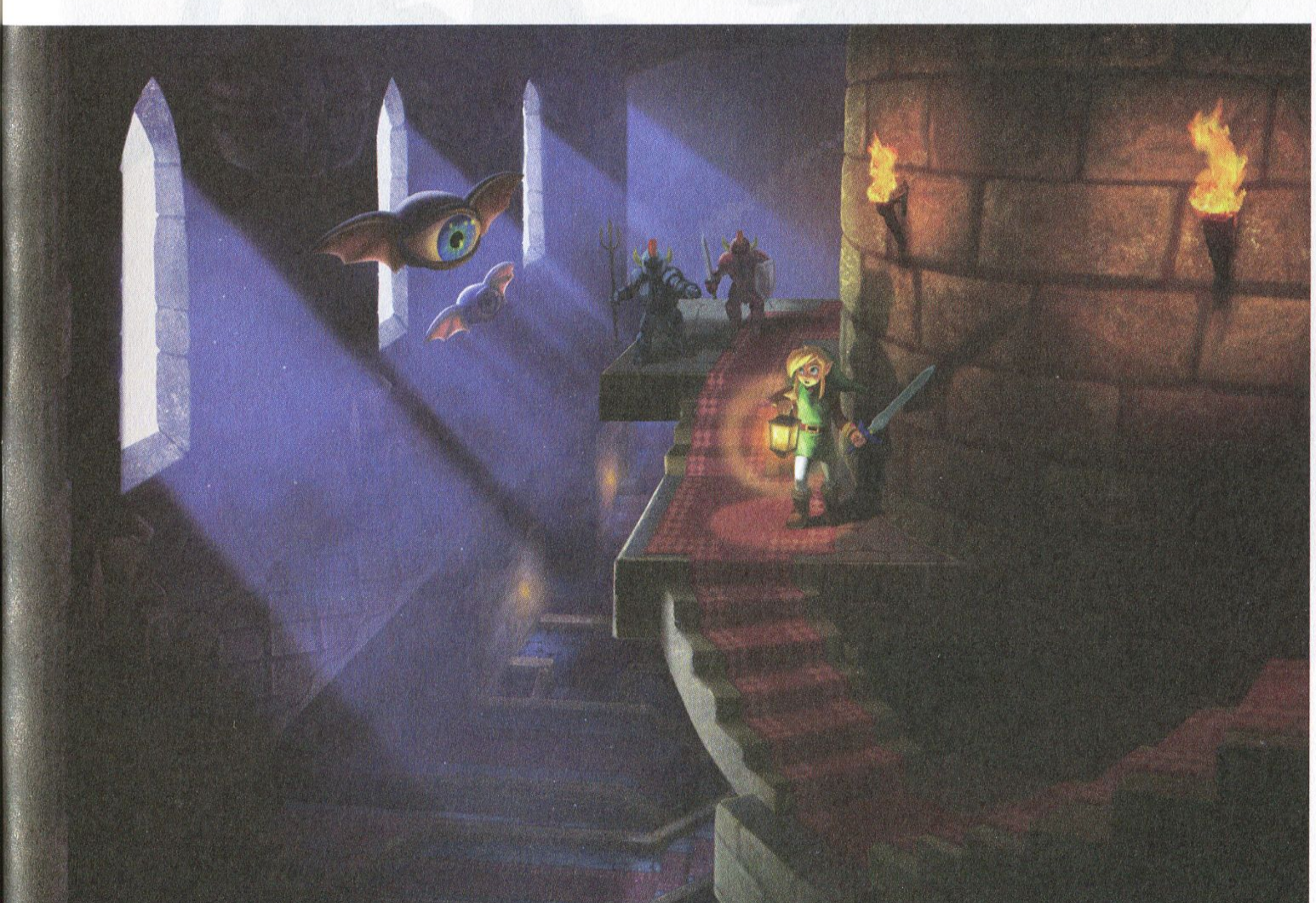
←シリーズおなじみの敵。剣と盾を構えているモリブリンのほかにも、槍を装備しているものや、槍を投げてくるものがいる

兵士

➡リンクの前に立ちはだかる敵。色による階級の違いや、剣や槍など装備武器もさまざま。イラストは鉄球を装備した兵士

シャドウリンク

←すれちがい通信でやってくる、別プレイヤー世界のリンク。バトルを挑み、シャドウリンクに勝つとルピーを獲得できる



ゼルダの伝説 ムジュラの仮面 3D

ゼルダの伝説 ムジュラの仮面 3D

発売日◎2015年2月14日発売
ハード◎ニンテンドー3DS

ニンテンドー3DSに最適化されたビジュアルと操作を実装。特に、好きなアイテムを下画面のⅠ・ⅡにセットすることでN64版より多くのアイテムをすぐ使え、より快適に遊べるようになった。ほかにも団員手帳の機能一新や釣り堀の追加など見どころも多い。イラストは新規＋N64版で未紹介のものをセレクト。

リンク

←『時のオカリナ』でハイラルを救ったあと、「かけがえのない 友を探す旅に」出た。その途中、3日後に月が落ちるタルミナの世界に迷い込んだ

スタルキッド

➡ある日不気味な仮面を見つけ、不思議な力を身につけた。友達の妖精、トレイルは人が変わったような彼の様子を心配している

©2000-2015 Nintendo

デクナッツリンク

←リンクがこの世界に迷い込んだとき、スタルキッドの不思議な力によってこの姿になった。呪いを解いたあとはデクナッツの仮面をかぶることで自由にこの姿になれる

ゴロンリンク

➡ゴロン族の英雄、ダルマーニ3世の魂が宿った仮面をかぶることで、リンクはこの姿になる

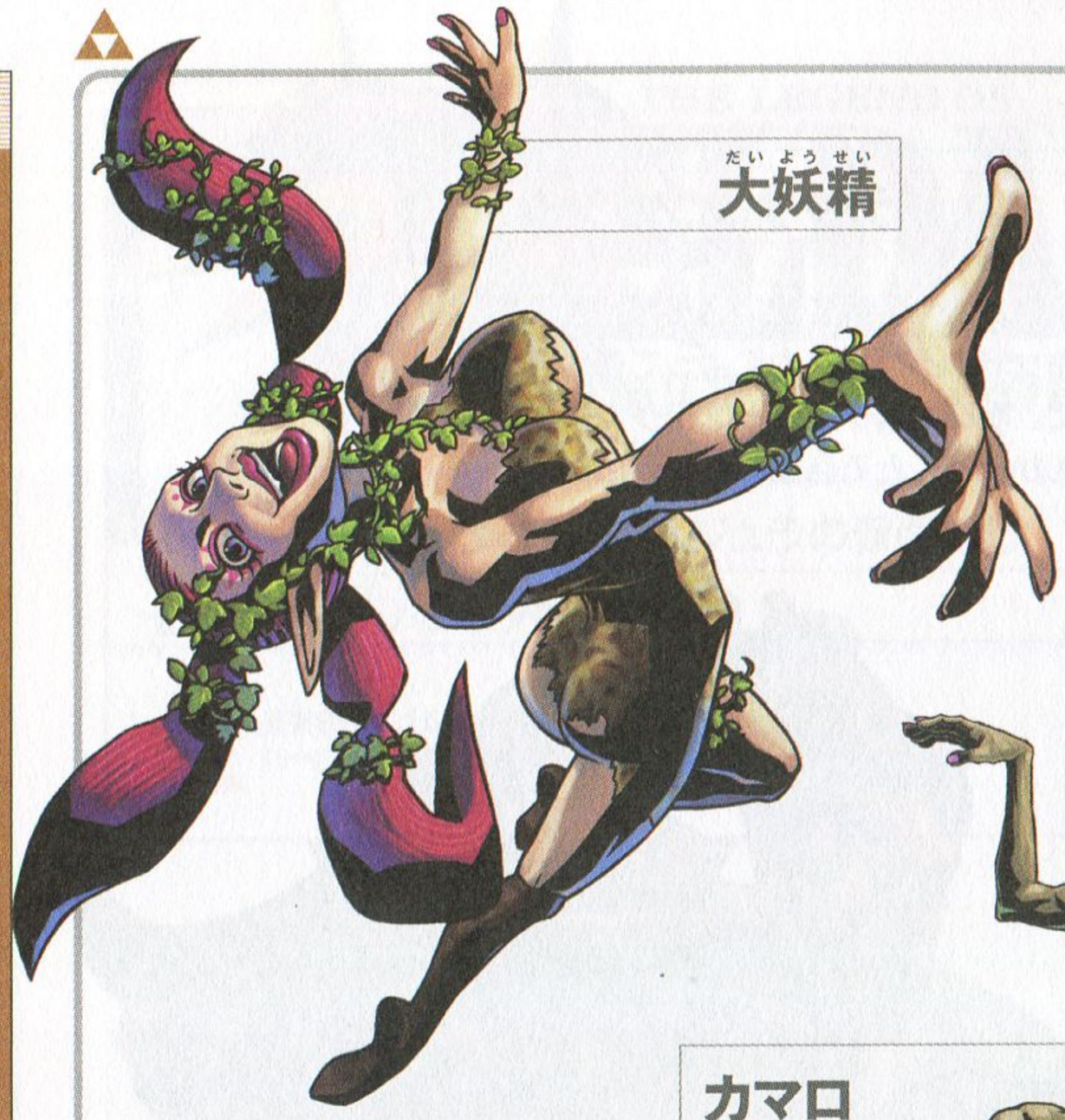
ゾーラリンク

←ゾーラ族のバンド、ダル・ブルーのギタリストであるミカウの魂が宿った仮面をかぶることで、リンクがこの姿に

しあわせのお面屋

➡デクナッツの姿になってしまったリンクの呪いを解いた。スタルキッドがかぶっている仮面を取り戻してほしいとリンクに頼む

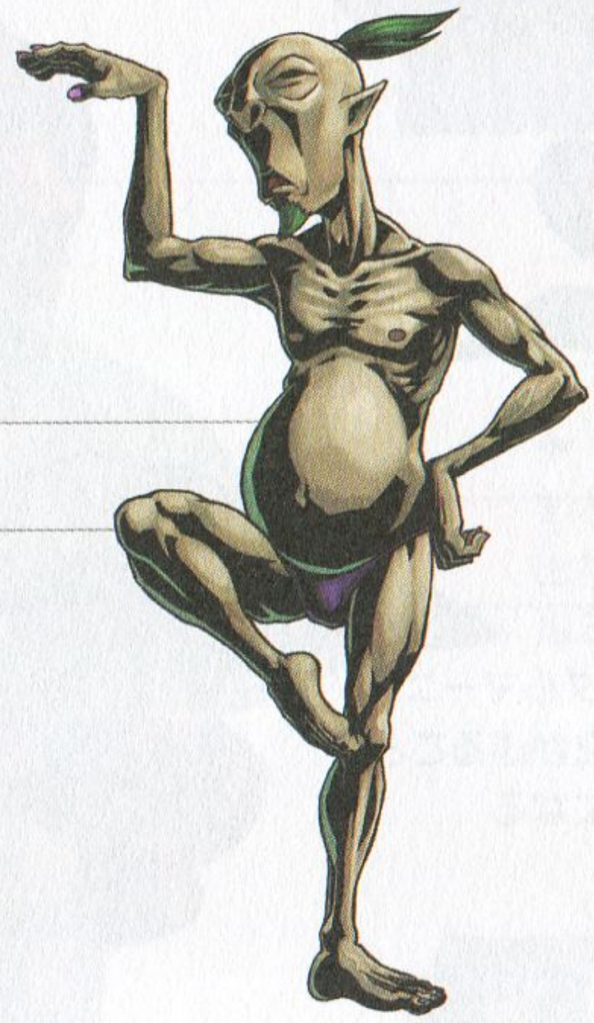
大妖精



ローザ姉妹

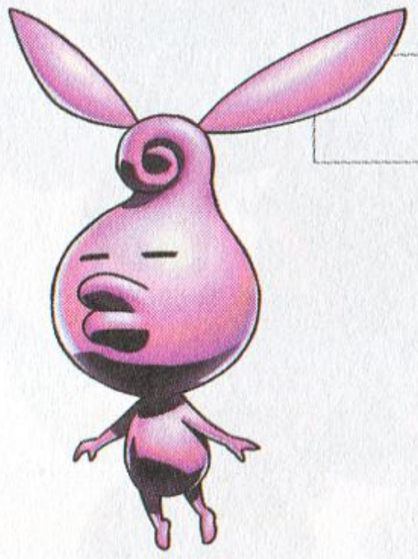
➡赤いほうがジュドで、青いほうがマリラ

カマロ



マニ屋

はぐれ妖精

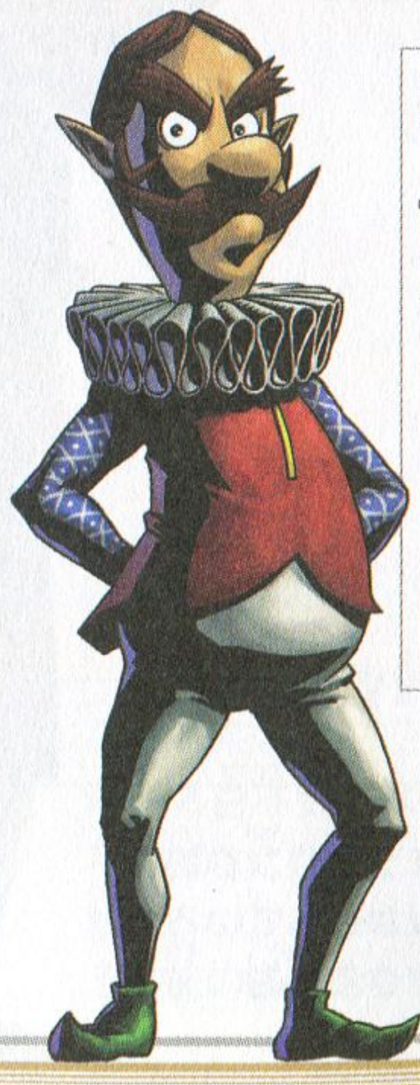


サコン

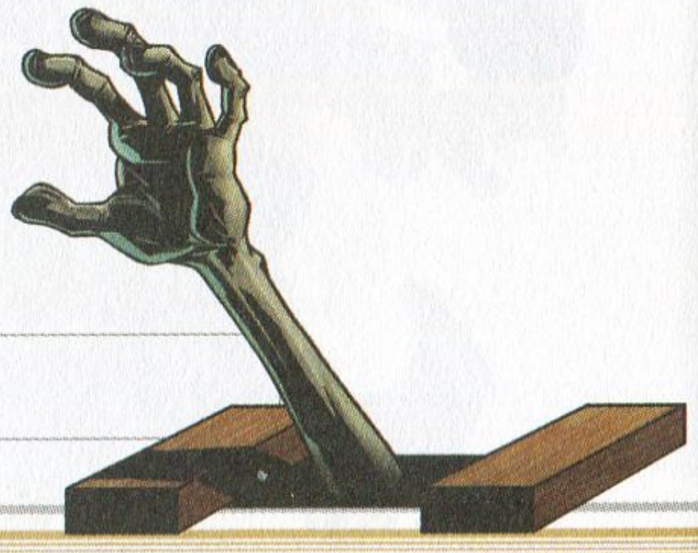
グル・グルさん

ゴロン

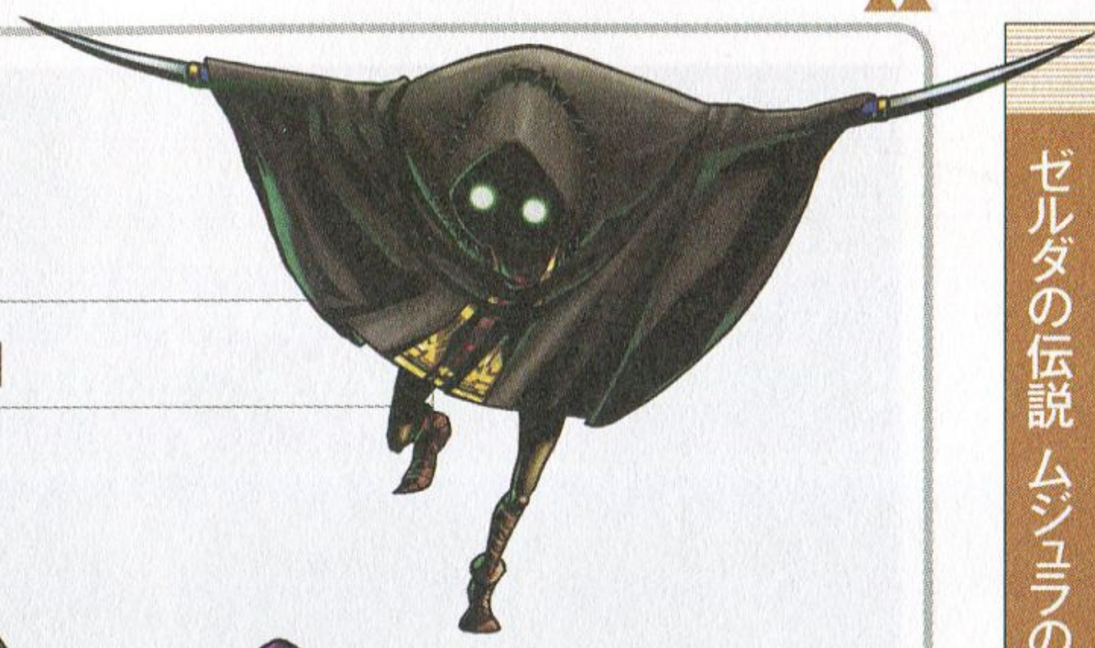
ゴーマン



??



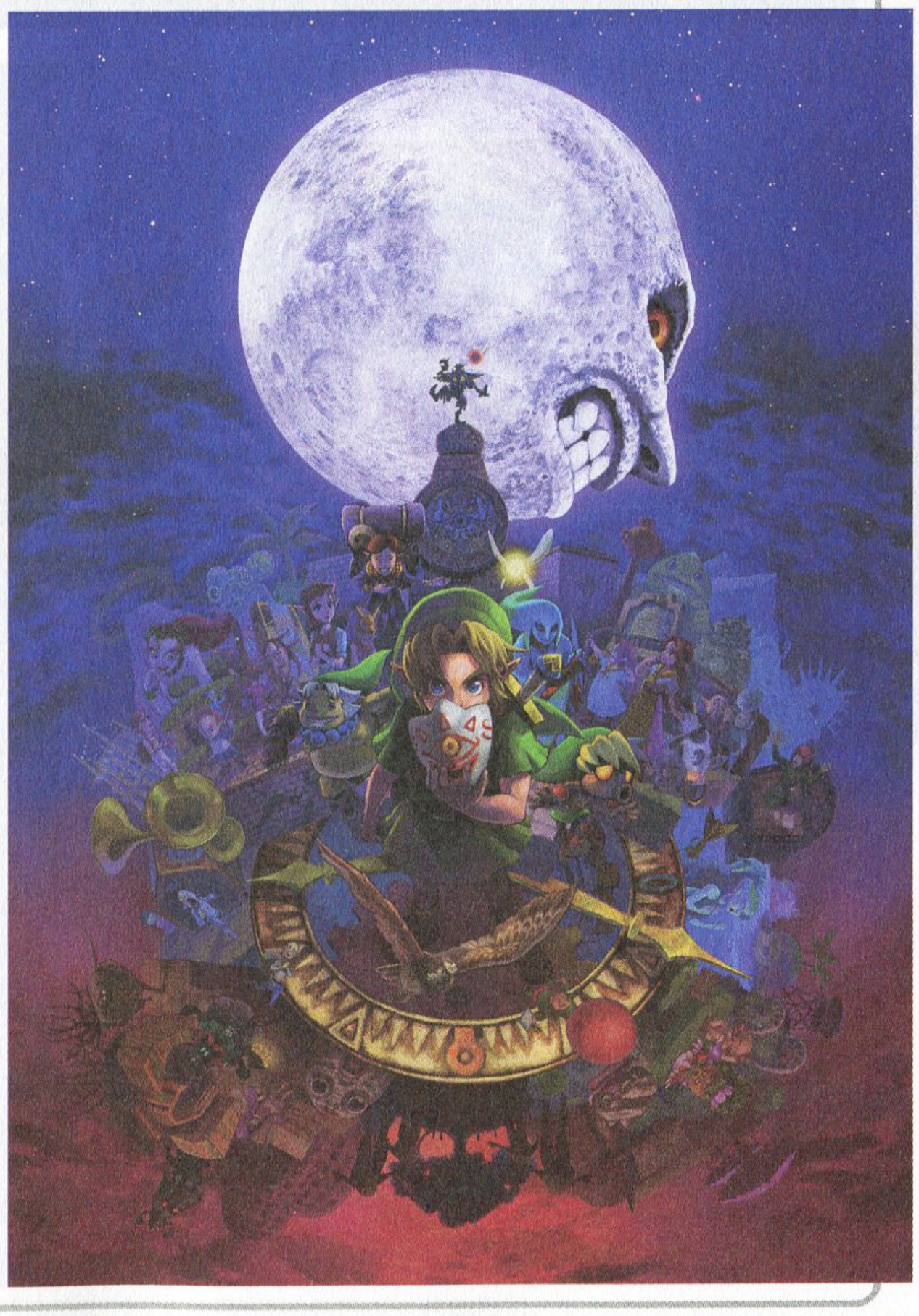
フクロウ

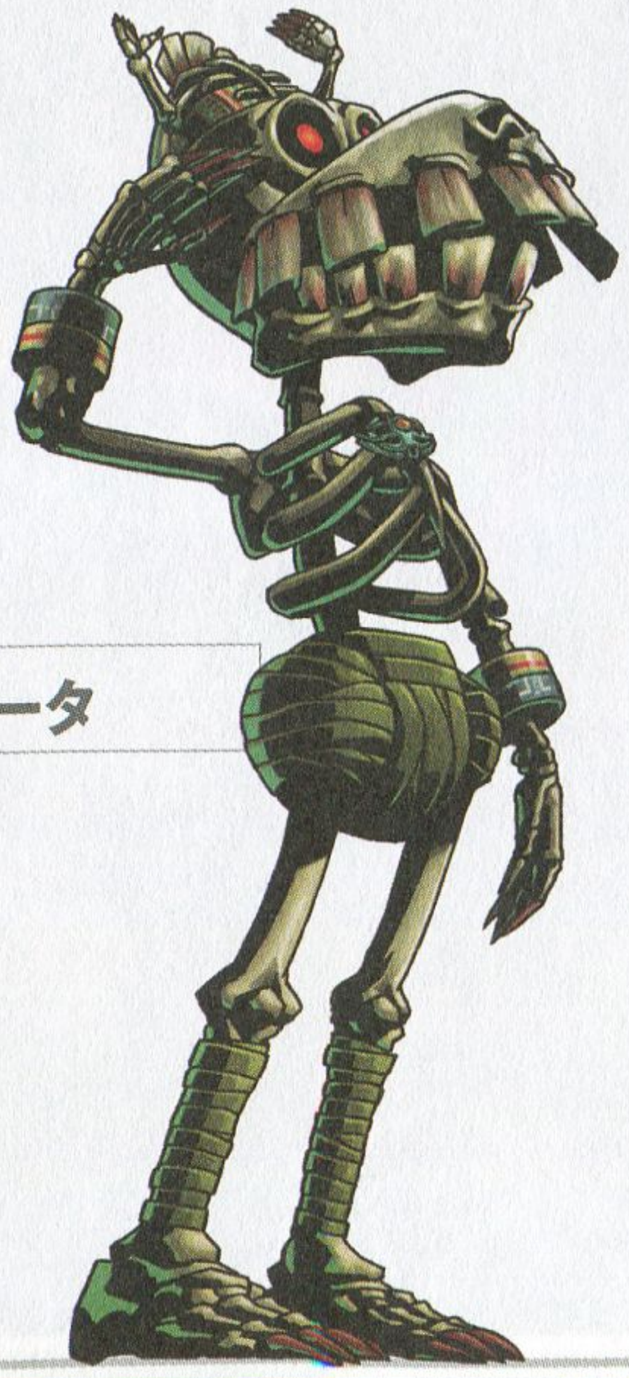


ガロ

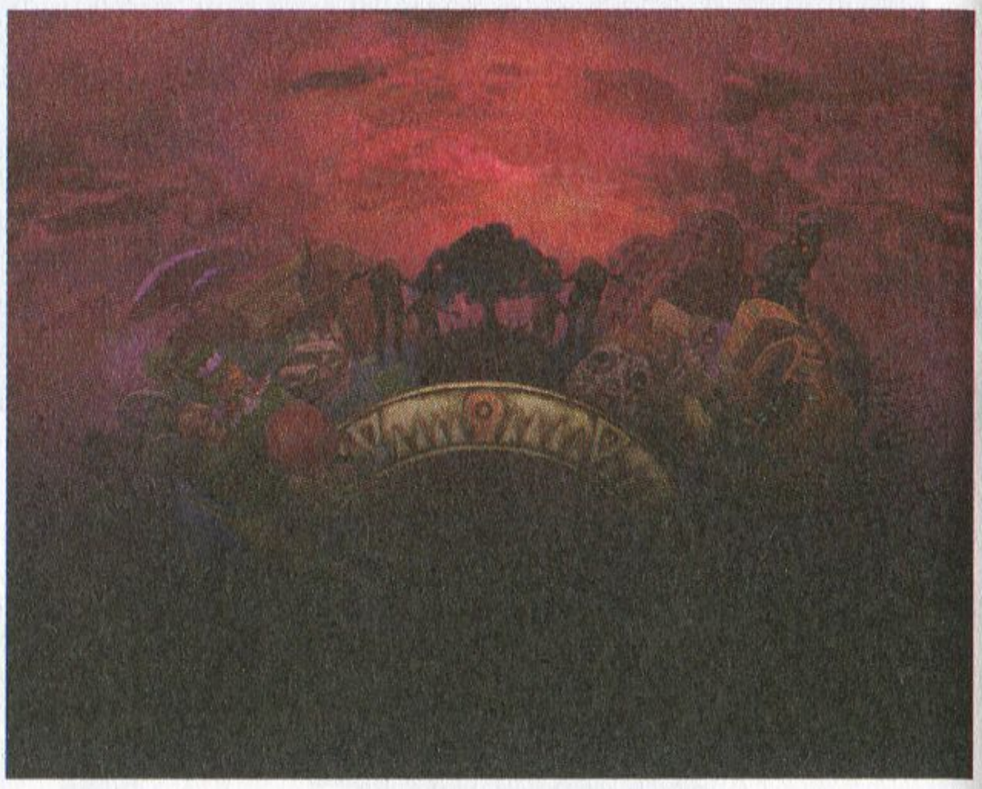
ポウマスター

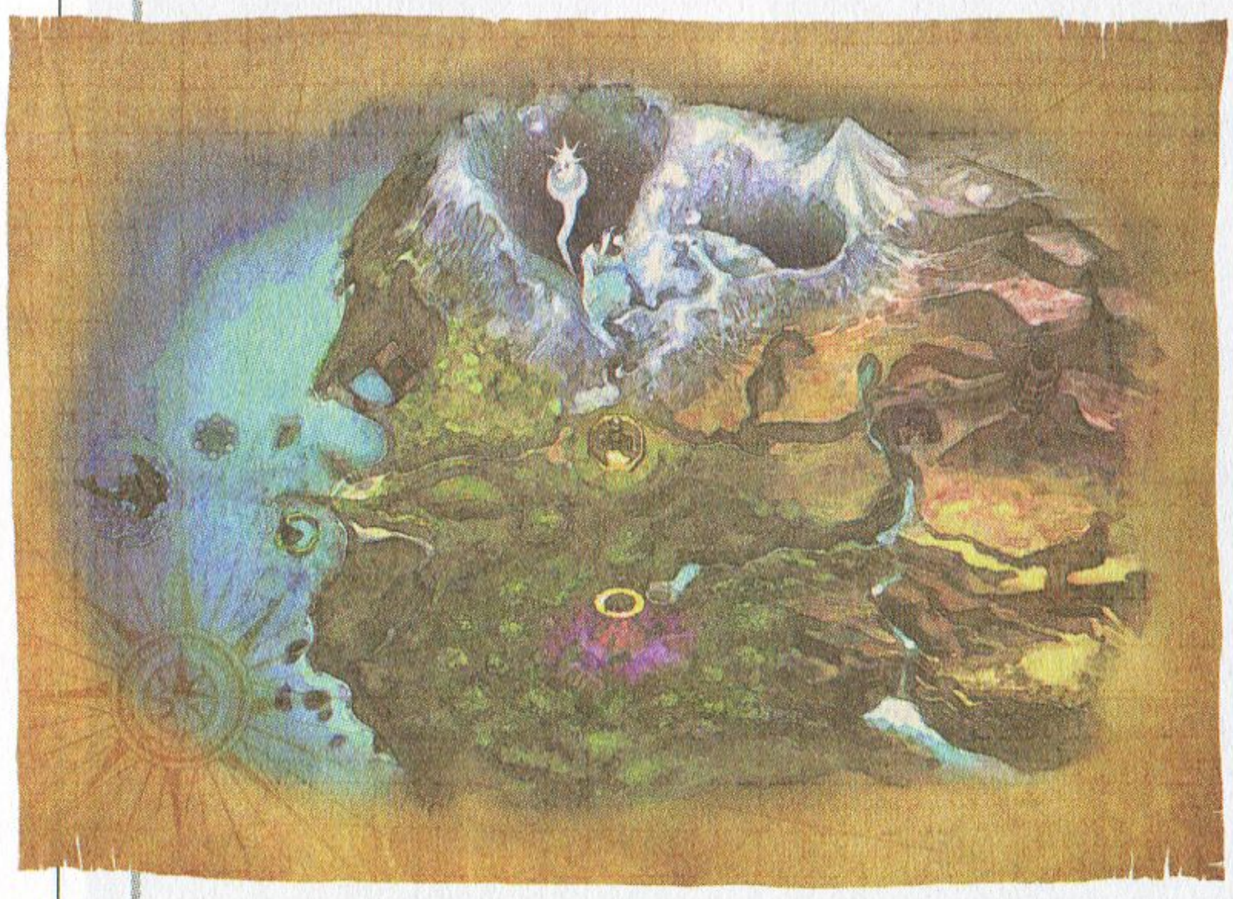
??

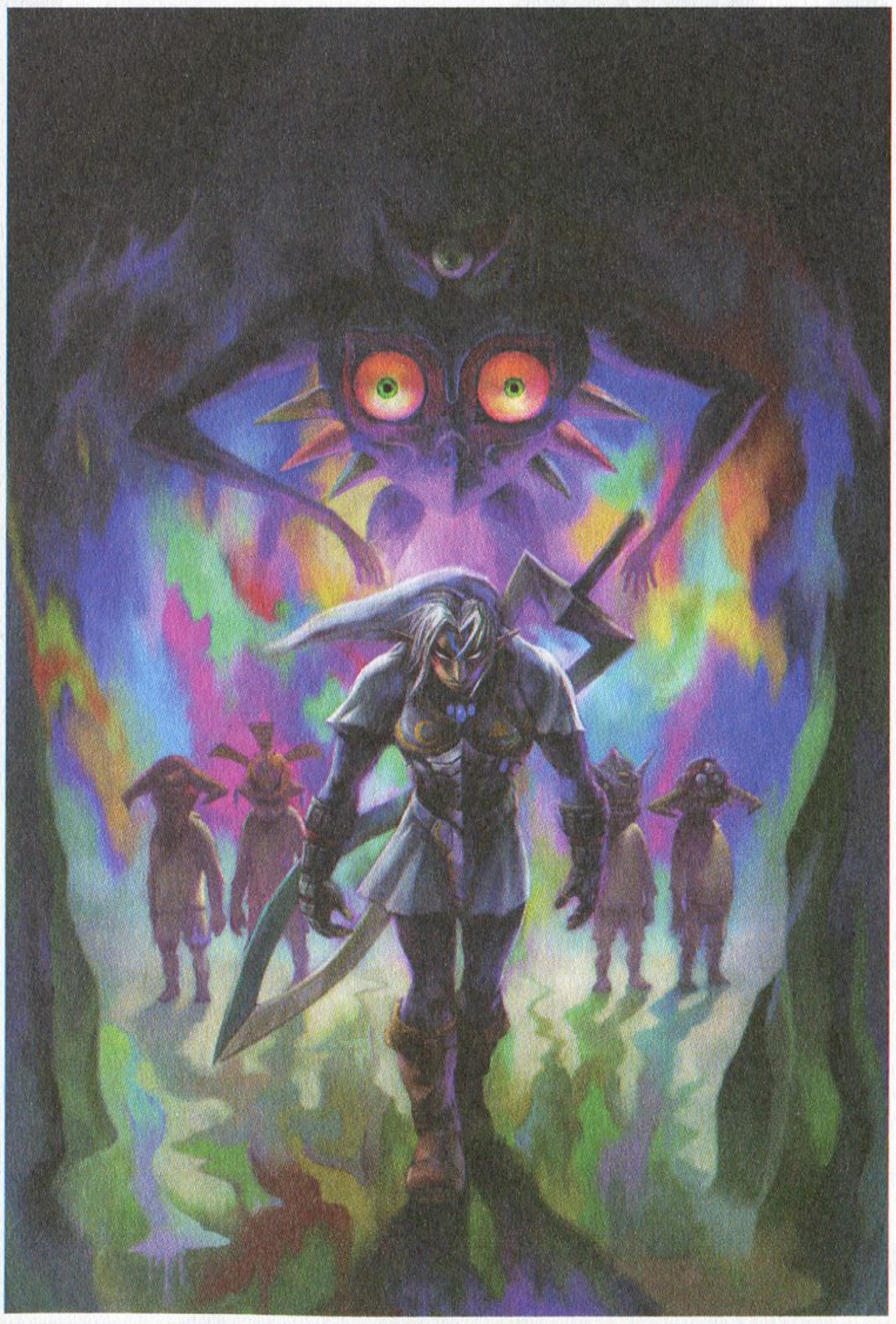




スタル・キータ







ゼルダの伝説 ZELDA トライフォース3銃士

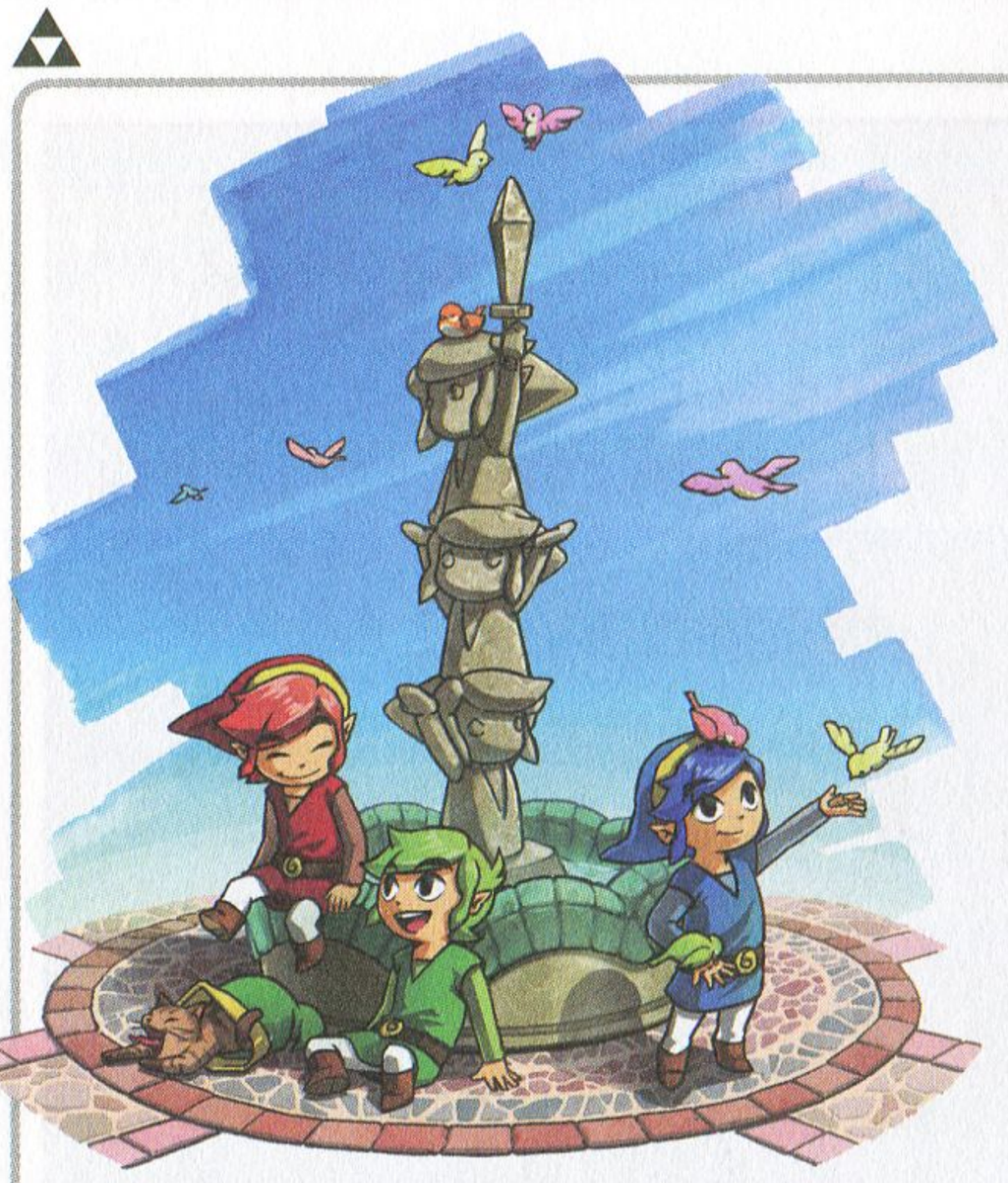
ゼルダの伝説 トライフォース3銃士

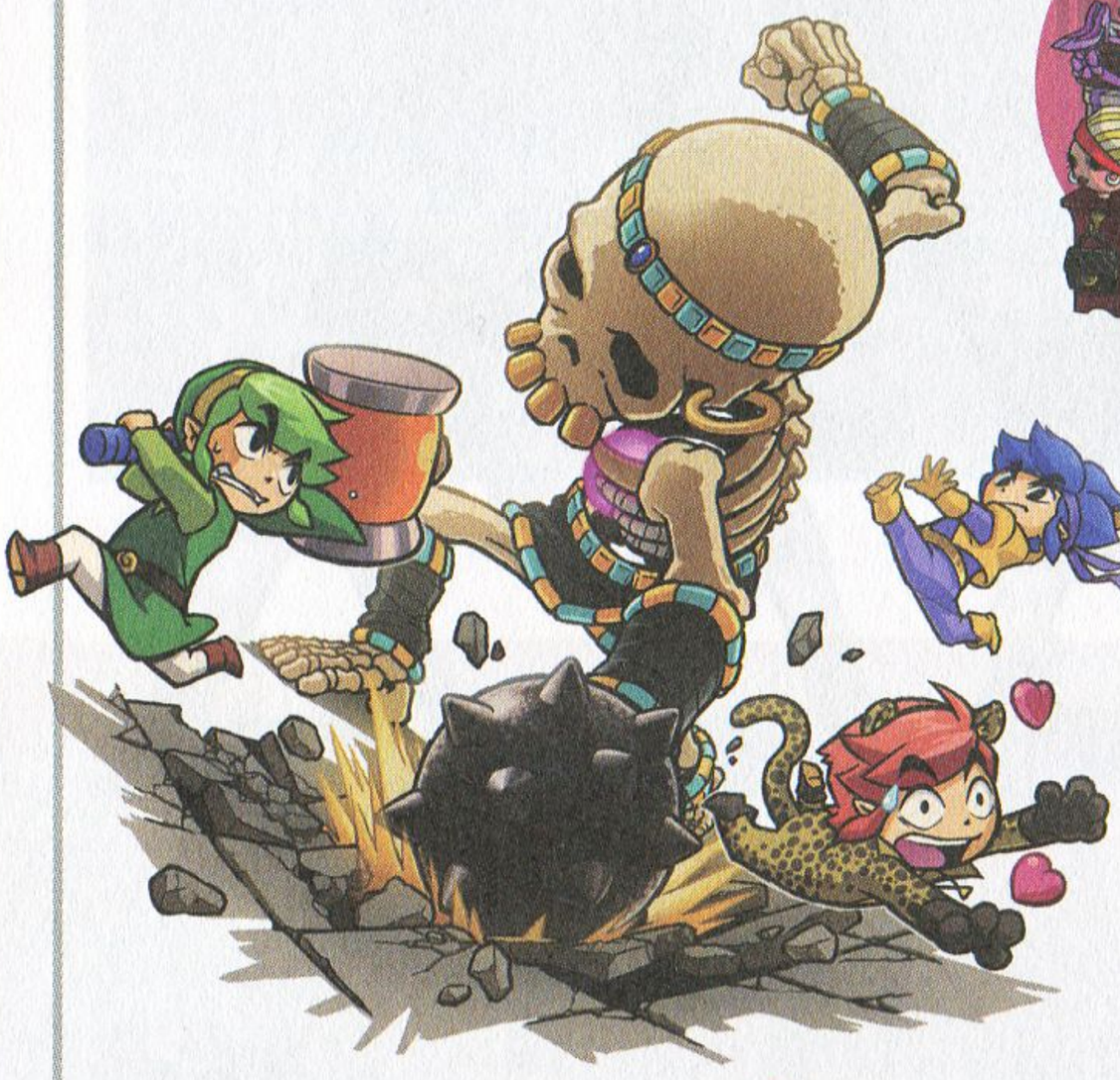
発売日◎2015年10月22日発売
ハード◎ニンテンドー3DS

3人で協力して謎を解き明かす、マルチプレイ「ゼルダ」。オフラインに加えオンラインでの協力プレイも可能で、さまざまな仕掛けや敵を乗り越えクリアを目指す。ダサいタイツ姿になる呪いにかけられた姫を救うという、ちょっとコミカルな世界観も特徴。略称は『トラさん』（ニンドリ掲載の開発スタッフインタビューより）。

3人の勇者候補

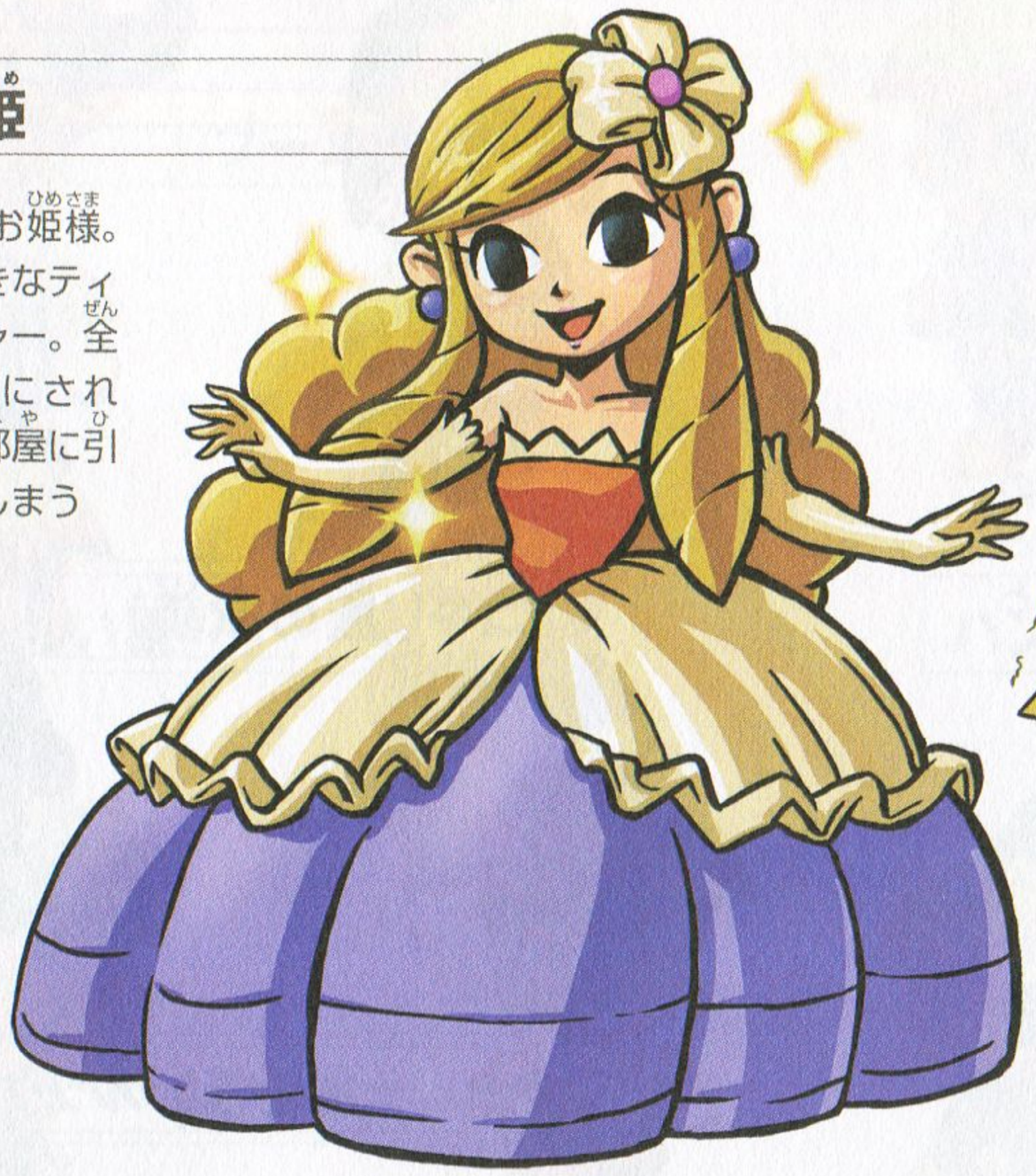
⬇➡本作の主人公たち。3人それぞれが勇者であり、ひとつのチームで冒険していく





⬆1人で遊ぶときには、ほかの2人はこのような顔の「まねビト」になる

フリル姫



➡この国のお姫様。オシャレ好きなティーンエイジャー。全身タイツ姿にされて、自分の部屋に引きこもってしまう

カールキング王

⬆この国の王様。姫を助けてくれる勇者を世界中から募集する

マダムテーラー

⬆服屋「マダムテーラー」のオーナー兼トップデザイナー。彼女の作る服には特別な力が宿るというウワサで世界中から引っ張りだこ

オールバック卿

➡魔女討伐隊の司令官。正義感が強くあつい男。昔はオールバックだったが、今は髪型が崩れている

シスターレディ

➡お姫様に呪いをかけた張本人。マダムテーラーのマダムとは知り合いのようだが…

マダムテーラーの弟子

⬅マダムテーラーの弟子。お城に出張営業に出され、そこで「服図鑑」「材料図鑑」を見せてくれる

主人公の服

冒険の中で手に入る材料を使って新たな服を作成、主人公に着せることができる。服を着替えることで、攻撃の威力が上がったり行動をサポートしてくれたり、さまざまな効果が得られる。主人公の姿も変化するので見た目に楽しく、3人プレイのときには「あの服持ってるんだ！」といったアピールにもなる

兵士の服

コキリ族の衣装

8bit Boy

おそろいルック

アレな服

大バクダンの服

ハートフルドレス

ゾーラの着ぐるみ

ラッキーパジャマ

水使いのローブ

ゴロンの着ぐるみ

ワンハートナイト

ブーメラン酋長

すべらない服

トゲトゲスーツ

剣士の服

チータースーツ

スリー♥クイーン

カチコチのトーガ

ガンバリ隊の服

ハンマーのコウラ

バルーンタイツ

お金持ちの服

大回転斬りの甲冑

チアリーダーな服

スナーメンの衣

風使いの衣

疾風斬りの黒衣

カンテラスーツ

ファイア仮面

怪傑ロールナイト

アームロイドの服

剣聖のよろい

派手なタキシード

レディワンピ

ダサいタイツ

鬼神のよろい

ラインバックの服

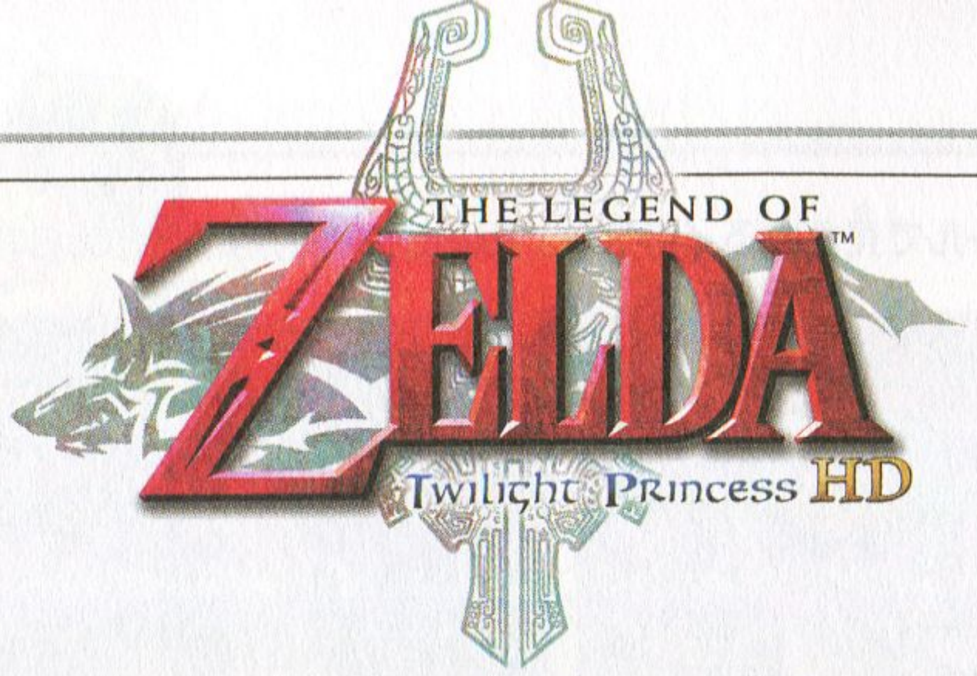
⬆⬇鬼神のよろいとラインバックの服は、無料の更新データで追加されたもの

エンディングビジュアル

⬇スタッフロールで見られるイラスト。最初からの物語がまとめられている

コミュニケーションアイコン

⬅マルチプレイ時、下画面でこのアイコンをタッチすると上のゲーム画面に表示。仲間のプレイヤーに自分の意志を伝えることができる。連打でアイコンが大きく！



ゼルダの伝説 トワイライトプリンセス HD

ゼルダの伝説 トワイライトプリンセス HD

発売日◎2016年3月10日発売
ハード◎Wii U

キャラクターはもちろん、背景やメニューなどのテクスチャも高精細に描き直されており、フルHDの美しいグラフィックが感動的な物語をさらに盛り上げる。「辛口モード」など追加要素に加え、基本アクションなども改善された。イラストは新規＋ゲームキューブ／Wii版のページで未紹介のものをセレクト。

リンク

←↓ハイラル王国の最南端に位置するトアル村で生まれ育った若者。面倒見がよく武芸の才能にも長けているため、村の子供たちからは憧れの的として慕われている。村で唯一の剣士・モイから剣術を習うなど、大人たちも将来を期待している。近々村の代表としてハイラル城に赴く話も出ており、その身辺は少し慌ただしい。村の外れで愛馬のエポナと共に暮らしている

©2006-2016 Nintendo

ミドナ

➡不気味な仮面をかぶった正体不明の人物。獣の姿に変わったリンクの前に現れ、ある物を探すことを条件に、リンクを手助けしてくれる。影の世界に詳しいが、その真意は謎。リンクを小馬鹿にしたようなもの言いが目立つが、その行動には何か一貫した信念が感じられる

ゼルダ

⬅ハイラル王国の王女で、国民からの信頼も厚い神秘的な人物。影の世界から侵攻してきたザントに対し、勇敢にもその手に剣を取り戦おうとするも、現在はハイラル城の塔に幽閉の身となっている

ガノンドロフ

キコル

←トアル村からすぐ近くのフィローネの森に住む青年。森の中で油を売っている

サル

➡フィローネの森に住むサル。最近トアル村によく現れてイタズラをするため、村人は頭を抱えている

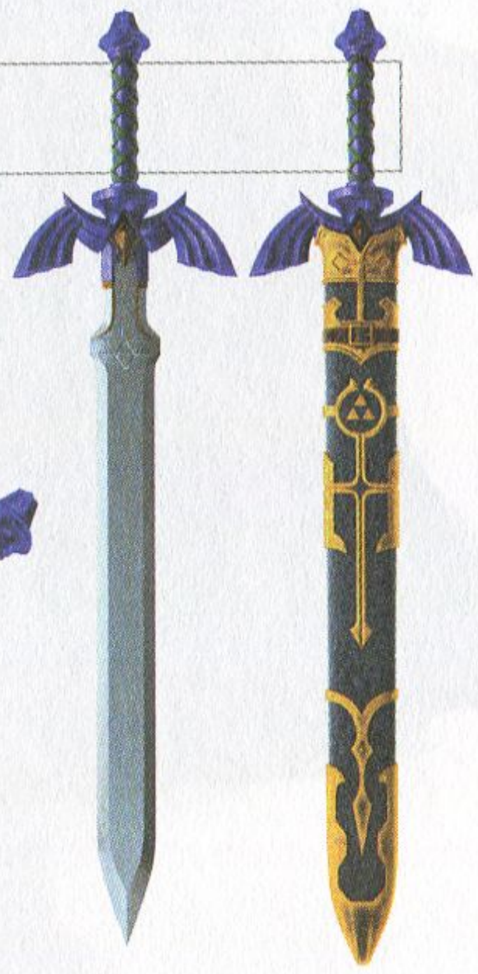
おばちゃん

➡何か探している物があり、息子と旅をしている。旅先で出会うリンクにも家族のように優しく接してくれる？

町医者

ハイラルMAP

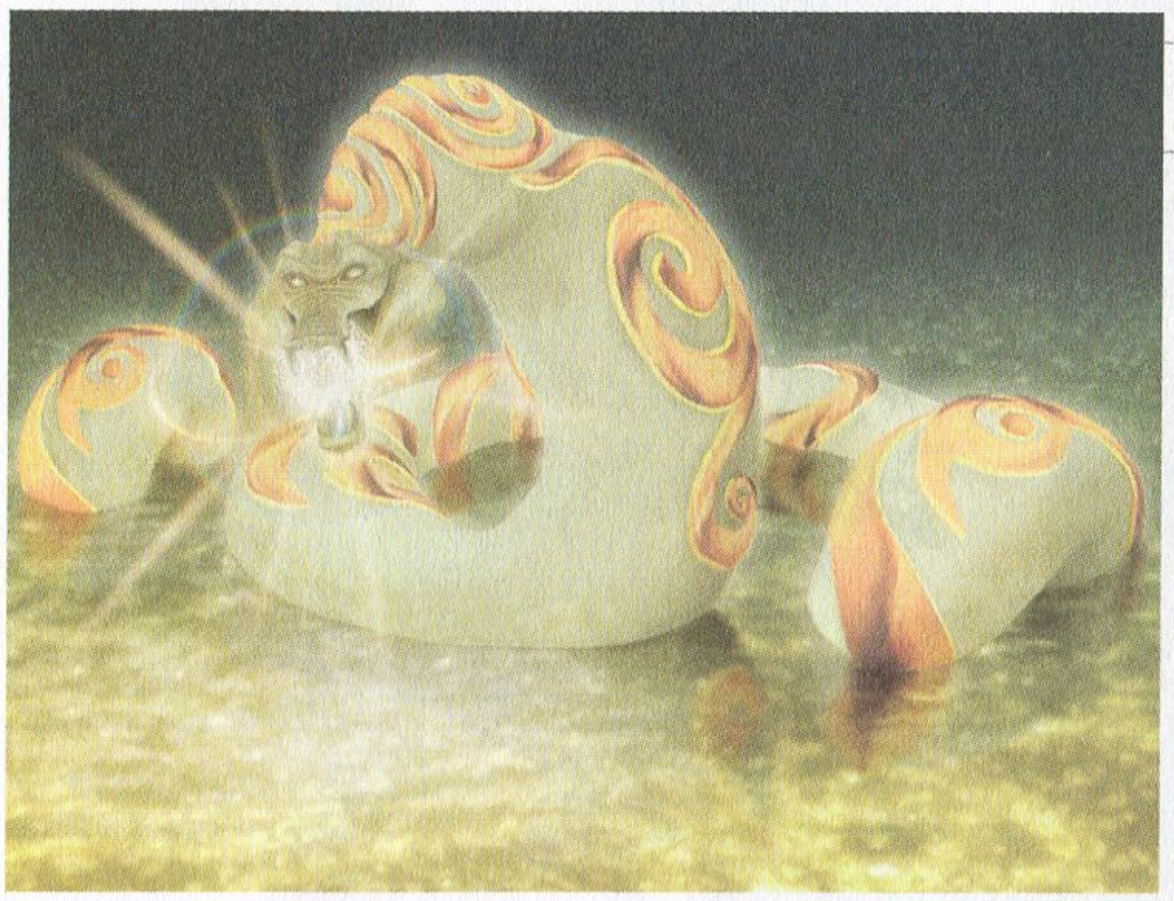
マスターソード



マスターソードとハイリアの盾

光の精霊フィローネ

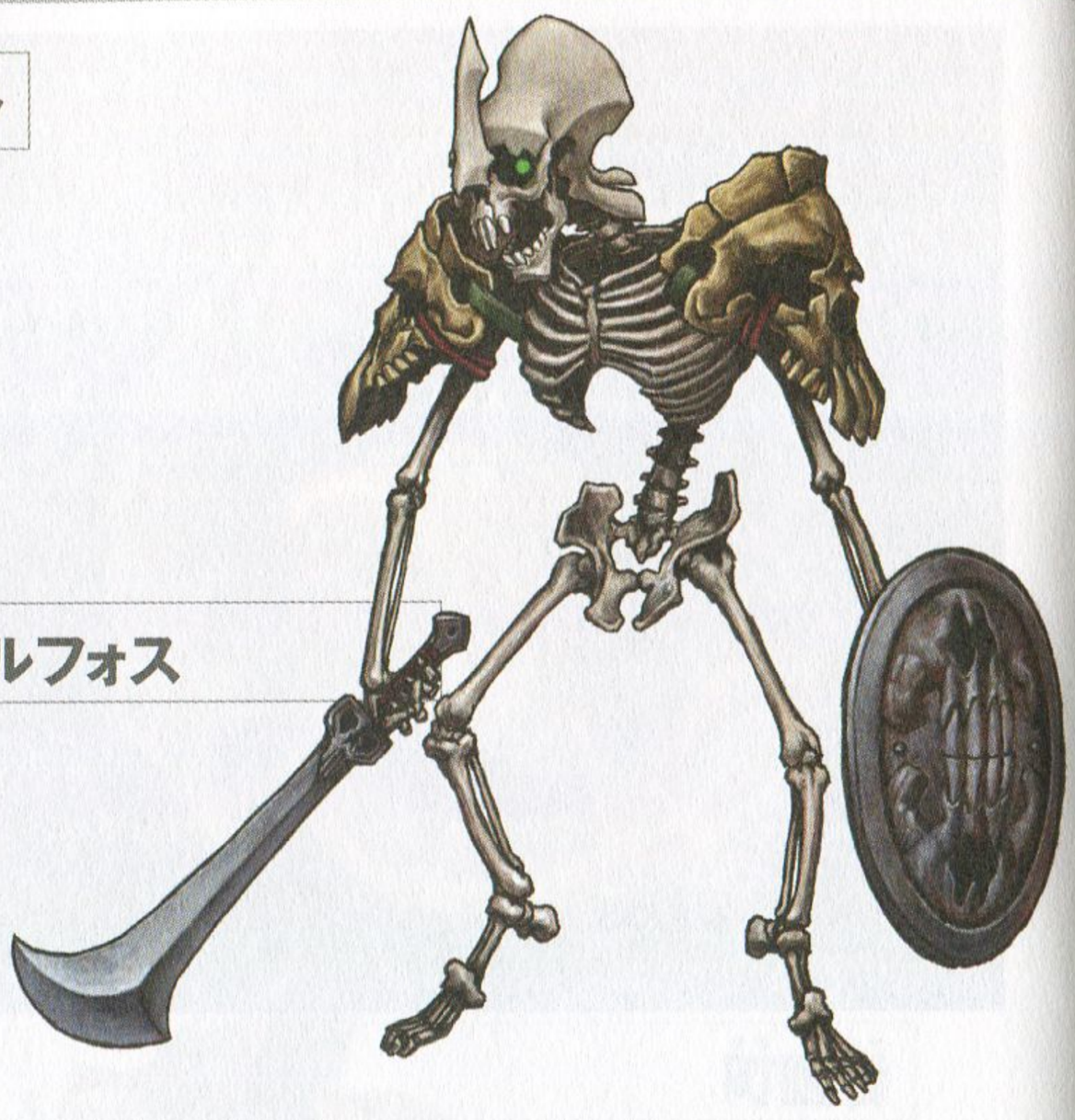
光の精霊ラトアーヌ



光の精霊ラネール

光の精霊オルディン

スタルチュラ



スタルフォス

ボコブリン

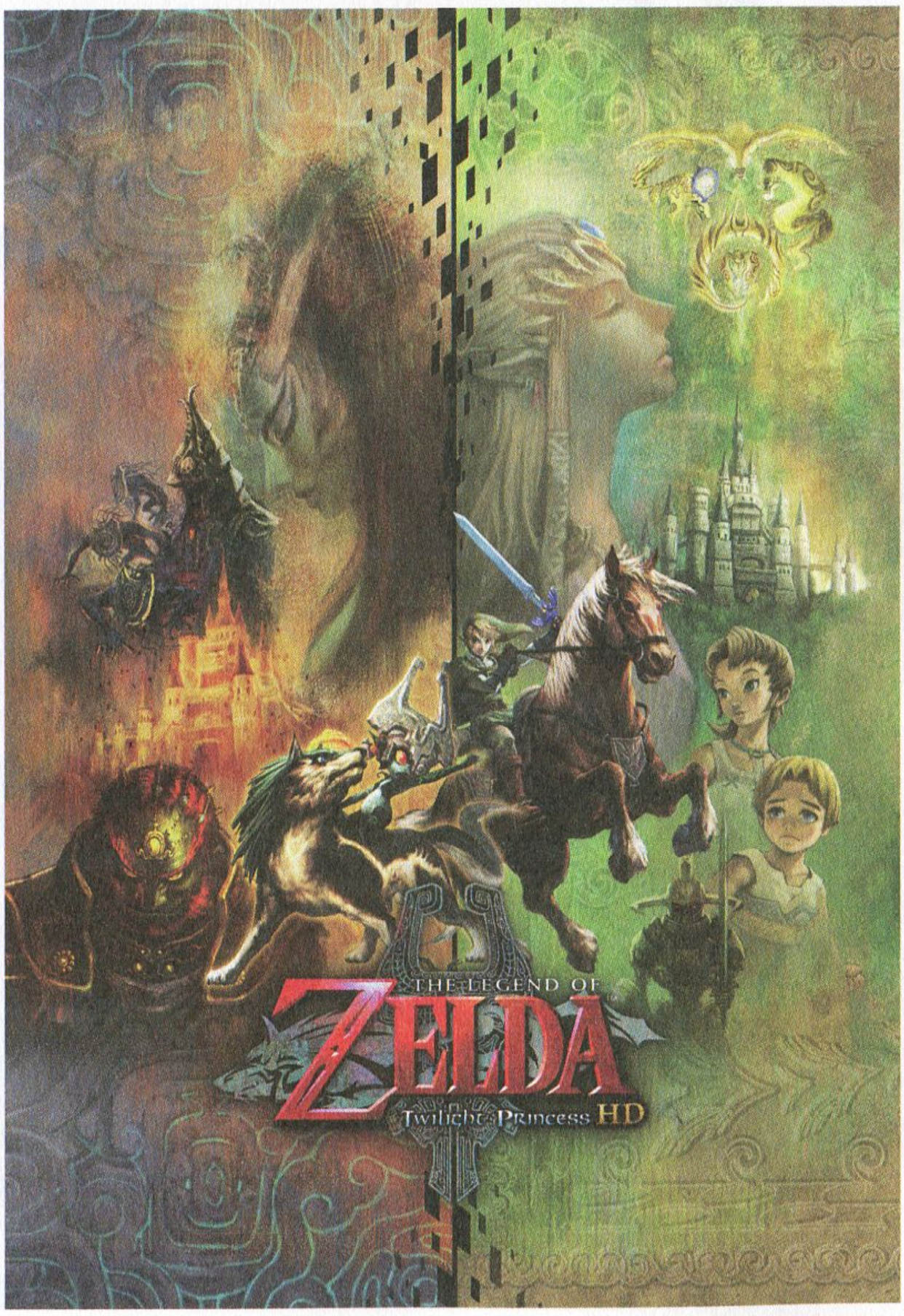
←ハイラル全土に生息する魔物

デクババ

↑植物の怪物。草むらに潜み、近づく者に襲いかかる

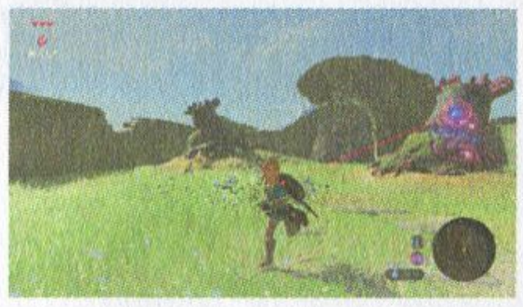
↓植物の怪物。草むらに潜み、近づく者に襲いかかる。茎を切られてもしつこく襲ってくるのでデクババよりタチが悪い

ヘビバババ



ゼルダの伝説™
THE LEGEND OF ZELDA BREATH OF THE WILD
ブレス オブ ザ ワイルド

“『ゼルダ』の当たり前”を見直し、切り開かれた新境地。100年前の「大厄災」で甚大な被害を受けたハイラルで、記憶を失ったリンクが目覚める。ハイラル城で厄災ガノンを抑え続けているゼルダを救うため、「シーカーストーン」を手に広大な世界を巡る。100年前からの仲間との再会や、世界の探索に夢中になれる。

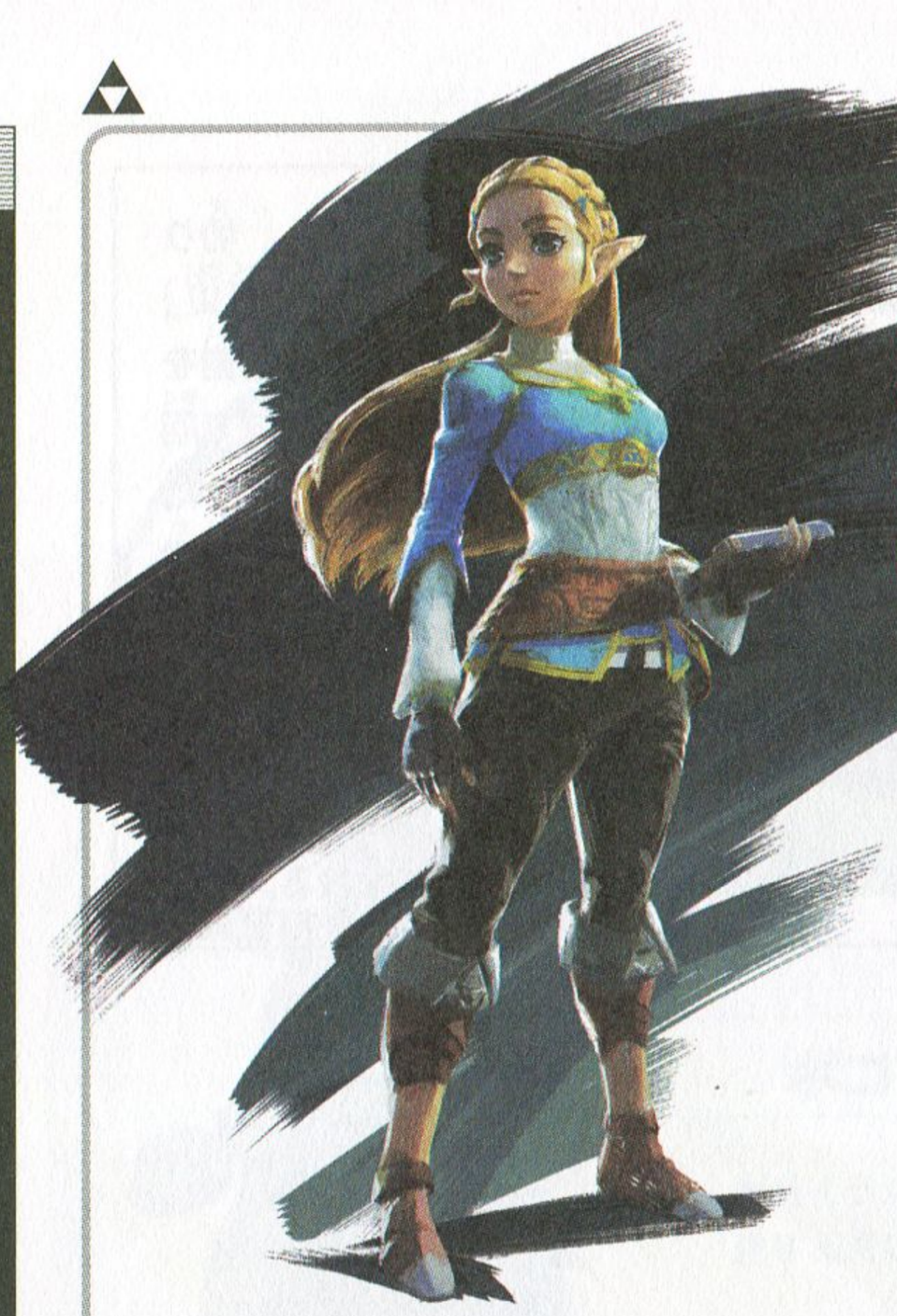


ゼルダの伝説　ブレス オブ ザ ワイルド

発売日◉2017年3月3日発売
（エキスパンションパス:2017年3月3日配信※Nintendo Switchのみ）
ハード◉Wii U/Nintendo Switch

リンク

⬇➡一切の記憶を失って目覚めた青年。不思議な声に導かれ、遠い昔に託された願いを知ることで、広大なハイラルの旅へと身を投じることになる



ゼルダ

←100年前の大厄災にて王国は滅亡するが、ゼルダ姫が身を挺して封印の力を使い、侵攻を王国中心部で食い止めることに成功。以降100年間ハイラル城で厄災ガノンの力を抑え続けている

ミファー

➡ゾーラ族を代表する英傑にして一族の姫。リンクとは幼なじみでもある。心優しく物静かな性格だが芯は強く、世界を守るために厄災ガノンとの戦いに身を投じる

ダルケル

➡厄災ガノン討伐のために選出された英傑の1人。豪快でありながら仲間思いのゴロン族。あらゆる衝撃を受けつけず、己の体の何倍もの大きさの落石をも砕く鉄壁の護りを持つ

ウルボザ

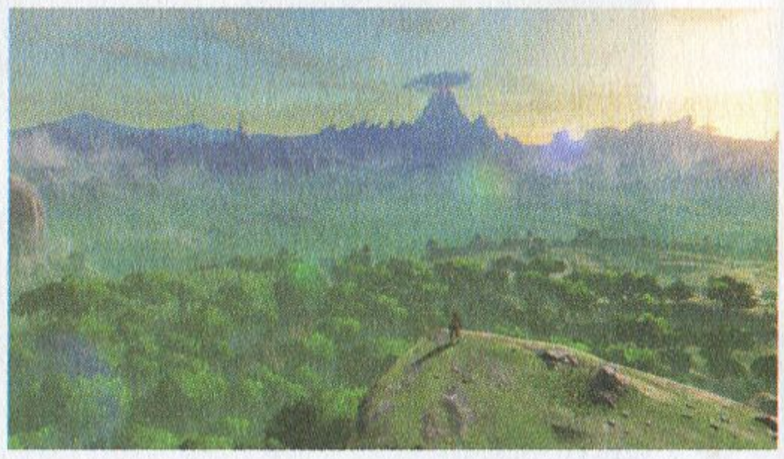
←厄災ガノン討伐のために選ばれたゲルド族の英傑。周囲にも気配りができる姉御肌であり、ゼルダも彼女に強い信頼を寄せている。雷を操る能力を持つ

リーバル

➡厄災ガノンに対抗する神獣を操るために選ばれた、英傑の1人。リト族の中でも類いまれなる飛行技術と、重量級の弓を軽々扱う筋力と敏捷性を持つ

ガーディアン

ボコブリン

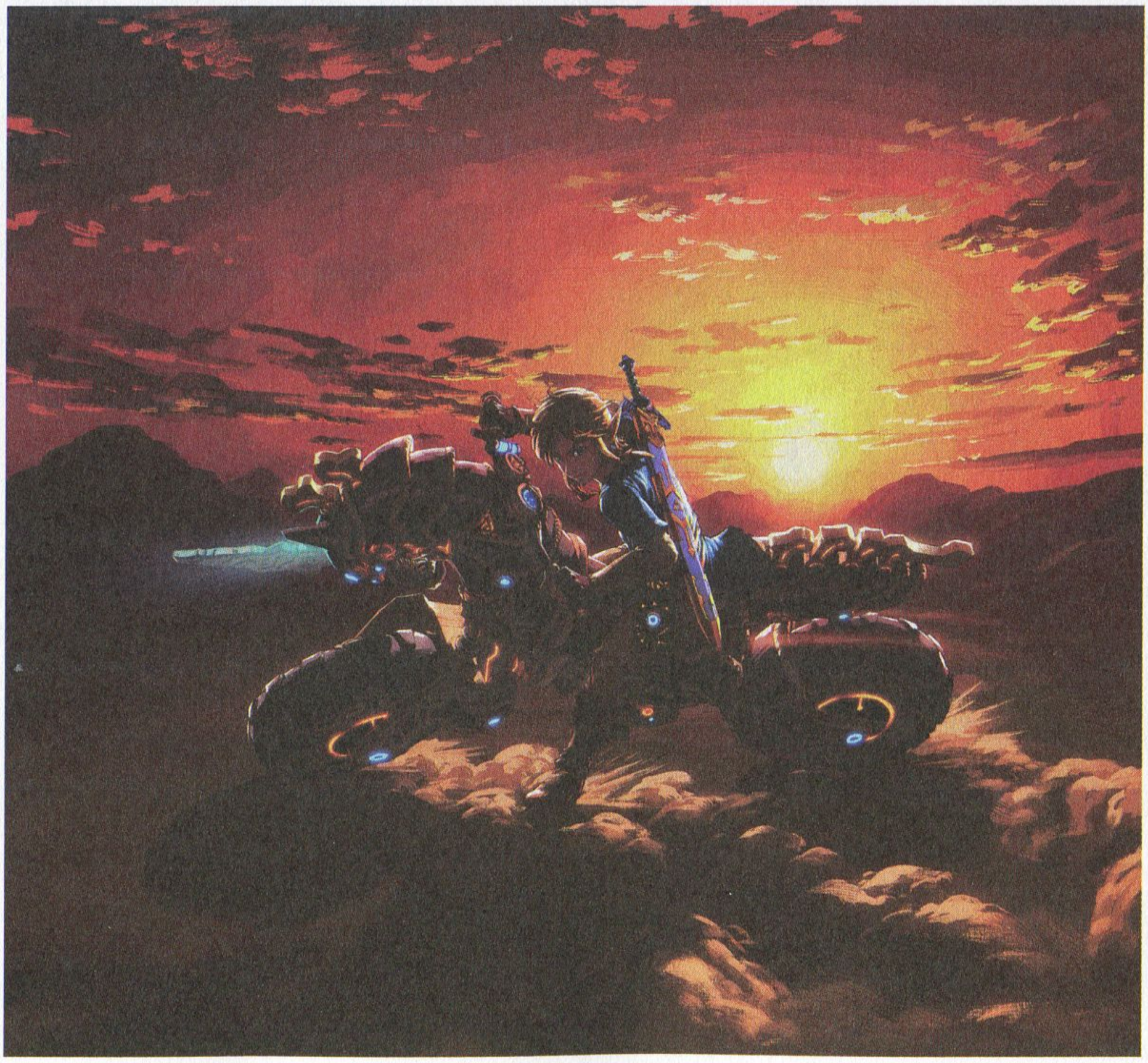


ゼルダの伝説 ブレス オブ ザ ワイルド
EXPANSION PASS
エキスパンション・パス

『ゼルダの伝説　ブレス オブ ザ ワイルド』の追加コンテンツ。第1弾「試練の覇者」と第2弾「英傑たちの詩」がセットになっており、どちらもさまざまな追加要素が含まれている

第1弾
試練の覇者

マスターバイク



第2弾
英傑たちの詩

ゼルダの伝説™ 夢をみる島

THE LEGEND OF ZELDA

1993年発売のゲームボーイ版を大幅リメイク。まるで箱庭の世界で冒険しているようなビジュアルに生まれ変わった。ストーリーや謎解きは変わらずに、『夢をみる島DX』にあった服のダンジョンも搭載。加えて、自分だけのダンジョンを作成できる新要素「パネルダンジョン」が追加され、amiiboにも対応した。

ゼルダの伝説　夢をみる島

発売日◉2019年9月20日発売
ハード◉Nintendo Switch

リンク

←↓修行の旅を終え、懐かしいハイラルに帰る航路の途中、突如嵐に巻き込まれ、流れ着いた先――。そこは、「コホリント」と呼ばれる自然豊かな島だった。島からの脱出方法を探す。
“コホリント島を 治める神 かぜのさかなが ねむる限り 外への道は 開かれぬ”

©1993-2019 Nintendo

マリン

➡コホリント島に漂着したリンクを助けた、心優しい少女。歌うことが大好きで、お気に入りの曲は「かぜのさかなの歌」。生まれてからずっと島で暮らしており広い海の向こうには何もないと教えられてきたが、流れてくるヤシの実や漂着したリンクを見て、「きっと何かある」と固く信じている

タリン

⬇マリンと共に暮らすヒゲのおじさん。かじったキノコのおかげで大変な目に遭ったり、ハチに追いかけられたりと何かと忙しい人

うるりらじいさん

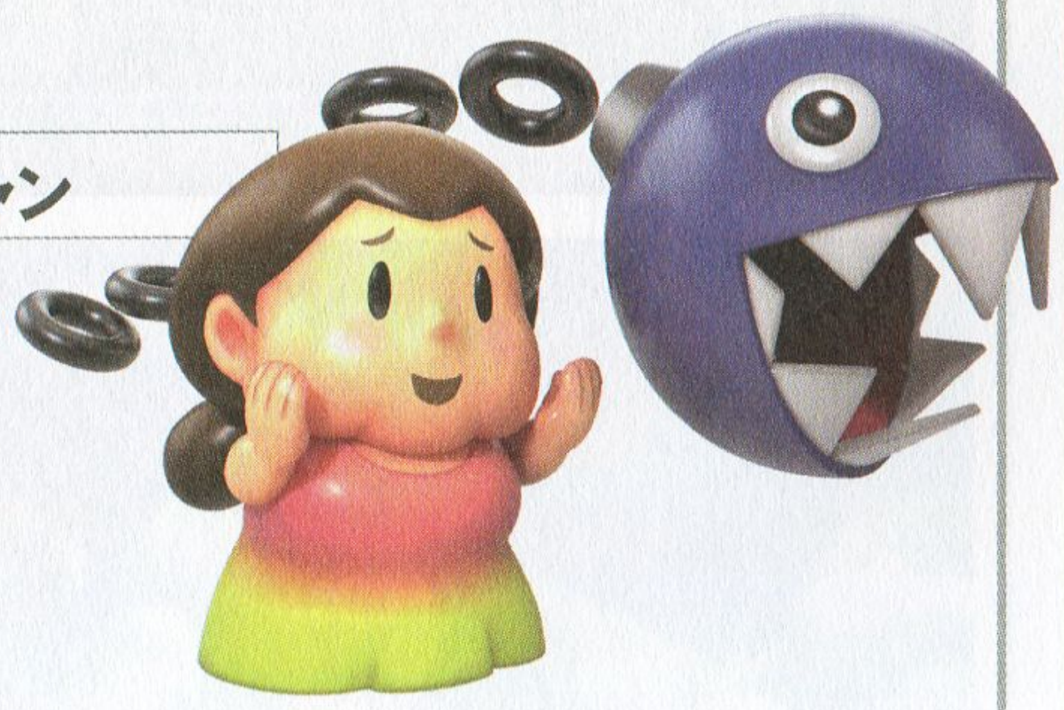
⬅島のことなら「うるりらじいさん」にお任せ！　とても無口なので、島では電話ボックス経由で連絡を

フクロウ

⬆リンクの前にたびたび現れ、島を脱出するための助言をくれる。謎の多い存在だが、果たしてその目的は？

マダムニャンニャン

➡ワンワンとキャンキャンを溺愛しているメーベ村のご婦人。ワンワンの毛並みが自慢らしい

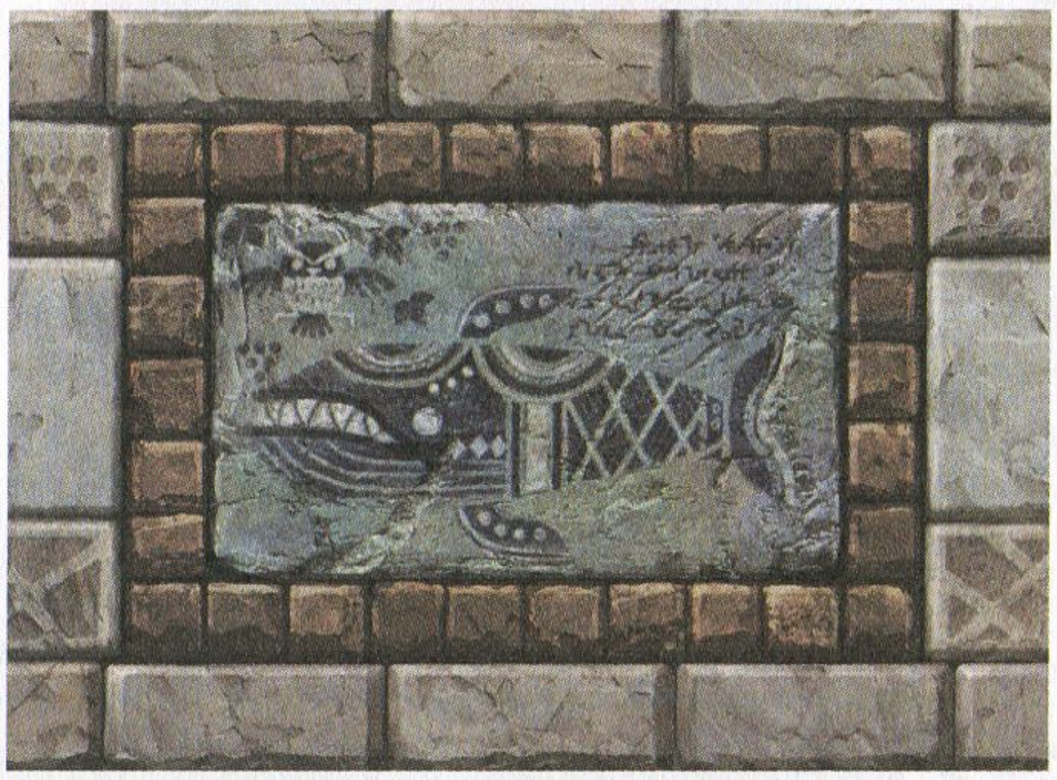


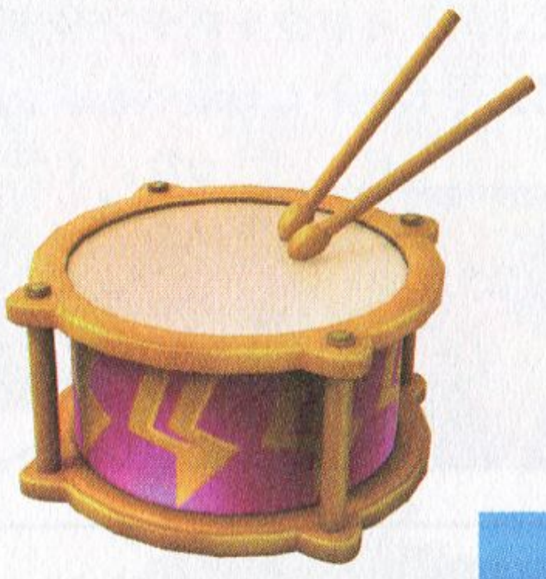
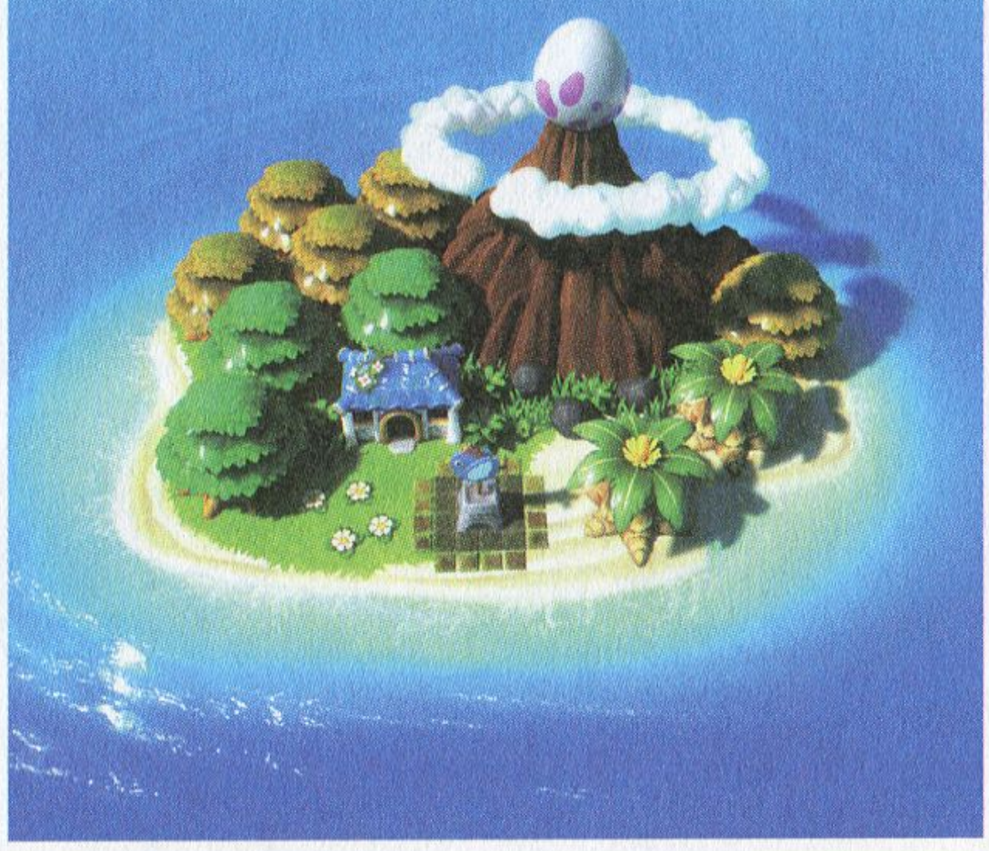
ダンペイ

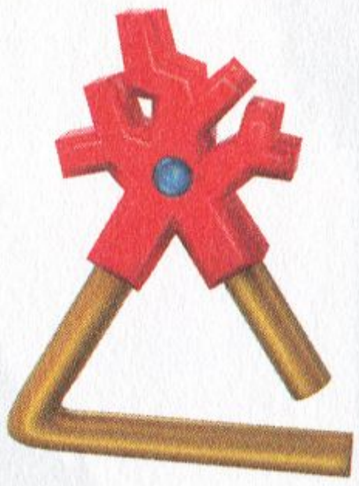
⬅タルタル高地にある遺跡に住み込んで調査をしている。「パネルダンジョン」の基本について、いろいろとリンクに教えてくれる

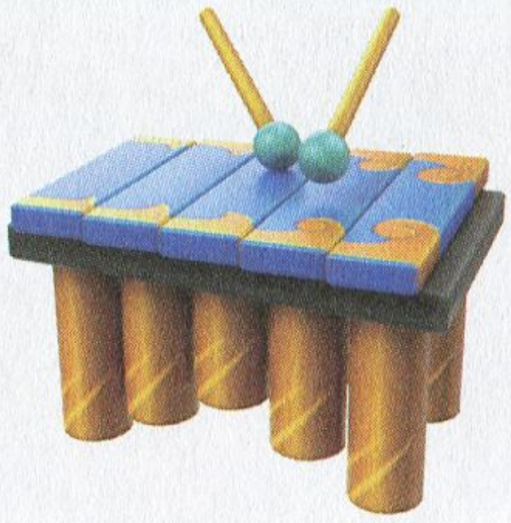
モリブリン

オクタロック



シャドウリンク







セイレーンの楽器

↑島の謎を解くカギとなる「セイレーンの楽器」。名前は一番上から時計回りに

満月のバイオリン
巻き貝のホルン
海ゆりのベル
潮騒のハープ
嵐のマリンバ
さんごのトライアングル
夕凪のオルガン
遠雷のドラム

ゼルダの伝説 スカイウォードソード HD

ゼルダの伝説　スカイウォードソード HD

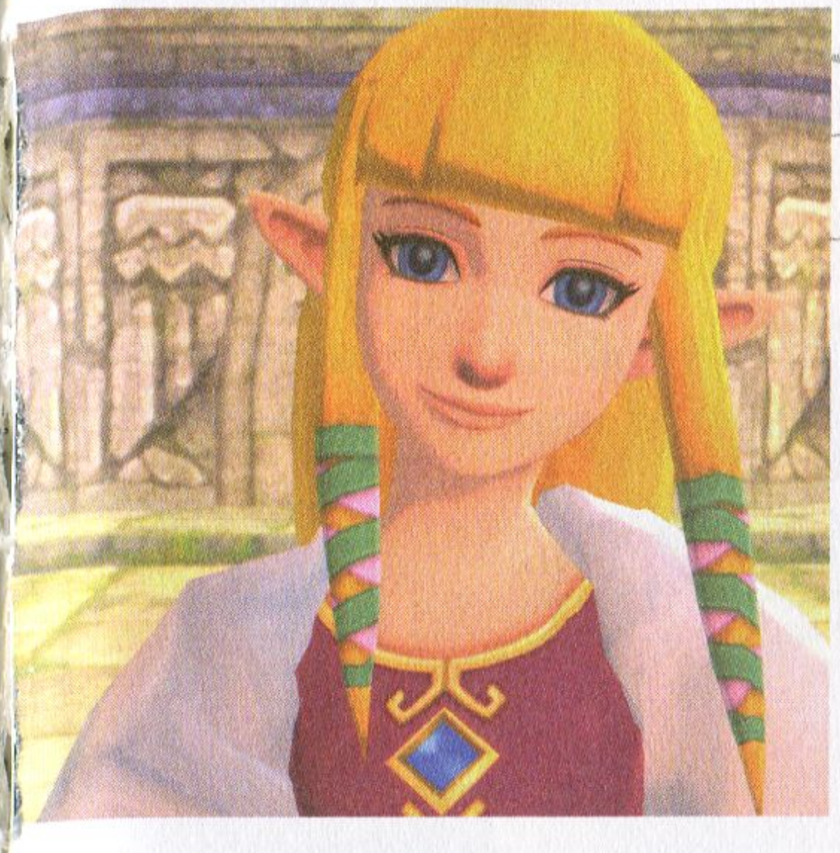
発売日◎2021年7月16日発売
ハード◎Nintendo Switch

2011年発売のWii版タイトルをリメイク。高解像度化＋60fps化により美しかった世界がさらにくっきり美麗に！ 操作面でもJoy-Conを両手に握った体感アクションに加え、スティック＋ボタン操作に対応したので携帯モードでも遊べるようになった。イラストは新規＋Wii版のページで未紹介のものを中心にセレクト。

リンク

↑➡大切な人を守るため、剣を手に旅立つ騎士見習いの青年。他のスカイロフトの民と異なる幻の紅族のロフトバードを駆る。寝起きは良くない

©Nintendo



ゼルダ

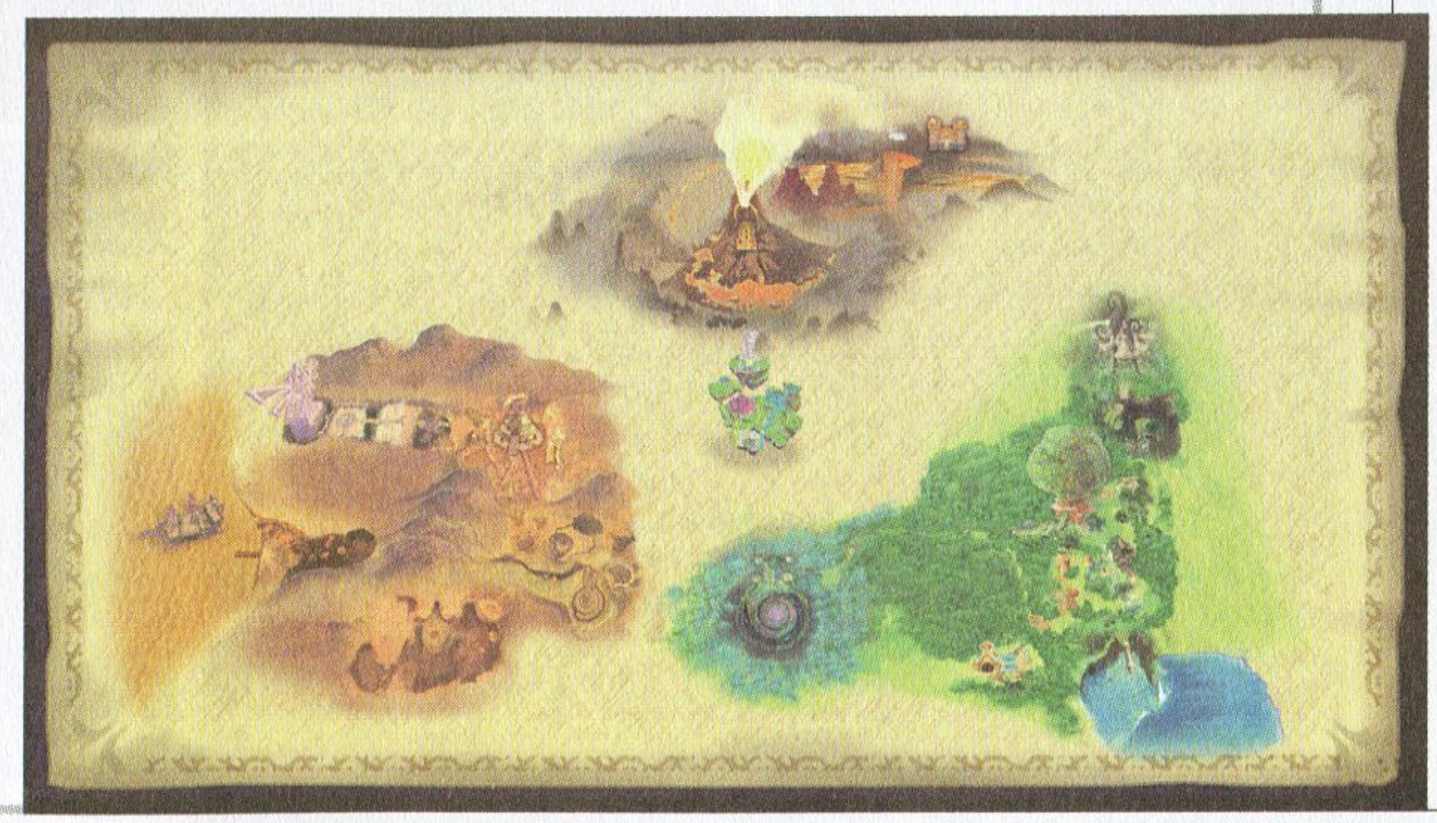
←リンクの幼なじみで、いつもリンクのことを気にかけている少女。ある日、ロフトバードに乗って飛行している途中、突如として発生した竜巻に襲われ、雲の下の大地へと落下してしまう

ギラヒム

➡リンクの行く先々に現れ、幾度も刃を交えることとなる、華麗なる魔族長。尊大な態度に裏付けされたその実力は、剣技から魔法まで強大

封印されしもの

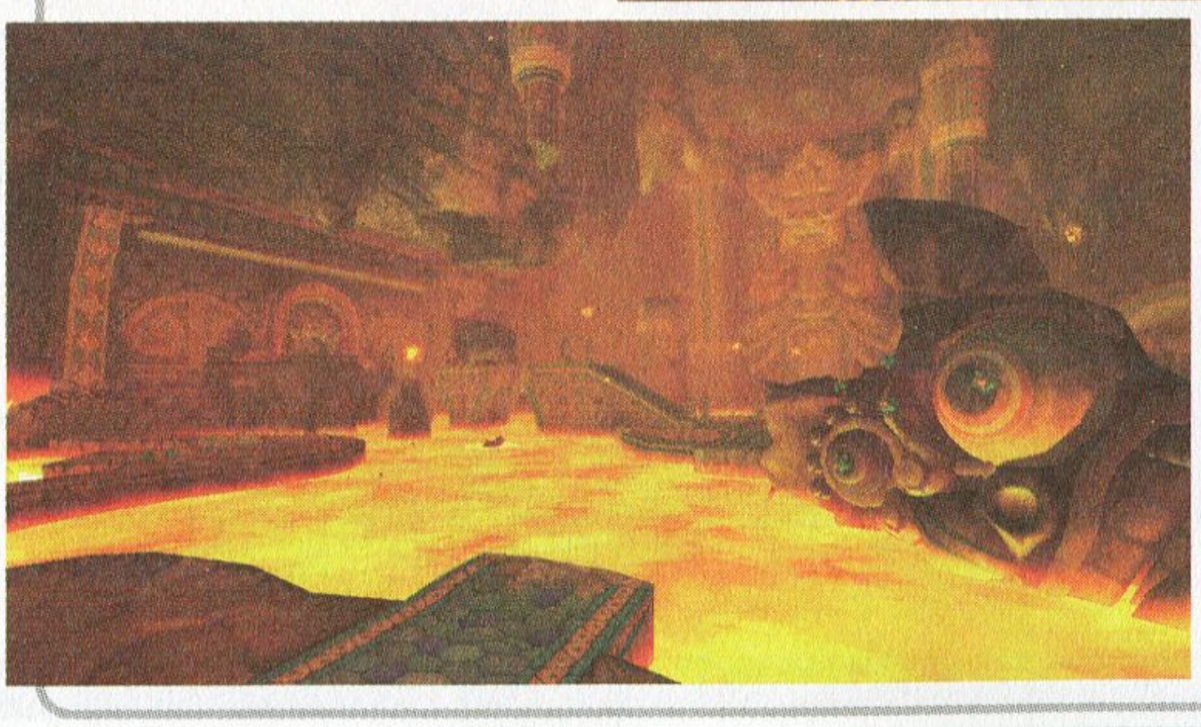
マチャー

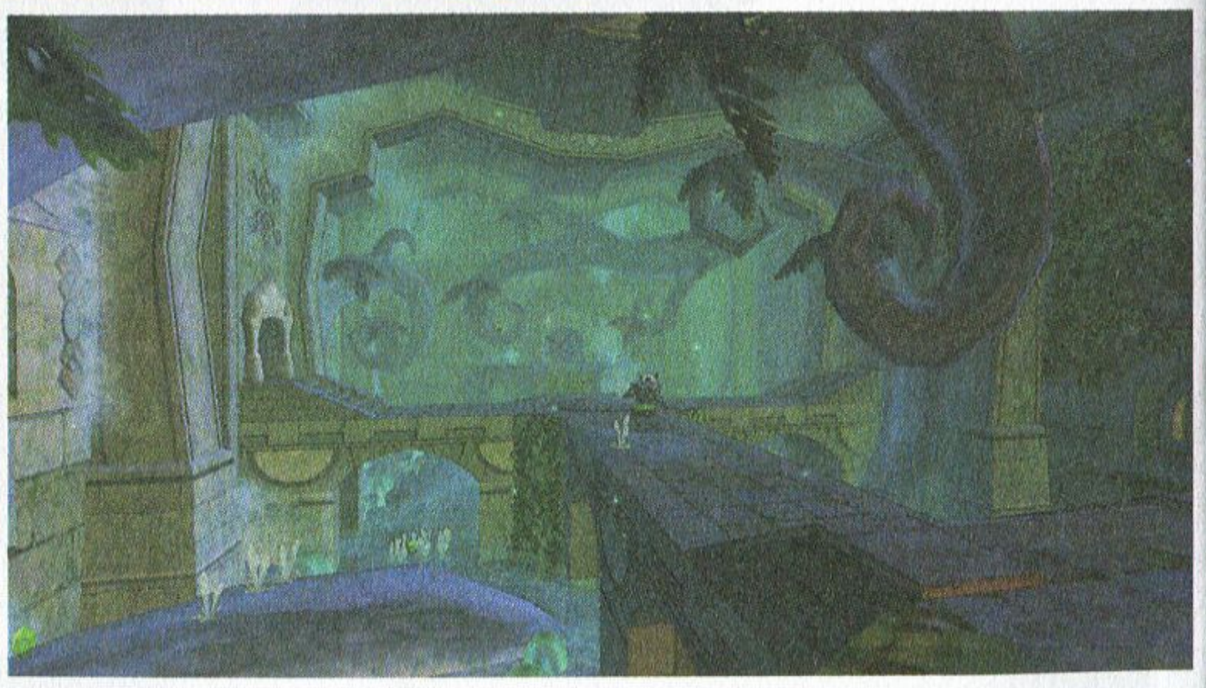


赤チュチュ

ヒドカリ

真のマスターソードとハイリアの盾





COMING NEW ZELDA 2022

『ゼルダの伝説（でんせつ） ブレス オブ ザ ワイルド』続編（ぞくへん）

ゼルダの伝説™
THE LEGEND OF ZELDA

ARTWORK COLLECTION 3

ニンテンドードリーム 2021年9月号 特別付録